志木市国民健康保険 レセプト疾病構造分析事業報告書

平成22年9月 志木市国民健康保険

目 次

第1	章 事業の概要	1
1	事業の目的	1
2	実施方法	1
3	集計・分析の対象	1
第2	2章 医療費の状況	2
1	国民健康保険被保険者数	2
2	全国および近隣自治体との比較	3
3	医療費の構造分析	4
4	疾病別にみた診療の状況	7
5	地区別にみた診療の状況	26
6	医療機関別にみた診療の状況	29
7	高医療費の状況	31
第3	3章 健康診査からみた状況	36
1	健診受診状況	36
2	健診有所見者状況	39
3	生活習慣の状況	50
4	健診有所見者の医療費の状況	59
第4	↓章 まとめ	65
1	分析結果のまとめ	65
2	現状の課題と今後の施策の方向性について	68
統章	计 表	73

第1章 事業の概要

1 事業の目的

志木市国民健康保険被保険者のレセプトデータおよび特定健康診査の結果を活用し、医療費の動向、疾病の状況、生活習慣病等の実態を分析する。このデータをもとに、本市の疾病構造や受診行動を把握し、今後の具体的な方策等を検討することを目的とする。

2 実施方法

平成 20 年 $5 \cdot 10$ 月診療分および平成 21 年 $5 \cdot 10$ 月診療分の医科のレセプトデータを集計した。レセプトデータは社会保険表章用疾病分類(119 分類)を用いて集計を行った。

3 集計・分析の対象

(1)レセプトデータ

志木市国民健康保険の被保険者の平成 20 年 5 ・10 月診療分および平成 21 年 5 ・10 月診療分の 医科レセプトデータ 47.960 件

(単位:件)

診療年月	計	入院	入院外
平成20年 5月	11,419	293	11,126
平成20年 10月	12,337	282	12,055
平成21年 5月	11,740	257	11,483
平成21年 10月	12,464	255	12,209
計	47,960	1,087	46,873

(2)特定健康診査データ

平成 20 年度分 3,621 件 平成 21 年度分 4,469 件

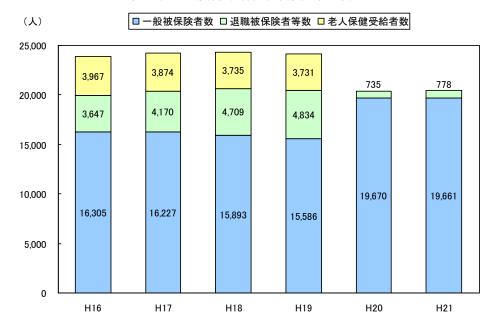
(3)国民健康保険被保険者データ

平成22年7月時点の被保険者データ(過去異動者も含む) 37,685件

第2章 医療費の状況

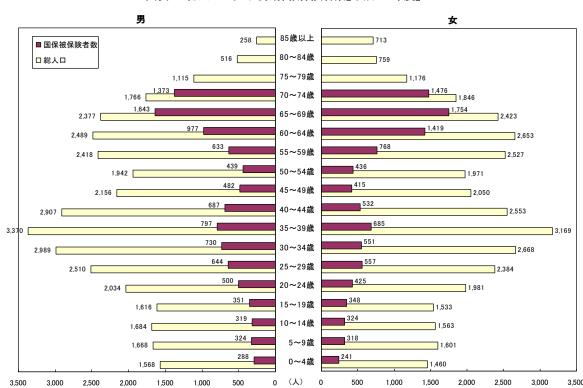
1 国民健康保険被保険者数

平成 16 年から平成 21 年までの被保険者数をみると、ほぼ横ばいとなっている。なお、老人保健制度は、平成 19 年度で廃止され、75 歳以上の被保険者は、後期高齢者医療制度に移行した。



図表 1:国民健康保険被保険者数推移(各年度末現在)

資料:志木市国民健康保険統計



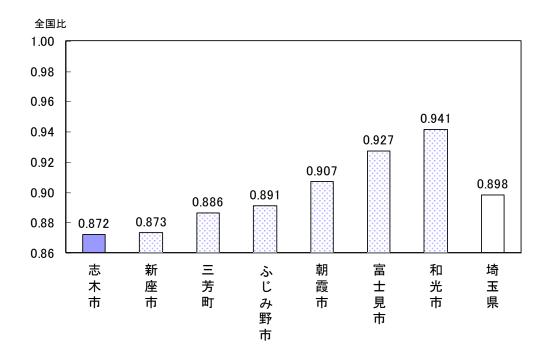
図表 2:総人口における国保被保険者数【平成 21 年度】

※平成21年4月1日現在

2 全国および近隣自治体との比較

平成 19 年度の医療費マップ(厚生労働省保険局)によると、埼玉県の年齢補正後の医療費水準(地域差指数*:全国を1としたときの指数)は、47 都道府県の中で5番目に低い状況にある。中でも志木市は、全国に比べて低く、県南西部7市町(朝霞保健所管区)の中でも最も低くなっている。

※地域差指数の算出方法:当該市町村の実績の保険給付費を基準給付費(当該市町村の5歳階級毎の被保険者数に、全国 平均の5歳階級毎の1人当たり保険給付費を乗じた額の総計による保険給付費)で除して算出する。



図表 3:年齢補正後医療費(地域差指数)の対全国比

資料:厚生労働省「平成19年度 医療費マップ」

ポイント ! 国保被保険者数

○被保険者数は、ほぼ横ばいで推移

ポイント! 全国および近隣自治体との比較

○全国や近隣自治体と比較すると医療費水準は低い

3 医療費の構造分析

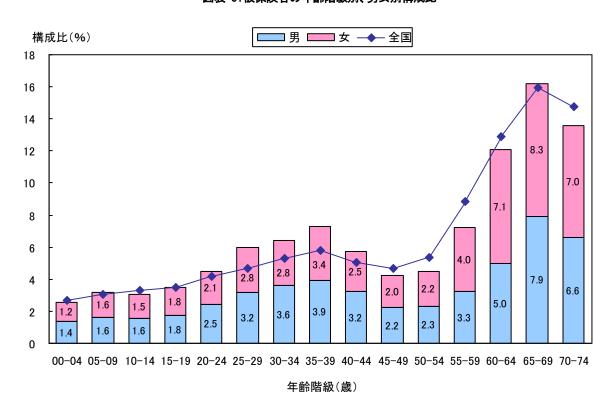
(1) 被保険者の構成

平成 20 年度の被保険者数 (年度平均値) を以下に示した。志木市では 20 歳から 44 歳の層が全国 (平成 20 年度医療給付実態調査) に比べて多く、45 歳から 64 歳の層が少ない。

年齢区分 人数(人) 構成比(%) (歳) 人数(人) 構成比(%) 282 1.4 00-04 245 1.2 326 1.6 05-09 321 1.6 319 1.6 10-14 310 1.5 1.8 1.8 359 361 15-19 502 2.5 20-24 421 2.1 656 3.2 25-29 564 2.8 734 3.6 30-34 575 2.8 806 3.9 35-39 691 3.4 664 3.2 40-44 504 2.5 456 2.2 45-49 411 2.0 2.2 468 2.3 50-54 455 666 3.3 55-59 815 4.0 1,024 5.0 60-64 1,454 7.1 1,617 7.9 8.3 65–69 1,697 1,347 6.6 70-74 1,430 7.0 10,226 10,254 49.9 50.1

図表 4:被保険者数と構成比【平成 20 年度】

図表 5:被保険者の年齢階級別、男女別構成比



※全国のデータは、厚生労働省「平成 20 年度医療給付実態調査」より算出

(2) 被保険者 1 人当たり医療費・受診率

入院・入院外をあわせた1人当たり医療費を全国と比較すると全体的に低い傾向にあり、25歳から29歳、35歳から39歳をのぞいて、全年齢階級で全国を下回っている。

年齢階級別では、20歳から24歳が最も低く、それ以降は年齢が高くなるにしたがって医療費も高くなっている。男女別では、男性が女性に比べて高くなっている。

入院・入院外をあわせた受診率においても、全年齢階級で全国を下回っている。

年齢階級別では、15歳から19歳が最も低く、それ以降は年齢が高くなるにしたがって受診率も高くなっている。男女別では、女性が男性に比べて高くなっている。

図表 6:年齢階級別、入院・入院外別、被保険者 1 人当たり医療費、受診率【全国との比較】

	志木市					全	玉	
1人当たり	1人当たり医療費(円)		受診率(件)		1人当たり	医療費(円)	受診率(件)	
入院	入院外	入院	入院外	(歳)	入院	入院外	入院	入院外
6,972	6,691	1.45	58.36	総数	7,957	8,309	1.77	64.13
4,915	6,073	1.58	74.40	00-04	5,595	7,102	1.66	78.25
770	3,281	0.36	47.04	05-09	1,263	3,743	0.36	50.72
1,038	2,244	0.29	27.91	10-14	1,203	2,755	0.28	33.32
1,403	2,216	0.37	23.59	15-19	1,493	2,109	0.40	26.37
1,363	2,267	0.45	24.56	20-24	1,838	2,230	0.60	26.48
2,787	2,635	0.78	27.17	25-29	2,478	2,837	0.80	30.28
1,891	2,729	0.62	28.48	30-34	3,164	3,463	0.95	32.69
4,014	4,893	0.96	31.12	35-39	3,927	4,084	1.05	34.06
4,340	2,992	0.79	31.81	40-44	4,981	4,988	1.22	37.11
5,080	3,491	1.17	35.76	45-49	6,458	6,008	1.53	40.93
4,625	6,042	0.96	41.52	50-54	7,885	7,109	1.82	45.71
5,978	6,568	1.32	50.56	55-59	9,408	8,713	2.10	55.39
9,580	9,482	1.94	67.38	60-64	10,605	11,111	2.24	74.95
10,503	9,568	2.14	84.64	65-69	11,205	11,838	2.29	92.25
15,756	12,775	2.81	116.14	70-74	15,873	16,295	3.27	123.25

※全国のデータは、厚生労働省「平成20年度医療給付実態調査」より算出

※第2章「3 医療費の構造分析」では厚生労働省「平成20年度医療費給付実態調査」での算出と 比較しているため、志木市データも平成20年度の年度数値で算出している。

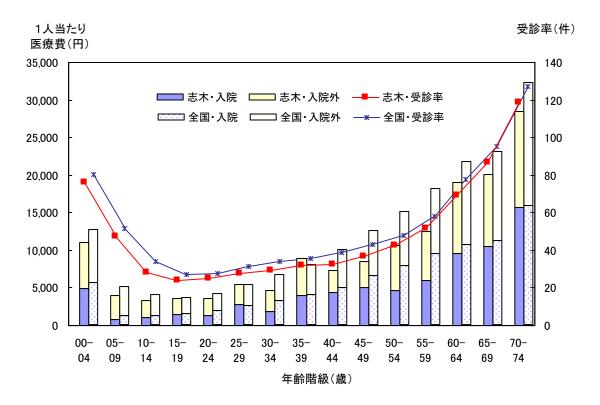
【被保険者 1 人当たり医療費】

平成20年度の医科(入院、入院外)の費用総額を被保険者数(年度平均値)で除して得た数。

【受診率】(100人当たり受診件数)

平成 20 年度の医科 (入院、入院外) の受診総件数を被保険者数 (年度平均値) で除して得た数に、100 を乗じて得た数。

図表 7:年齢階級別、入院・入院外別、被保険者 1 人当たり医療費、受診率【全国との比較】



※全国のデータは、厚生労働省「平成20年度医療給付実態調査」より算出

図表 8:年齢階級別、男女別、入院・入院外別、被保険者 1 人当たり医療費、受診率

	男					3	x	
1人当たり	医療費(円)	受診≖	椞(件)	年齢区分 (歳)	1人当たり	1人当たり医療費(円)		を(件)
入院	入院外	入院	入院外	(所义)	入院	入院外	入院	入院外
7,852	6,422	1.57	50.57	総数	6,095	6,960	1.32	66.12
6,212	6,429	1.68	77.63	00-04	3,423	5,664	1.46	70.68
802	3,479	0.43	49.69	05-09	737	3,080	0.29	44.34
1,353	2,708	0.29	28.50	10-14	714	1,766	0.30	27.31
2,352	2,717	0.51	20.94	15-19	459	1,717	0.23	26.22
1,996	2,252	0.53	19.24	20-24	608	2,286	0.36	30.90
1,503	2,224	0.48	19.63	25-29	4,281	3,114	1.12	35.93
1,792	1,880	0.43	18.87	30-34	2,018	3,812	0.87	40.74
3,594	5,105	0.84	25.22	35-39	4,503	4,644	1.10	38.01
2,465	2,563	0.64	26.00	40-44	6,810	3,557	0.99	39.47
5,468	2,803	1.26	30.01	45-49	4,650	4,254	1.07	42.13
2,514	5,092	0.61	30.79	50-54	6,795	7,018	1.32	52.56
7,351	6,682	1.69	41.60	55-59	4,855	6,474	1.02	57.87
12,674	10,659	2.43	60.92	60-64	7,401	8,653	1.59	71.93
13,046	9,407	2.61	77.20	65-69	8,079	9,721	1.70	91.73
19,691	12,521	3.32	107.99	70-74	12,050	13,014	2.33	123.81

ポイント/ 被保険者1人当たり医療費・受診率

○1 人当たり医療費・受診率は全国より低く、20 歳以降は年齢に比例して増加

4 疾病別にみた診療の状況

(1)疾病別にみた診療の状況

①疾病別医療費

主な疾病の総医療費に占める割合を図表 9、疾病別 1 か月当たり医療費の上位 10 位を図表 10~12 に示した。

入院と入院外を合わせた医療費をみると、腎不全(18,360,873円)、高血圧性疾患(16,287,343円)、その他の悪性新生物(12,378,395円)、糖尿病(10,867,488円)、統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害(9,849,010円、以下「統合失調症」という。)の順に高くなっており、上位5疾病で総医療費の26.1%、上位10疾病で39.7%を占めている。

入院では、その他の悪性新生物(8,475,245円)、統合失調症(6,886,008円)、脳梗塞(6,834,385円)、入院外では、腎不全(15,380,883円)、高血圧性疾患(14,086,120円)、糖尿病(7,153,118円)の順となっている。

図表 9:主な疾病の総医療費に占める割合



図表 10:疾病別1か月当たり医療費 上位 10位【入院+入院外】

主病	医療費(円)	割合
腎不全	18,360,873	7.1%
高血圧性疾患	16,287,343	6.3%
その他の悪性新生物	12,378,395	4.8%
糖尿病	10,867,488	4.2%
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	9,849,010	3.8%
脳梗塞	8,140,718	3.1%
その他の消化器系の疾患	7,295,003	2.8%
その他の心疾患	6,988,970	2.7%
骨折	6,884,325	2.6%
その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	6,076,348	2.3%

図表 11:疾病別1か月当たり医療費 上位 10位【入院】

図表 12:疾病別1か月当たり医療費 上位 10 位【入院外】

順位	主病	医療費(円
1	その他の悪性新生物	8,475,2
2	統合失調症、統合失調症型障害及び妄	想性60章8審6,0
3	脳 梗 塞	6,834,3
4	骨折	5,955,0
5	その他の心疾患	5,680,8
6	その他の消化器系の疾患	4,876,2
7	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新	生物3,803,7
8	糖 尿 病	3,714,3
9	虚血性心疾患	3,350,6
10	脊椎障害(脊椎症を含む)	3,221,140

J	順位	主病	医療費(円)
ſ	1	腎不全	15,380,883
	2	高血圧性疾患	14,086,120
	3	糖尿病	7,153,118
I	4	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	5,307,578
ı	5	屈折及び調節の障害	4,697,570
	6	その他の悪性新生物	3,903,150
	7	その他の眼及び付属器の疾患	3,340,468
	8	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	2,963,003
ı	9	炎症性多発性関節障害	2,894,695
L	10	胃炎及び十二指腸炎	2,707,758

【総医療費】

総医療費は、平成 $20 \cdot 21$ 年 5 月 $\cdot 10$ 月診療分の 4 時点での医科(入院、入院外)の費用額を合算した 1,039,479,190 円を 4 で除した 259,869,798 円。

【1 か月当たり医療費】

1 か月当たり医療費は、平成 $20 \cdot 21$ 年 5 月 $\cdot 10$ 月診療分の 4 時点での医科(入院、入院外)の費用額を合算し、4 で除して得た数。

ポイント! 疾病別医療費

- 〇医療費・入院外医療費の1位は「腎不全」
- ○上位の 5 疾病で総医療費の 26.1%、10 疾病で 39.7%を占める

②疾病別、年齢階級別、被保険者1人当たり医療費

疾病別1人当たり医療費について、各年齢階級の上位5位の金額を図表13、14に示した。 入院では、0歳から14歳の若年層で呼吸器系疾患、20歳から55歳で精神疾患(主に統合失調症)、 35歳以上(特に55歳以上)ではがん、50歳以上で脳血管疾患が多いことが特徴としてみられた。 入院外では、0歳から19歳で呼吸器系疾患、20歳から59歳で精神疾患(主に統合失調症と気分障害)、25歳以上で腎不全、45歳以上で高血圧性疾患と糖尿病、がんが多いことが特徴的であった。

図表 13:疾病別、年齢階級別、被保険者1人当たり医療費【入院】

年齢階級/順位	1位	2位	3位	4位	5位
00-04歳	妊娠及び胎児発育に関連 する障害	症状、徴候及び異常臨床所 見・異常検査所見で他に分類 されないもの	その他の先天奇形、変形 及び染色体異常	肺炎	急性気管支炎及び急性細 気管支炎
	984	833	608	586	392
05-09歳	その他の精神及び行動の障害	喘息	その他の呼吸器系の疾患	その他の神経系の疾患	骨折
05-09成	339	235	235	207	181
10 14#	その他の先天奇形、変形 及び染色体異常	喘息	急性気管支炎及び急性細 気管支炎	その他の呼吸器系の疾患	骨折
10-14歳	.及少天已必要此 348	162	<u>XLE X X 112</u>	110	72
15 10 4	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	骨折	胃炎及び十二指腸炎	流産	腸管感染症
15-19歳	438	227	169	107	68
00 04 15	その他の皮膚及び皮下組 織の疾患	良性新生物及びその他の 新生物	脳性麻痺及びその他の麻 痺性症候群	精神作用物質使用による 精神及び行動の障害	真菌症
20-24歳	- 「● ○ 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	284	266	171	69
0F 00#	脳性麻痺及びその他の麻 痺性症候群	骨折	統合失調症、統合失調型 障害及び妄想性障害	その他の消化器系の疾患	気分[感情]障害(躁うつ 病を含む)
25-29歳	7 年正近5位	405	349	170	111
00 04#	くも膜下出血	統合失調症、統合失調型 障害及び妄想性障害	その他の先天奇形、変形 及び染色体異常	その他の精神及び行動の 障害	乳房及びその他の女性生 殖器の疾患
30-34歳	437	395	199	81	73
0F 00#	統合失調症、統合失調型 障害及び妄想性障害	子宮の悪性新生物	良性新生物及びその他の 新生物	肝硬変(アルコール性のも のを除く)	その他の心疾患
35-39歳	<u> </u>	397	317	297	246
	その他の循環器系の疾患	統合失調症、統合失調型 障害及び妄想性障害	その他の妊娠、分娩及び 産じょく	その他の悪性新生物	良性新生物及びその他の 新生物
40-44歳	468	<u> </u>	<u>煙しよい</u> 440	243	227
45 40#	その他の心疾患	統合失調症、統合失調型 障害及び妄想性障害	心臓の先天奇形	直腸S状結腸移行部及び 直腸の悪性新生物	低血圧(症)
45-49歳	2,088	1,274	747	<u> </u>	360
-C - 1 +	脳梗塞	関節症	統合失調症、統合失調型 障害及び妄想性障害	脳内出血	子宮の悪性新生物
50-54歳	1,014	534	<u> </u>	357	230
0#E	その他の心疾患	統合失調症、統合失調型 障害及び妄想性障害	その他の悪性新生物	虚血性心疾患	腎不全
55-59歳	1,227	1,020	810	687	387
00 04#	その他の悪性新生物	結腸の悪性新生物	脳梗塞	糖尿病	腎不全
60-64歳	1,030	475	430	373	356
0F 00#	脳梗塞	その他の悪性新生物	直腸S状結腸移行部及び 直腸の悪性新生物	糖尿病	腎不全
65-69歳	810	786	534	456	449
70 744	骨折	その他の悪性新生物	直腸S状結腸移行部及び 直腸の悪性新生物	その他の消化器系の疾患	脳梗塞
70-74歳	1,194	1,168	839	797	777

※上段:主病名、下段:被保険者1人当たり医療費(円)

図表 14:疾病別、年齢階級別、被保険者 1 人当たり医療費【入院外】

年齢階級/順位	1位	2位	3位	4位	5位
00 04# <u></u>	その他の急性上気道感染	喘息	皮膚炎及び湿疹	急性気管支炎及び急性細 気管支炎	その他の損傷及びその他 の外因の影響
00-04歳	<mark>症</mark> 1.039	 840	623	~~~~~~~~~	のが囚の彭葺 331
	端息	その他の急性上気道感染	屈折及び調節の障害	その他の損傷及びその他	急性気管支炎及び急性細
05-09歳	817	<mark>症 414</mark>	227	の外因の影響 223	<mark> 気質支炎</mark> 210
	その他の内分泌、栄養及	喘息	その他の呼吸器系の疾患	屈折及び調節の障害	その他の急性上気道感染
10-14歳	び代謝疾患 386	<u> </u>	230		<mark>症 </mark>
	その他の血液及び造血器の		その他の損傷及びその他	端息	167 その他の急性上気道感染
15-19歳	疾患並びに免疫機構の障害	その他の消化器系の疾患	の外因の影響	1075	<u>症</u>
	422 その他の血液及び造血器の	164 統合失調症、統合失調型	160 神経症性障害、ストレス関連	118 気分(感情)障害(躁 う つ病	115 その他の指復及びその他
20-24歳	疾患並びに免疫機構の障害	障害及び妄想性障害	障害及び身体表現性障害	を含む)	の外因の影響
	490	194	145	114	
25-29歳	腎不全	統合失調症、統合失調型 <u>障害及び妄想性障害</u>	神経症性障害、ストレス関連 障害及び身体表現性障害	皮膚炎及び湿疹	その他の損傷及びその他の外因の影響
	321	190	114	100	
	統合失調症、統合失調型 障害及び妄想性障害	炎症性多発性関節障害	ウイルス肝炎	腎不全	乳房及びその他の女性生 殖器の疾患
30 3千成	294	182	178	158	
ᅋ	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	骨の密度及び構造の障害	腎不全	統合失調症、統合失調型 障害及び妄想性障害	炎症性多発性関節障害
35-39歳	728	675	481	340	216
	統合失調症、統合失調型	気分[感情]障害(躁うつ病	腎不全	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	その他の内分泌、栄養及び保護に
40-44歳	<u>障害及び妄想性障害</u> 349	<u>を含む)</u> 159	155	131	び代謝疾患 126
	統合失調症、統合失調型	高血圧性疾患	—————————————————————————————————————	乳房の悪性新生物	気分[感情]障害(躁うつ病
45-49歳	<u>障害及び妄想性障害</u> 246	242	186	169	<u>を含む</u>) 144
	腎不全	高血圧性疾患	炎症性多発性関節障害	糖尿病	統合失調症、統合失調型
50-54歳	2.077	390	238		<u> 障害及び妄想性障害</u> 190
	賢不全	高血圧性疾患	糖尿病	統合失調症、統合失調型	 乳房の悪性新生物
55-59歳		687 高血圧性疾患 	160k1内 399	<u>障害及び妄想性障害</u> 362	
	816		333		291
60-64歳	腎不全	高血圧性疾患	<mark>糖尿病</mark>	その他の悪性新生物	乳房の悪性新生物
	2,324	978	587	318	
65-69歳	高血圧性疾患	腎不全	糖尿病 	その他の悪性新生物	屈折及び調節の障害
	1,492	1,101	688	428	409
70-74歳	高血圧性疾患	糖尿病	腎不全	その他の悪性新生物	屈折及び調節の障害
	2,013	900	730	661	593

※上段:主病名、下段:被保険者1人当たり医療費(円)

【被保険者1人当たり医療費】

平成 20・21 年 5 月・10 月診療分の 4 時点での医科(入院、入院外)の費用額を合算し、4 時点での被保険者延べ人数で除して得た数。

【受診率】(100人当たり受診件数)

平成 $20 \cdot 21$ 年 5 月 $\cdot 10$ 月診療分の 4 時点での医科(入院、入院外)の受診件数(レセプト件数)を合算し、4 時点での被保険者延べ人数で除して得た数に、100 を乗じて得た数。

ポイント! 疾病別、年齢階級別、被保険者1人当たり医療費

〇精神疾患は 20 歳代から、生活習慣病とがんは 40 歳代から医療費が高くなっている

③疾病分類別、被保険者1人当たり医療費・受診率

疾病分類別1人当たりの医療費および受診率を見ると、全体では循環器系疾患が最も高くなっている。

1 人当たり医療費の入院では新生物、循環器系の疾患、精神及び行動の障害、入院外では循環器 系の疾患、腎尿路生殖器系の疾患、糖尿病を含む内分泌・栄養及び代謝疾患の順に高くなっている。

受診率の入院では新生物、循環器系の疾患、精神及び行動の障害、入院外では循環器系の疾患、 呼吸器系の疾患、眼及び付属器の疾患の順に高くなっている。

男女別に1人当たり医療費・受診率をみると、入院では男性、入院外では女性がいずれも高くなっている。

図表 15:疾病分類別、男女別、入院・入院外別、被保険者 1 人当たり医療費

単位:円

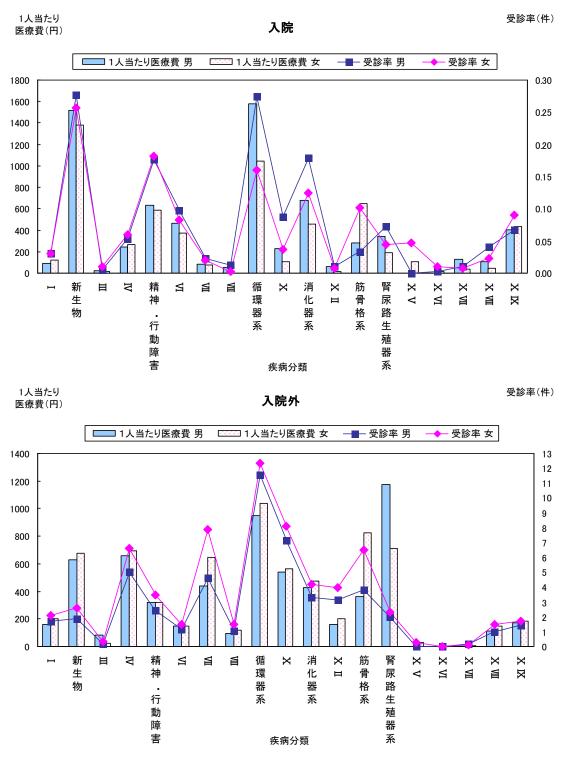
疾病分類別		入院		完外
		女	男	女
Ⅰ 感染症及び寄生虫症	94	125	163	199
Ⅱ 新生物	1,516	1,377	632	677
Ⅲ 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	19	18	84	22
Ⅳ 内分泌・栄養及び代謝疾患	241	265	661	693
Ⅴ 精神及び行動の障害	637	587	322	321
Ⅵ 神経系の疾患	462	372	149	151
Ⅷ 眼及び付属器の疾患	81	77	441	645
Ⅷ 耳及び乳様突起の疾患	50	3	94	117
Ⅸ 循環器系の疾患	1,579	1,044	949	1,037
X 呼吸器系の疾患	227	107	539	563
X I 消化器系の疾患	681	458	426	475
XⅡ 皮膚及び皮下組織の疾患	61	18	161	201
XⅢ 筋骨格系及び結合組織の疾患	281	651	360	824
XⅣ 腎尿路生殖器系の疾患	342	192	1,175	714
XV 妊娠、分娩及び産じょく	0	106	0	28
XVI 周産期に発生した病態	0	18	0	1
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	132	35	11	8
X呱 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	110	46	114	146
XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	403	438	170	186

図表 16:疾病分類別、男女別、入院・入院外別、受診率

単位:件

疾病分類別		院	入院外	
		女	男	女
Ⅰ 感染症及び寄生虫症	0.03	0.03	1.70	2.07
Ⅱ 新生物	0.28	0.26	1.89	2.61
皿 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	0.01	0.01	0.14	0.30
Ⅳ 内分泌・栄養及び代謝疾患	0.05	0.06	5.00	6.62
V 精神及び行動の障害	0.18	0.18	2.41	3.47
VI 神経系の疾患	0.10	0.08	1.15	1.49
Ⅷ 眼及び付属器の疾患	0.02	0.02	4.62	7.89
™ 耳及び乳様突起の疾患	0.01	0.00	1.05	1.47
区 循環器系の疾患	0.27	0.16	11.58	12.31
X 呼吸器系の疾患	0.09	0.04	7.14	8.08
X I 消化器系の疾患	0.18	0.12	3.33	4.17
	0.01	0.01	3.16	3.97
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	0.03	0.10	3.80	6.49
XIV 腎尿路生殖器系の疾患	0.07	0.04	2.00	2.30
XV 妊娠、分娩及び産じょく	0.00	0.05	0.00	0.26
XVI 周産期に発生した病態	0.00	0.01	0.00	0.01
🗙 Ⅷ 先天奇形、変形及び染色体異常	0.01	0.01	0.15	0.11
X呱 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	0.04	0.02	1.00	1.50
XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	0.07	0.09	1.41	1.72

図表 17:疾病分類別、男女別、入院・入院外別、被保険者 1 人当たり医療費、受診率



ポイント! 疾病分類別、被保険者1人当たり医療費・受診率

- 〇疾病分類別1人当たりの医療費・受診率の1位は「循環器系疾患」
- 〇入院では、1人当たりの医療費・受診率ともに「新生物」が1位
- 〇男女別の1人当たり医療費・受診率では、入院は男性が高く、入院外は女性が高い
- ○1人当たり医療費では、男性は「腎尿路生殖系疾患」、女性は「筋骨格系疾患」が高い

(2) 生活習慣病の状況

①生活習慣病別、被保険者 1 人当たり医療費・受診率

生活習慣病別1人当たりの医療費では、腎不全、高血圧性疾患、糖尿病、脳梗塞の順に高くなっている。ここでも、循環器系の疾患が上位を占めている。

男女別に見ると、男性では、腎不全、高血圧性疾患、糖尿病、女性では、高血圧性疾患、腎不全、 糖尿病の順となっている。生活習慣病全体における1人当たりの医療費では、男性の方が女性に比 べて高くなっている。

生活習慣病別受診率では、高血圧性疾患が最も高く、次いで、糖尿病、脂質異常症や肥満症を含むその他の内分泌、栄養及び代謝疾患の順に高くなっている。受診率でも循環器系の疾患が上位を占めている。

男女別に見ると、男性では、高血圧性疾患、糖尿病、その他の内分泌、栄養及び代謝疾患、女性では、高血圧性疾患、その他の内分泌・代謝疾患、糖尿病の順となっている。生活習慣病全体における受診率では、女性の方が男性に比べて高くなっている。

医療費の約3割、死亡割合の約6割を占める生活習慣病

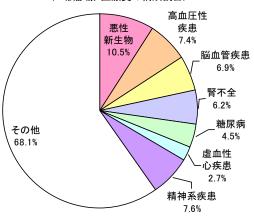
わが国の平均寿命は、世界でも高い水準にあります。しかし、高齢化の急速な進展に伴い疾病構造も変化し、疾病全体に占める虚血性心疾患、脳血管疾患、糖尿病などの生活習慣病の割合は増加しています。

現在、死亡原因に占める生活習慣病の割合は約6割で、医療費において生活習慣病の占める割合は国民医療費の約3割となっています。

生活習慣病の中でも、特に、心疾患、脳血管疾患の発症が重要な危険因子である糖尿病、高血圧症、脂質異常症などの有病者やその予備群が増加しています。

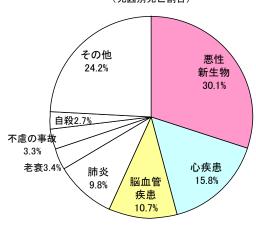
主な疾病の総医療費に占める割合





資料:厚生労働省「平成19年度国民医療費」 ※「腎不全」は、腎不全 糸球体疾患、腎尿細管間質性疾患を含む ※構成比の数値は四捨五入しているため、内訳の合計が100%にならない

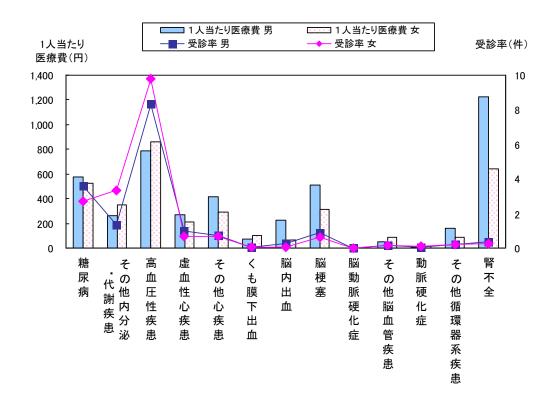
生活習慣病による死亡数割合 (死因別死亡割合)



資料:厚生労働省「平成21年人口動態統計月報年計(概数)の概況」

図表 18:生活習慣病別、男女別、被保険者1人当たり医療費、受診率

	1人当たり	医療費(円)	100人当た	り件数(件)	
	診療	寮費	受診率		
主病名	男女		男	女	
糖尿病	579	521	3.58	2.69	
その他内分泌・代謝疾患	264	350	1.34	3.34	
高血圧性疾患	787	861	8.33	9.80	
虚血性心疾患	271	211	1.00	0.67	
その他心疾患	419	291	0.74	0.65	
くも膜下出血	71	100	0.06	0.04	
脳内出血	225	65	0.26	0.07	
脳梗塞	512	315	0.86	0.64	
脳動脈硬化症	0	0	0.00	0.00	
その他脳血管疾患	54	91	0.16	0.15	
動脈硬化症	10	11	0.08	0.09	
痔核	19	16	0.16	0.13	
低血圧症	0	34	0.00	0.02	
その他循環器系疾患	160	86	0.20	0.21	
腎不全	1,228	640	0.37	0.23	



ポイント! 生活習慣病別、被保険者1人当たり医療費・受診率

〇生活習慣病別の1人当たり医療費·受診率の上位は、「腎不全」、「高血圧性疾患」、「糖尿病」、 「脳梗塞」

②生活習慣病別、入院・入院外別、医療費・受診者数【推計】

生活習慣病別の 1 か月当たり医療費をみると、腎不全 (18,360,873 円)、高血圧性疾患 (16,287,343 円)、糖尿病 (10,867,488 円)、脳梗塞 (8,140,718 円)の順に高くなっており、上位 4 疾病で、総医療費の約 2 割を占めている。

入院では、脳梗塞(6,834,385 円)、糖尿病(3,714,370 円)、虚血性心疾患(3,350,643 円)、入院外では、腎不全(15,380,883 円)、高血圧性疾患(14,086,120 円)、糖尿病(7,153,118 円)の順となっている。

1か月当たりの受診者数では、高血圧性疾患が1,776人と突出しており、糖尿病が585人と続いている。

受診者 1 人当たりの 1 か月当たり医療費では、腎不全(327,873 円)が最も高く、次いで、くも膜下出血(188,764 円)、脳内出血(88,717 円)の順となっている。入院では、くも膜下出血(1,657,260 円)が飛びぬけて高く、次いで、腎不全(595,998 円)、脳内出血(524,529 円)となっている。入院外では、腎不全(301,586 円)が突出しており、他の疾病と大きな開きがある。次いで、糖尿病(12,440 円)、脳梗塞(9,749 円)となっている。

くも膜下出血、脳内出血等の脳血管疾患や腎不全は、受診者数が少ないが受診者1人当たりの医療費は高くなっているため、総医療費を押し上げている。

【1 か月当たり医療費・年間医療費】

1 か月当たり医療費は、平成 $20 \cdot 21$ 年 5 月 \cdot 10 月診療分の 4 時点での医科(入院、入院外)の費用額を合算し、4 で除して得た数。年間医療費は、1 か月当たり医療費を 12 で乗じて得た数。

【1か月当たり受診者数・年間受診者数】

1 か月当たり受診者数は、平成 $20 \cdot 21$ 年 5 月 \cdot 10 月診療分の 4 時点の医科(入院、入院外)のレセプトを名寄せして、集計し、4 で除して得た数。年間受診者数は、1 か月当たり受診者数を 12 で乗じて得た数。

【受診者1人当たり月医療費・受診者1人当たり年間医療費】

受診者1人当たり月医療費は、1か月当たり医療費を1か月当たり受診者数で除して得た数。受診者1人当たり年間医療費は、受診者1人当たり月医療費を12で乗じて得た数。

ポイント! 生活習慣病別、医療費・受診者数

- 〇生活習慣病別の医療費・受診者 1 人当たり医療費の 1 位は「腎不全」
- 〇「腎不全」、「高血圧性疾患」、「糖尿病」、「脳梗塞」の4疾病で、総医療費の約2割を占める
- ○受診者数は突出して「高血圧性疾患」が多く、次いで「糖尿病」が多い

図表 19:生活習慣病別、入院・入院外別、医療費【推計】

	1か月	1か月当たり医療費(円)			年間医療費(円)				総医療費から見た割合		
主病名	合計	入院	入院外	合計	入院	入院外	合計	入院	入院外		
糖尿病	10,867,488	3,714,370	7,153,118	130,409,856	44,572,440	85,837,416	4.2%	1.4%	2.8%		
高血圧性疾患	16,287,343	2,201,223	14,086,120	195,448,116	26,414,676	169,033,440	6.3%	0.8%	5.4%		
虚血性心疾患	4,753,473	3,350,643	1,402,830	57,041,676	40,207,716	16,833,960	1.8%	1.3%	0.5%		
くも膜下出血	1,698,873	1,657,260	41,613	20,386,476	19,887,120	499,356	0.7%	0.6%	0.0%		
脳内出血	2,838,938	2,622,643	216,295	34,067,256	31,471,716	2,595,540	1.1%	1.0%	0.1%		
脳梗塞	8,140,718	6,834,385	1,306,333	97,688,616	82,012,620	15,675,996	3.1%	2.6%	0.5%		
腎不全	18,360,873	2,979,990	15,380,883	220,330,476	35,759,880	184,570,596	7.1%	1.1%	5.9%		

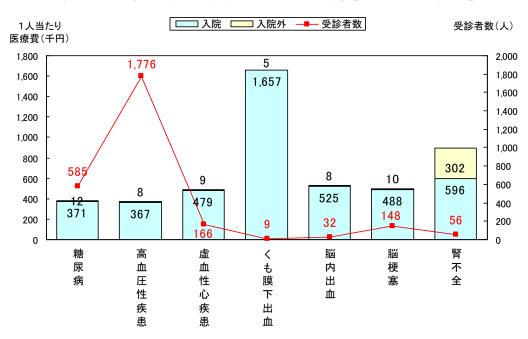
図表 20:生活習慣病別、入院・入院外別、受診者数【推計】

	1か月	当たり受診者	数(人)	年間受診者数(人)			
主病名	合計	入院	入院外	合計	入院	入院外	
糖尿病	585	10	575	7,020	120	6,900	
高血圧性疾患	1,776	6	1,770	21,312	72	21,240	
虚血性心疾患	166	7	159	1,992	84	1,908	
くも膜下出血	9	1	8	108	12	96	
脳内出血	32	5	27	384	60	324	
脳梗塞	148	14	134	1,776	168	1,608	
腎不全	56	5	51	672	60	612	

図表 21:生活習慣病別、入院・入院外別、受診者 1 人当たり医療費【推計】

	1か月	当たり医療費	貴(円)	年間医療費(円)			
主病名	合計	入院	入院外	合計	入院	入院外	
糖尿病	18,577	371,437	12,440	222,924	4,457,244	149,280	
高血圧性疾患	9,171	366,871	7,958	110,052	4,402,452	95,496	
虚血性心疾患	28,635	478,663	8,823	343,620	5,743,956	105,876	
くも膜下出血	188,764	1,657,260	5,202	2,265,168	19,887,120	62,424	
脳内出血	88,717	524,529	8,011	1,064,604	6,294,348	96,132	
脳梗塞	55,005	488,170	9,749	660,060	5,858,040	116,988	
腎不全	327,873	595,998	301,586	3,934,476	7,151,976	3,619,032	

図表 22:生活習慣病別、受診者数、受診者 1 人当たり医療費【1 か月当たりの推計値】



<人工透析の状況>

「腎不全」は、1人当たり医療費は入院・入院外ともに高く、受診者数は少ないが1か月当たり医療費は最も高額になっている。一般的に腎不全が高額になる要因は人工透析によるものと考えられる。人工透析は1回当たりの治療費が高額なだけでなく、週数回の通院が必要となり、受診者数は少なくとも、医療費全体を押し上げる大きな原因となっている。

平成 $20 \cdot 21$ 年 5 月 $\cdot 10$ 月診療分のレセプトにおいて、人工透析を受けている人は 47 人おり(図表 23)、この 1 か月当たりの平均医療費は 425,959 円であり、年間平均医療費では 5,111,512 円にも達すると推計される。

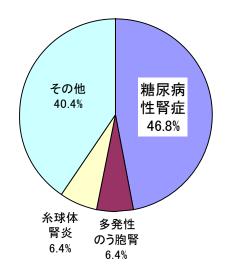
腎不全から人工透析にいたる原因として、糖尿病性腎症(糖尿病の悪化による腎症)が多いといわれており、志木市でも人工透析を受けている 47 人のうち、約半数の 22 人が糖尿病性腎症であることがわかった。この 1 か月当たりの平均医療費は 431,886 円、年間医療費を推計すると 5,182,628 円となり、糖尿病性腎症で人工透析を受けている人の方が医療費はやや高額であった。

図表 23:人工透析を受けていると考えられるレセプトの一覧【高額順】

No.	性別	年齢	1か月あたり 費用額(円)	入院·入院外 区分	No.	性別	年齢	1か月あたり 費用額(円)	入院·入院外 区分
1	男	68	956,410	入院	25	男	51	391,740	入院外
2	男	64	783,860	入院	26	女	60	387,460	入院外
3	男	66	647,530	入院外	27	男	40	387,420	入院外
4	男	74	615,680	入院	28	男	62	385,450	入院外
5	男	54	540,920	入院外	29	男	67	385,120	入院外
6	男	72	537,710	入院外	30	女	63	382,700	入院外
7	男	71	528,590	入院外	31	男	66	382,200	入院外
8	男	59	470,590	入院外	32	男	60	381,180	入院外
9	女	70	465,400	入院外	33	男	59	379,750	入院外
10	男	62	457,420	入院外	34	男	64	378,030	入院外
11	女	28	444,500	入院外	35	男	68	377,710	入院外
12	女	63	442,820	入院外	36	女	71	370,300	入院外
13	男	30	417,970	入院外	37	女	64	370,270	入院外
14	男	64	417,220	入院外	38	女	68	368,040	入院外
15	男	65	414,340	入院外	39	女	52	365,260	入院外
16	男	66	412,010	入院外	40	男	66	364,390	入院外
17	男	65	410,480	入院外	41	女	62	360,710	入院外
18	女	72	402,930	入院外	42	女	71	354,050	入院外
19	女	54	401,710	入院外	43	男	61	349,410	入院外
20	男	70	400,110	入院外	44	男	70	327,370	入院外
21	女	63	399,620	入院外	45	女	37	308,990	入院外
22	男	65	396,270	入院外	46	男	63	282,550	入院外
23	女	64	396,240	入院外	47	男	64	226,550	入院外
24	女	61	393,110	入院外					

図表 24:腎不全における人工透析を受けている人の疾病

疾病名		人数(人)
糖尿病性腎症		22
多発性のう胞腎		3
糸球体腎炎		3
その他		19
	計	47



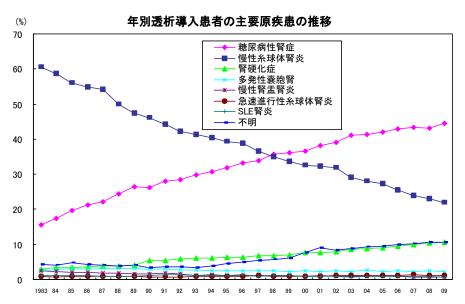
ポイント! 人工透析の状況

〇人工透析を受けている者の平均月間医療費は約43万円、年間では500万円以上と推計 〇人工透析を受けている者の約半数が「糖尿病性腎症(糖尿病の悪化による腎症)」によるもの

人工透析の原因の4割以上が「糖尿病性腎症」

人工透析の原因となる疾患は、平成10(1998)年に「糖尿病性腎症」が「慢性糸球体腎炎」との間で首位の座を入れ替わって以来、増加の一途を示しています。

平成21(2009)年は人工透析のうちの44.5%が「糖尿病性腎症」を原因の疾患としていました。第2位の「慢性糸球体腎炎」は年々減少して22.0%。第3位は透析導入患者の高齢化を反映して「腎硬化症」が10.7%となり、前年3位であった「原疾患不明」の10.6%と順位が入れ替わりました。



資料:日本透析医学会「わが国の慢性透析療法の現況2009年12月31日現在」

(3) 新生物の状況

①新生物部位別、被保険者1人当たり医療費・受診率

新生物の部位別1人当たりの医療費では、食道、肛門、卵巣、膀胱等の悪性新生物を含むその他の悪性新生物が最も高く、次いで、良性新生物及びその他の新生物(以下、「良性新生物」という。)、 直腸S状結腸移行部及び直腸(以下、「直腸」という。)、結腸の順に高くなっている。

男女別に見ると、男性では、その他の悪性新生物、直腸、胃、女性では、乳房、その他の悪性新生物、良性新生物の順となっている。新生物全体における1人当たりの医療費では、男性の方が女性に比べて高くなっている。

新生物の部位別受診率では、その他の悪性新生物、良性新生物、胃の順に高くなっている。

男女別に見ると、男性では、その他の悪性新生物、胃、良性新生物、女性では、良性新生物、乳房、その他の悪性新生物の順となっている。新生物全体における受診率では、男性の方が女性に比べて高くなっている。

がんは「国民病」

がんは、我が国において昭和56(1981)年より死因の第1位であり、「人口動態統計」によれば、現在では年間30万人以上の人が亡くなっています。

また、厚生労働省研究班の推計によれば、生涯のうちにがんにかかる可能性は男性の2人に1人、女性の3人に1人とされています。

部位別に見ると、死亡数、罹患数ともに「肺がん」、「胃がん」、「大腸(結腸・直腸)がん」が上位となっています。

がんは加齢により発症リスクが高まりますが、今後ますます高齢化が進行することを踏まえると、その死亡者数は今後とも増加していくと推測され、もはや「国民病」であると呼んでも過言ではなく、がんを他人事ではない身近なものとして捉える必要性がより一層高まっています。 (厚生労働省「がん対策推進基本計画」より抜粋)

●2008年の死亡数が多い部位は順に

	1位	2位	3位	4位	5位	
男性	肺	胃	肝臓	結腸	膵臓	結腸と直腸を合わせた大腸は3位
女性	肺	胃	結腸	膵臓	乳房	結腸と直腸を合わせた大腸は1位
男女計	肺	胃	肝臓	結腸	膵臓	結腸と直腸を合わせた大腸は3位

●2004年の罹患数(全国推計値)が多い部位は順に

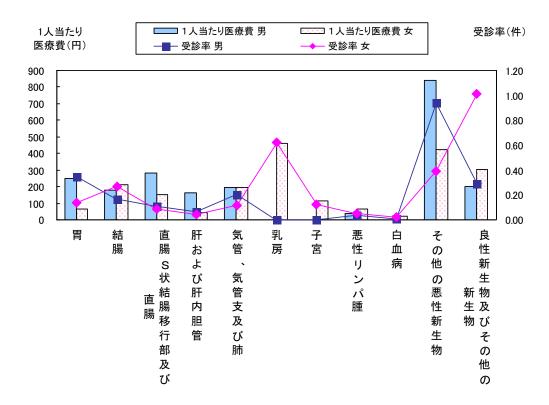
	1位	2位	3位	4位	5位	
男性	胃	肺	前立腺	結腸	肝臓	結腸と直腸を合わせた大腸は2位
女性	乳房*1	胃	結腸	子宫*1	肺	結腸と直腸を合わせた大腸は2位
男女計	胃	肺	結腸	乳房*1	肝臓	結腸と直腸を合わせた大腸は2位

^{*1}上皮内がんを含む。

資料:国立がん研究センターがん対策情報センター

図表 25:新生物部位別、男女別、被保険者1人当たり医療費、受診率

	1人当たり	医療費(円)	100人当た	り件数(件)	
	診療	寮費	受診率		
新生物部位別	男	女	男	女	
胃の悪性新生物	249	62	0.35	0.13	
結腸の悪性新生物	181	213	0.17	0.26	
直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	283	151	0.11	0.09	
肝および肝内胆管の悪性新生物	160	42	0.07	0.04	
気管、気管支及び肺の悪性新生物	197	197	0.20	0.12	
乳房の悪性新生物	_	463	_	0.62	
子宮の悪性新生物	_	114	_	0.12	
悪性リンパ腫	35	65	0.04	0.05	
白血病	1	20	0.01	0.02	
その他の悪性新生物	839	420	0.94	0.39	
良性新生物及びその他の新生物	202	305	0.29	1.01	



ポイント! 新生物部位別被保険者 1 人当たり医療費・受診率

〇新生物の部位別1人当たり医療費・受診率の1位は、食道、肛門、卵巣、膀胱等の悪性新生物を含む「その他の悪性新生物」、2位は「大腸がん(直腸がん・結腸がん)」、3位「肺がん」

〇女性では、1人当たり医療費・受診率ともに「乳がん」が高い

②新生物部位別、入院・入院外別、医療費・受診者数【推計】

新生物の部位別の 1 か月当たり医療費をみると、乳房(4,643,441 円)、直腸(4,275,638 円)、結腸(3,901,725 円)の順に高くなっており、大腸がんが上位を占めている。入院では、直腸(3,803,785 円)、気管・肺(2,935,778 円)、結腸(2,449,845 円)、入院外では、乳房(2,695,718 円)、結腸(1,451,880 円)、気管・肺(2,695,718 円)の順となっている。

1か月当たりの受診者数では、乳房(60人)、胃(49人)、結腸(43人)が上位となっている。 直腸がんは、19人と受診者数は少ないが、1人当たりの医療費が最も高いため、総医療費を押し上 げている。

受診者 1 人当たりの 1 か月当たり医療費では、直腸(225,034 円)が最も高く、次いで、気管・肺(114,614 円)、結腸(90,738 円)の順となっている。入院では、直腸(950,946 円)、子宮(499,182 円)、乳房(486,931 円)入院外では、乳房(48,138 円)、結腸(40,330 円)、気管・肺(36,966 円)となっている。

ポイント! 新生物部位別、医療費・受診者数

○新生物部位別の医療費・受診者 1 人当たり医療費の上位は「大腸がん(直腸がん・結腸がん)」、「乳がん」、「肺がん」

禁煙はがん予防への近道

日本人のがんによる死亡原因は、男性で40%、女性で5%は、喫煙によるものと考えられています。特に肺がんは喫煙との関連が強く、肺がんで亡くなる人のうち、男性で70%、女性で20%は喫煙が原因と言われています。また、がんで死亡する人のうち、たばこを吸う人は、吸わない人に比べて、男性で2倍、女性で1.6倍高いことも報告されています。

禁煙とがん発生のリスクについて、国際がん研究機関は、たとえば肺がんでは、禁煙後 5~9年でリスクが下がり始め、何歳で禁煙をしてもリスクは下がると報告しています。

国際がん研究機関(IARC)による「喫煙とたばこ煙」に対する評価

			喫煙の影響
がん種	因果関係 の有無	期間・本数な どによる影響	その他(組織型別など)
口腔	0	0	お酒との組み合わせでさらにリスクが高くなる。
鼻腔と副鼻腔	0	0	組織型別(扁平上皮癌)に検討しても関連が認められる。
上咽頭	0	0	他の要因の影響の可能性があるが、それだけでは喫煙者でリスクが高くなることについて説明できない。
中咽頭と下咽頭	0	0	
食道	0	0	組織型別に検討しても関連が認められる。お酒との組み合わせでさらにリスクが高くなる(扁平上皮癌)。
胃	0	0	お酒やピロリ菌の影響を除いても、喫煙の影響がある。
大腸(結腸・直腸)	*		喫煙者でリスクが高くなることについて、他の要因の影響を否定できない。
肝臓	0	0	肝炎ウイルスの影響を除いても、喫煙の影響がある。
膵臓	0	0	お酒の影響を除いても、喫煙の影響がある。
喉頭	0	0	お酒との組み合わせでさらにリスクが高くなる。
肺	0	0	がんの組織型別(扁平上皮癌、小細胞癌、腺癌、大細胞癌)に検討してもそれぞれ関連が認められる。
女性乳房	_		喫煙者でリスクが高いことについて、他の要因の影響で説明できる。
子宮頸部	0	0	パピローマウイルスの影響を除いても、喫煙の影響がある。
子宮体部	-		喫煙者でリスクが低い傾向があり、閉経後女性でのその傾向が強い。
前立腺	*		喫煙者でリスクが高いことについて、他の要因の影響を否定できない。
尿路	0	0	移行上皮癌だけでなく、腎細胞がんでも関連がある。
白血病	◎(骨髄性)	0	リンパ性白血病やリンパ腫については、研究報告が少なく、結果も一致していない。

【関連の有無】◎: 因果関係がある ○: リスク上昇と関連がある *: 関連があると判断できない -: 関連がない 【期間・本数などによる影響】○: 期間が長い、本数が多いほどリスクが高い (空白): 記載なし

資料:国立がん研究センターがん対策情報センター

図表 26:新生物部位別、入院・入院外別、医療費【推計】

	1か月	1か月当たり医療費(円)			年間医療費(円))	総医療費から見た割合			
新生物部位	合計	入院	入院外	合計	入院	入院外	合計	入院	入院外	
胃	3,051,678	2,246,690	804,988	36,620,136	26,960,280	9,659,856	1.2%	0.9%	0.3%	
結腸	3,901,725	2,449,845	1,451,880	46,820,700	29,398,140	17,422,560	1.5%	0.9%	0.6%	
直腸	4,275,638	3,803,785	471,853	51,307,656	45,645,420	5,662,236	1.6%	1.5%	0.2%	
気管・肺	3,896,888	2,935,778	961,110	46,762,656	35,229,336	11,533,320	1.5%	1.1%	0.4%	
乳房	4,643,441	1,947,723	2,695,718	55,721,292	23,372,676	32,348,616	1.8%	0.7%	1.0%	
子宮	1,146,023	998,363	147,660	13,752,276	11,980,356	1,771,920	0.4%	0.4%	0.1%	

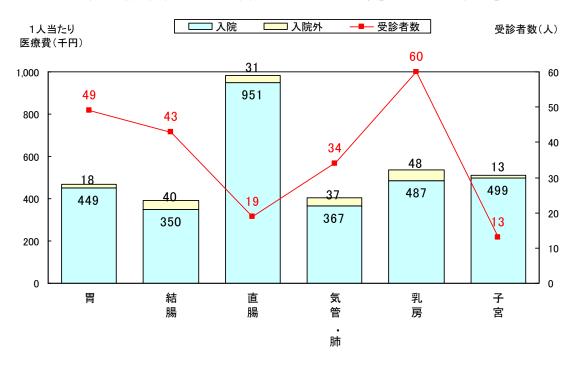
図表 27:新生物部位別、入院・入院外別、受診者数【推計】

	1か月	当たり受診者	数(人)	年間受診者数(人)			
新生物部位	合計	入院	入院外	合計	入院	入院外	
胃	49	5	44	588	60	528	
結腸	43	7	36	516	84	432	
直腸	19	4	15	228	48	180	
気管・肺	34	8	26	408	96	312	
乳房	60	4	56	720	48	672	
子宮	13	2	11	156	24	132	

図表 28:新生物部位別、入院・入院外別、受診者 1 人当たり医療費【推計】

	1か月	当たり医療費	責(円)	年間医療費(円)			
新生物部位	合計	入院	入院外	合計	入院	入院外	
胃	62,279	449,338	18,295	747,348	5,392,056	219,540	
結腸	90,738	349,978	40,330	1,088,856	4,199,736	483,960	
直腸	225,034	950,946	31,457	2,700,408	11,411,352	377,484	
気管・肺	114,614	366,972	36,966	1,375,368	4,403,664	443,592	
乳房	77,391	486,931	48,138	928,692	5,843,172	577,656	
子宮	88,156	499,182	13,424	1,057,872	5,990,184	161,088	

図表 29:新生物部位別、受診者数、受診者 1 人当たり医療費【1 か月当たりの推計値】



(4) 精神及び行動の障害の状況

①精神及び行動の障害別、被保険者1人当たり医療費・受診率

精神及び行動の障害別1人当たりの医療費では、統合失調症が高く、次いで気分 [感情] 障害 (躁うつ病を含む) (以下、「気分障害」という。)、神経性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害(以下、「神経性障害」という。)の順に高くなっている。

男女別に見ても、男女とも全体と同じ順位となっている。気分障害以外の全ての項目で、男性の 方が高くなっている。

精神及び行動の障害別受診率でも1人当たり医療費と同様に、統合失調症、気分障害、神経性障害の順に高くなっている。

男女別に見ると、男性では統合失調症、気分障害、神経性障害、女性では、気分障害、神経性障害、統合失調症の順となっている。

精神作用物質使用による精神及び行動の障害(以下、「精神作用物質使用」という。)、知的障害<精神遅滞>、血管性及び詳細不明の認知症(以下、「認知症」という。)以外の項目では女性の方が高く(ただし、認知症は男女同率)、全体の受診率でも男性に比べて女性の方が高かった。

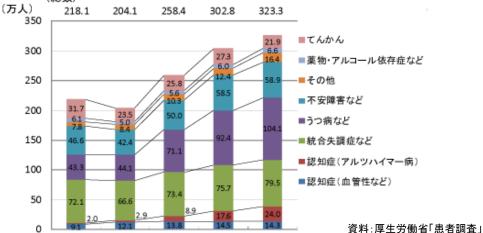
増加する精神疾患

精神疾患は、誰でもかかる可能性のある疾患であると同時に、適切な処置により、 その症状を相当程度安定化させ、軽減または治癒することも可能な疾患です。近年で は、うつ、ストレス疾患、認知症等精神医療の対象となる患者数は大幅に増えており、 精神疾患は、より一般的な病気となっています。

精神疾患により医療機関にかかっている患者数は、平成20年には323万人にの ぼっています。内訳としては、多いものから、うつ病、統合失調症、不安障害などと なっており、 近年においては、うつ病や認知症などの著しい増加がみられます。

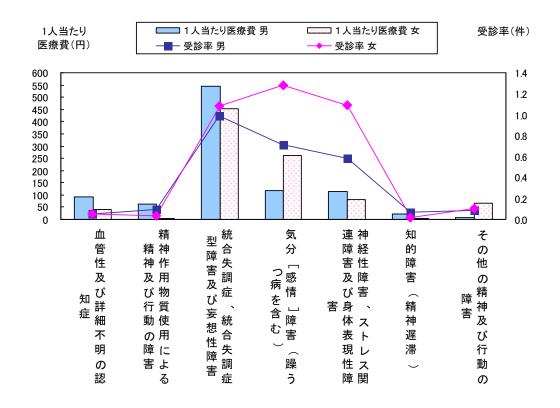
(厚生労働省「みんなのメンタルヘルス 総合ガイト」より抜粋)

精神疾患の患者数 (医療機関に受診する患者の疾病別内訳) (総数) 218.1 204.1 258.4 302.8 323.3



図表 30:精神及び行動の障害の疾病別、男女別、被保険者 1 人当たり医療費、受診率

	1人当たり	医療費(円)	100人当た	り件数(件)	
	診療	秦費	受診率		
主病名	男	女	男	女	
血管性及び詳細不明の認知症	91	41	0.05	0.05	
精神作用物質使用による精神及び行動の障害	62	4	0.09	0.03	
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	545	454	0.99	1.08	
気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	118	260	0.71	1.28	
神経性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	112	82	0.59	1.09	
知的障害<精神遅滞>	22	2	0.07	0.01	
その他の精神及び行動の障害	7	65	0.09	0.10	



ポイント/ 精神及び行動の障害別、被保険者1人当たり医療費・受診率

- 〇精神・行動の障害別1人当たり医療費・受診率の上位は、「統合失調症」、「気分障害」、「神経性 障害」
- ○1 人当たり医療費は男性の方が高く、受診率は女性の方が高い
- 〇「気分障害」や「神経性障害」の受診率は、男性に比べて女性が非常に高く、「気分障害」の医療 費も女性の方が高い

②精神及び行動の障害別、入院・入院外別、医療費・受診者数【推計】

精神及び行動の障害別の1か月当たり医療費をみると、統合失調症(9,849,011円)が突出しており、次いで、気分障害(3,755,923円)、神経性障害(1,917,713円)の順に高くなっており、統合失調症だけで、精神・行動障害の総医療費の5割、上位3疾病で8割を占めている。

入院でも、統合失調症(6,886,008 円)が最も高く、次いで、気分障害(1,997,810 円)、認知症(1,201,408 円)となっている。入院外でも、統合失調症(2,963,003 円)、気分障害(1,758,113 円)、神経性障害(1,236,428 円)の順となっている。

1 か月当たりの受診者数では、統合失調症が 201 人と最も多く、次いで、気分障害(197 人)、神経性障害(165 人)と続いている。

受診者 1 人当たりの 1 か月当たり医療費では、認知症(118,516 円)、統合失調症(49,000 円)、精神作用物質使用(46,339 円)の順となっている。入院では、神経性障害(340,643 円)、認知症(300,352 円)、統合失調症(299,392 円)、入院外では、統合失調症(16,646 円)、認知症(14,610 円)、気分障害(9,253 円)となっている。

ポイント/精神及び行動の障害別、医療費・受診者数

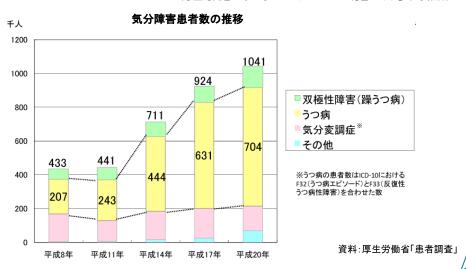
- 〇精神・行動障害の医療費のうち、統合失調症が 5 割、上位 3 疾病(統合失調症、気分障害、神経性障害)で8割を占めている
- 〇受診者数では「統合失調症」、受診者 1 人当たり医療費では「認知症」が上位

「気分障害」とは?

「気分障害」とは、一般的に知られている病名でいえば、「うつ病」や「躁うつ病」のことをさします。

厚生労働省が3年ごとに全国の医療施設に対して行っている「患者調査」によると、平成8年には43.3万人だったうつ病等の気分障害の総患者数は、平成20年には104.1万人と12年間で2.4倍に増加しました。「患者調査」は、医療機関に受診している患者数の統計データですが、うつ病患者の医療機関への受診率は低いことがわかっており、実際はこれより多くの患者がいることが推測されます。

(厚生労働省「みんなのメンタルヘルス 総合ガイト」より抜粋)



図表 31:精神及び行動の障害別、入院・入院外別、医療費【推計】

	1か月当たり医療費(円)			:	年間医療費(円)	総医療費から見た割合			
主病名	合計	入院	入院外	合計	入院	入院外	合計	入院	入院外
血管性・詳細不明の認知症	1,303,678	1,201,408	102,270	15,644,136	14,416,896	1,227,240	0.5%	0.5%	0.0%
精神作用物質使用	648,741	567,343	81,398	7,784,892	6,808,116	976,776	0.2%	0.2%	0.0%
統合失調症	9,849,011	6,886,008	2,963,003	118,188,132	82,632,096	35,556,036	3.8%	2.6%	1.1%
気分障害	3,755,923	1,997,810	1,758,113	45,071,076	23,973,720	21,097,356	1.4%	0.8%	0.7%
神経性障害	1,917,713	681,285	1,236,428	23,012,556	8,175,420	14,837,136	0.7%	0.3%	0.5%
知的障害	231,630	172,485	59,145	2,779,560	2,069,820	709,740	0.1%	0.1%	0.0%
その他の精神・行動障害	721,583	571,550	150,033	8,658,996	6,858,600	1,800,396	0.3%	0.2%	0.1%

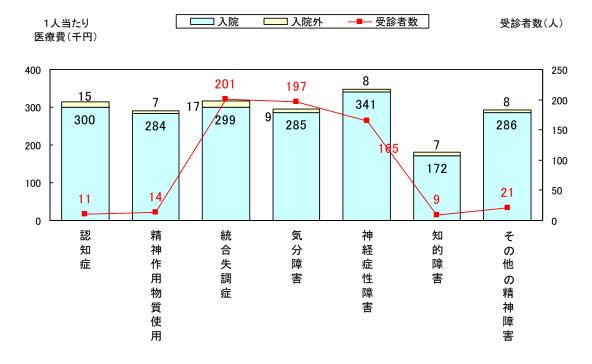
図表 32:精神及び行動の障害別、入院・入院外別、受診者数【推計】

	1か月	当たり受診者	数(人)	年間受診者数(人)				
主病名	合計	入院	入院外	合計	入院	入院外		
血管性・詳細不明の認知症	11	4	7	132	48	84		
精神作用物質使用	14	2	12	168	24	144		
統合失調症・妄想性障害	201	23	178	2,412	276	2,136		
気分障害	197	7	190	2,364	84	2,280		
神経性障害	165	2	163	1,980	24	1,956		
知的障害	9	1	8	108	12	96		
その他の精神・行動障害	21	2	19	252	24	228		

図表 33:精神及び行動の障害別、入院・入院外別、受診者 1 人当たり医療費【推計】

	1か月	当たり医療費	貴(円)	年間医療費(円)				
主病名	合計	入院	入院外	合計	入院	入院外		
血管性・詳細不明の認知症	118,516	300,352	14,610	1,422,192	3,604,224	175,320		
精神作用物質使用	46,339	283,672	6,783	556,068	3,404,064	81,396		
統合失調症・妄想性障害	49,000	299,392	16,646	588,000	3,592,704	199,752		
気分障害	19,066	285,401	9,253	228,792	3,424,812	111,036		
神経性障害	11,623	340,643	7,585	139,476	4,087,716	91,020		
知的障害	25,737	172,485	7,393	308,844	2,069,820	88,716		
その他の精神・行動障害	34,361	285,775	7,896	412,332	3,429,300	94,752		

図表 34:精神及び行動の障害別、受診者数、受診者 1 人当たり医療費【1 か月当たりの推計値】



5 地区別にみた診療の状況

(1) 地区別被保険者の構成

志木市の地区別の人口、高齢化率、被保険者数、国保加入率および年齢構成、平均年齢を以下に示した。

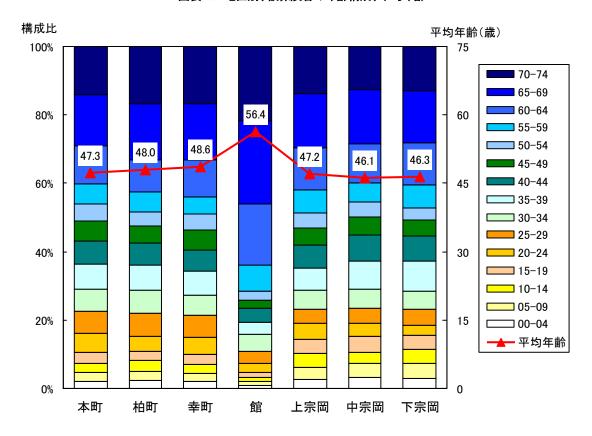
館は他の地区に比べ、若年層が少なく、高齢化率21.4%と最も高くなっている。

図表 35:地区別、男女別、人口、高齢化率、被保険者数、国保加入率【平成 22 年 4 月 1 日時点】

地区	人口(人)		高齢化率(%)		被保険者数(人)※			国保加入率(%)				
地区	計	男	女	全体	男	女	計	男	女	全体	男	女
本町	15,698	7,777	7,921	18.8	16.2	21.2	4,033	1,957	2,076	25.7	25.2	26.2
柏町	12,030	6,123	5,907	20.0	17.8	22.3	3,103	1,560	1,543	25.8	25.5	26.1
幸町	10,401	5,225	5,176	15.6	14.7	16.5	2,359	1,169	1,190	22.7	22.4	23.0
館	8,620	4,172	4,448	21.4	21.8	21.0	2,184	973	1,211	25.3	23.3	27.2
上宗岡	8,292	4,253	4,039	19.6	18.2	21.1	2,868	1,480	1,388	34.6	34.8	34.4
中宗岡	10,751	5,501	5,250	18.8	17.6	20.1	3,645	1,888	1,757	33.9	34.3	33.5
下宗岡	5,114	2,592	2,522	20.1	18.9	21.3	1,742	903	839	34.1	34.8	33.3
全体	70,906	35,643	35,263	19.0	17.6	20.5	19,934	9,930	10,004	28.1	27.9	28.4

※平成22年7月時点の被保険者データ(過去異動者も含む)より算出

図表 36:地区別、被保険者の年齢構成、平均年齢



(2) 地区別、被保険者1人当たり医療費・受診率

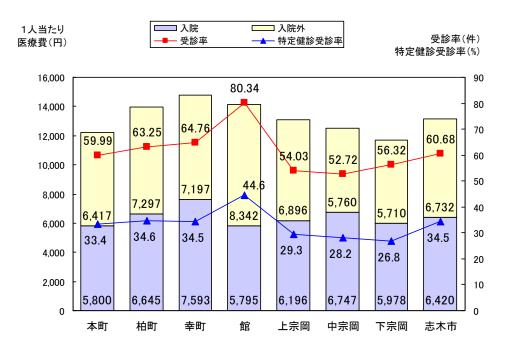
地区別1人当たりの医療費では、幸町が最も高く、次いで館、柏町、上宗岡、中宗岡、本町、下 宗岡の順となっている。

地区別受診率では、館が最も高く、次いで、幸町、柏町、本町、下宗岡、上宗岡、中宗岡の順となっており、特定健診受診率とも相関の傾向にある。

館以外の地区では、1人当たりの医療費と受診率は相関傾向がみられる。館地区は、入院が占める割合が他の地区と比較して低く、入院外の割合が高くなっており、受診率が最も高いにも関わらず、医療費は比例していない。

男 女 受診率(件) 1人当たり医療費(円) 地区 1人当たり医療費(円) 受診率(件) 入院 入院外 入院 入院外 入院 入院外 入院 入院外 本町 6,491 6,456 50.25 5,164 66.54 1.45 6,382 1.08 7,717 6,661 1.46 51.14 柏町 5.615 7.908 1.24 72.23 幸町 7,649 6,854 1.50 54.49 7,539 7,531 1.76 71.52 8,604 1.77 76.15 館 4,644 1.06 7,266 8,137 81.17 7,051 45.97 上宗岡 6,821 6,730 1.45 59.94 5,614 1.21 中宗岡 7.372 4.938 1.52 44.80 6.094 6,621 1.31 58.10 5,711 5,589 1.25 49.30 下宗岡 6,260 5,838 1.35 61.04 6,916 6,451 7,006 51.52 志木市 1.30 1.46 5,937 66.86

図表 37:地区別、男女別、入院・入院外別、被保険者 1 人当たり医療費、受診率



ポイント 地区別、被保険者1人当たり医療費・受診率

- 〇医療への受診率と特定健診受診率は比例
- 〇「館」以外の地区では、受診率に比例して 1 人当たり医療費が高い傾向
- ○医療への受診率と特定健診受診率が最も高い「館」地区は、入院医療費が最も低い

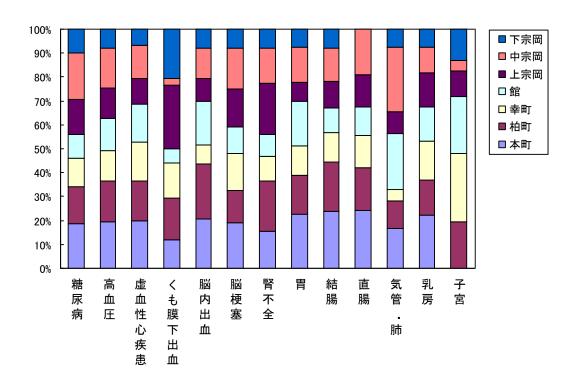
(3) 地区別、疾病別受診者数

地区別における疾病別の平成 20・21 年 5・10 月の受診者を合算した受診者数を以下に示した。糖 尿病は、2,334 人のうち、中宗岡 451 人 (19.3%)、本町 431 人 (18.5%)、柏町 365 人 (15.6%)、上 宗岡 340 人 (14.6%)、幸町 276 人 (11.8%)、館 237 人 (10.2%)、下宗岡 234 人 (10.0%) となって おり、被保険者あたりの受診率で見てもほぼ同程度の割合となっている。

腎不全は、上宗岡、柏町、本町、中宗岡、幸町、館、下宗岡の順に多く、被保険者あたりの受診率はほぼ同程度の割合になっている。

生活習慣病 新生物 虚血性 くも膜下 脳内 糖尿病 脳梗塞 腎不全 胃 気管·肺 乳房 子宮 高血圧 結腸 直腸 出血 心疾患 出血 地区 431 1381 129 26 112 34 42 39 18 20 53 本町 (18.5%) (19.5%)(19.9%)(11.8%)(20.6%) (19.2%)(15.3%)(22.7%)(23.8%)(24.3%) (16.5%)(22.4%)(0.0%)365 1207 108 29 78 47 30 6 34 13 14 34 9 柏町 (15.6%)(17.0%)(16.7%)(17.6%)(23.0%)(13.4%)(21.2%)(16.2%)(20.7%)(17.6%)(11.6%)(14.3%)(19.6%)906 276 104 90 5 10 23 23 20 10 6 39 13 幸町 (16.0%) (14.7%) (7.9%)(5.0%) (28.3%) (11.8%) (12.8%)(15.5%)(10.4%)(12.4%)(12.2%)(13.5%)(16.5%)237 946 104 23 64 20 34 17 11 (10.2%) (13.3%) (16.0%) (5.9%) (18.3%) (11.0%)(9.0%) (18.4%) (10.4%)(12.2%) (23.1%)(14.3%)(23.9%)340 905 69 12 92 48 15 上宗岡 (14.6%) (12.8%)(10.6%)(26.5%) (9.5%)(15.8%)(21.6%) (8.1%)(11.0%)(13.5%)(9.1%)(14.3%)(10.9%) 451 90 100 32 27 23 1196 16 14 33 25 2 中宗岡 (4.3%) (19.3%)(16.8%)(13.9%)(2.9%)(12.7%)(17.2%)(14.4%)(14.6%)(14.0%)(18.9%)(27.3%)(10.5%)234 557 44 7 10 46 18 14 13 0 9 18 6 下宗岡 (10.0%)(7.8%)(6.8%)(20.6%) (7.9%)(7.9%)(8.1%) (7.6%)(7.9%)(0.0%)(7.4%)(7.6%)(13.0%)計 7,098 648 185 164 237 2,334 34 126 582 222 74 121 46

図表 38:地区別、疾病別受診者数【平成 20・21 年 5・10 月受診者延べ人数】



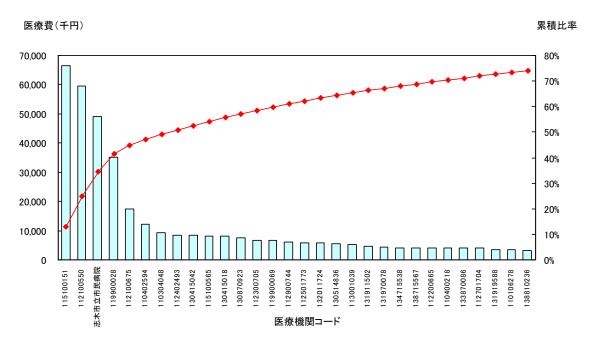
ポイント! 地区別、疾病別受診者数

○地区別の「糖尿病」「腎不全」の受診者数の割合は、ほぼ同程度

6 医療機関別にみた診療の状況

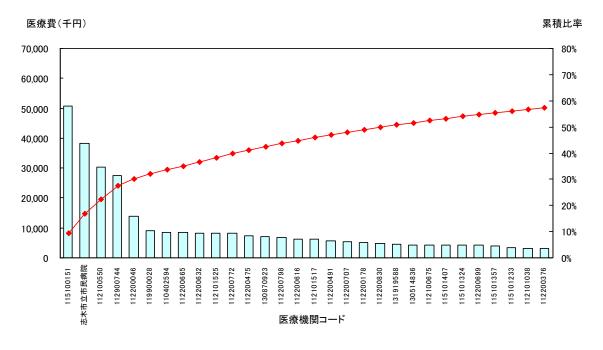
(1) 医療機関への集中度の状況

医療費の発生した医療機関 2,166 機関 (入院: 200、入院外: 2,125) への集中度を見ると、上位 4 機関で全体の 3 割以上、入院だけで見ると 4 割以上を占めている。

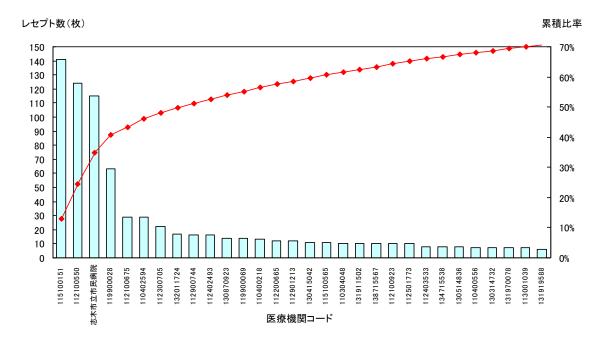


図表 39:医療費【入院】上位 30 機関

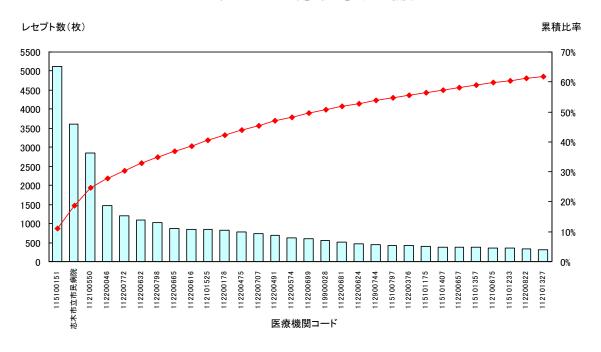




図表 41:レセプト数【入院】上位 30 機関



図表 42:レセプト数【入院外】上位 30 機関



ポイント! 医療機関への集中度の状況

○医療機関への受診は、上位4機関に集中

7 高医療費の状況

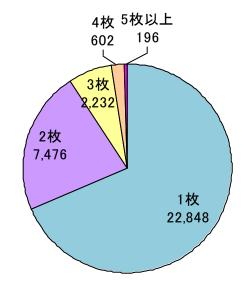
(1) 重複受診(1 か月に医科のレセプトが 4 枚以上ある人)の状況

分析に使用した全レセプト 47,960 件を個人単位で集約(名寄せ)すると 33,354 人に集約された。このことから、受診者 1 人当たりでは、平均 1.44 枚(件)のレセプトが発生していることになる。レセプトが 1 枚のものは全体の 68.5%、2 枚が 22.4%と 2 枚以下のものが 90%以上を占めている。

レセプトが4枚以上ある「重複受診者」は全体の2.4%であった。

図表 43:重複受診の状況:レセプト枚数

レセプト数	人数(人)	割合
1枚	22,848	68.5%
2枚	7,476	22.4%
3枚	2,232	6.7%
4枚	602	1.8%
5枚以上	196	0.6%
計	33,354	100.0%



ポイント! 重複受診の状況

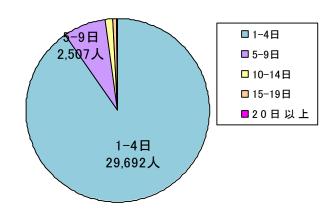
〇医療機関を受診する人 1 人当たりの平均レセプト枚数は 1.44 枚、9 割以上が 2 枚以下 〇レセプト 4 枚以上の「重複受診者」は全体の 2.4%

(2) 頻回受診(1か月に医科のレセプトが20日以上ある人)の状況

頻回受診の状況を見るため、入院外レセプト 46,873 件を個人単位で集約 (名寄せ) すると 32,910 人に集約された。集約された 32,910 人の診療日数の合計を算出し、診療日数ごとに集計した。 診療日数が 1 日のみのものは全体の 50.2%、1~4 日のものが 90%以上を占めている。 診療日数が 20 日以上ある「頻回受診者」は全体の 0.2%であった。

図表 44:頻回受診の状況:診療日数

診療日数口田数)	人数口()	人数割合[3]
1-4	29,692	90.2%
5-9	2,507	7.6%
10-14	480	1.5%
15-19	162	0.5%
20-	69	0.2%
計	32,910	100.0%



ポイント/ 頻回受診の状況

○診療日数1日のみが全体の5割、4日以下が9割以上

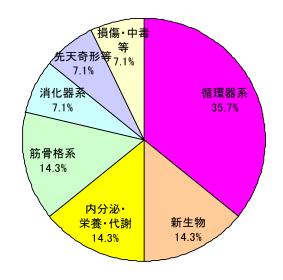
○診療日数 20 日以上の「頻回受診者」は全体の 0.2%

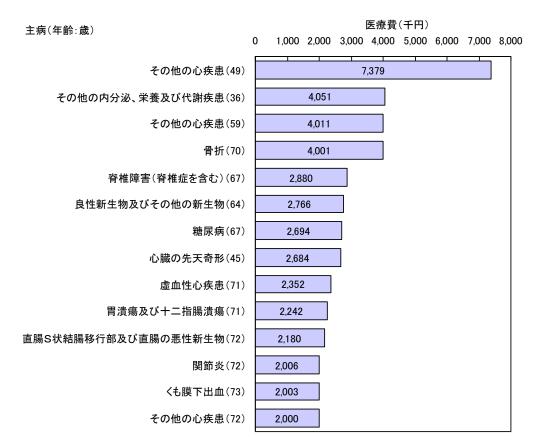
(3) 高額医療費(1か月200万円以上)の状況

今回の分析対象となっている平成 $20 \cdot 21$ 年 5 月 \cdot 10 月の中で、1 か月 200 万円以上の「高額医療費」を抽出したところ 14 件が該当した。うち循環器系疾患が 5 件と約 3 分の 1 を占めている。

図表 45:高額医療費の状況

疾病名	人数(人)	割合(%)
循環器系疾患	5	35.7
新生物	2	14.3
内分泌・栄養・代謝疾患	2	14.3
筋骨格系疾患	2	14.3
消化器系疾患	1	7.1
先天奇形等 · 染色体異常	1	7.1
損傷•中毒等	1	7.1
	14	100.0





ポイント! 高額医療費の状況

○1 か月 200 万円以上の「高額医療費」は 14 件、うち循環器系疾患が約 3 分の 1 を占めている

(4) 長期入院(6か月以上入院した人)の状況

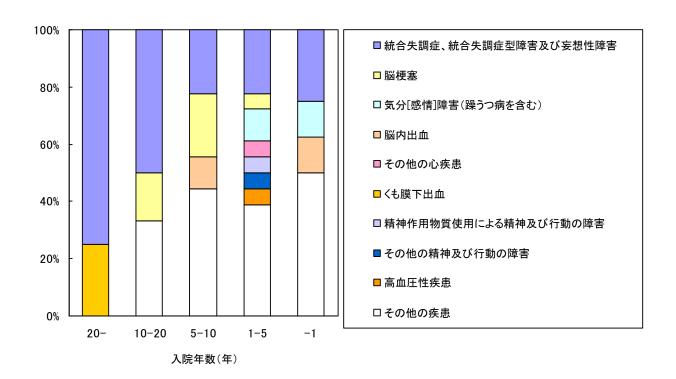
平成21年10月診療時点での6か月以上の長期入院者は45人であった。

統合失調症や気分障害等の精神及び行動の障害系の疾患は入院年数が長くなる傾向がみられる。 その他には、脳梗塞等循環器系の疾患が多く、精神及び行動の障害系と循環器系の疾患が長期入院 者の6割以上を占めている。

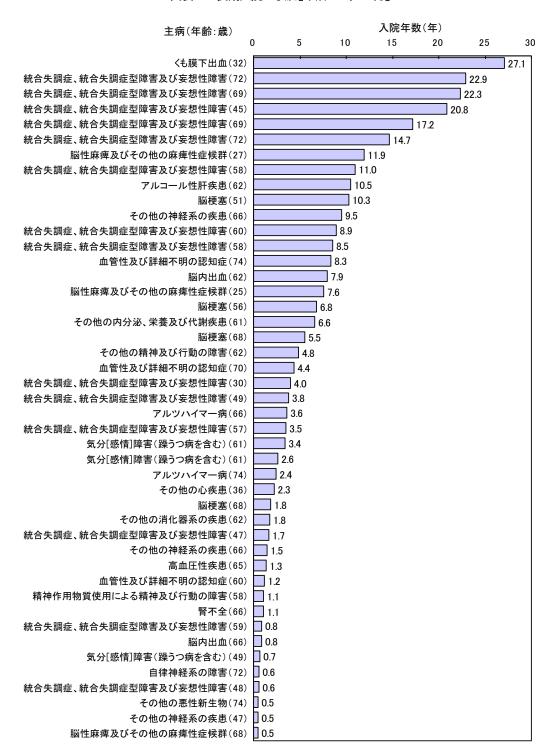
図表 46:長期入院の状況

(入院者数:人)

主病	20年以上	10年以上- 20年未満	5年以上- 10年未満	1年以上- 5年未満	1年未満	合計	
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	精神	3	3	2	4	2	14
脳梗塞	循環器	0	1	2	1	0	4
気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	精神	0	0	0	2	1	3
脳内出血	循環器	0	0	1	0	1	2
その他の心疾患	循環器	0	0	0	1	0	1
くも膜下出血	循環器	1	0	0	0	0	1
精神作用物質使用による精神及び行動の障害	精神	0	0	0	1	0	1
その他の精神及び行動の障害	精神	0	0	0	1	0	1
高血圧性疾患	循環器	0	0	0	1	0	1
その他の疾患		0	2	4	7	4	17
	合計	4	6	9	18	8	45



図表 47:長期入院の状況【平成 21 年 10 月】



ポイント! 長期入院の状況

- ○「精神・行動の障害系疾患」は入院年数が長くなる傾向
- ○「精神・行動の障害系疾患」が長期入院者の約 4 割と最も多く、なかでも「統合失調症」がその 3 分の 2 を占めている
- 〇次いで「循環器系疾患」が多く、約2割を占めている

第3章 健康診査からみた状況

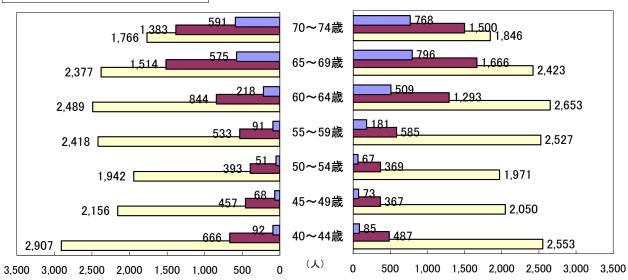
1 健診受診状況

(1) 受診状況

40歳以上74歳以下の市民を対象に実施している特定健康診査(以下、「特定健診」という。) について、平成21年度の受診者数は4,165人であった。健診受診率は、34.5%(男性29.1%、女性39.6%)であった。男女別でみると、女性に比べて男性の受診率が低く、特に男性の40歳代、50歳代で低い傾向であった。

図表 48:総人口のうち健診対象者における健診受診者数【平成 21 年度】

□総人口 ■対象者数 □健診受診者数



健診対象者における健診受診割合

男	40~74歳	健診受診者	1,686人	29.1%	#		40~74歳	健診受診者	2,479人	39.6%
		対象者	5,790人					対象者	6,267人	

※総人口:平成21年4月1日現在

※対象者数、健診受診者数:平成21年度 法定報告値

特定健診の受診医療機関を以下に示した。受診機関 56 機関中上位 2 機関で全体の 3 割以上を占めており、総合健診センターへの受診が最も多かった。

件数(件) 累積比率 650 100% 600 90% 550 80% 500 70% 450 400 60% 350 50% 300 40% 250 200 30% 150 20% 100 10% 50 1112200798 1112200822 1115101407 1112100675 医療機関コード

図表 49:特定健診受診医療機関【H21年度】

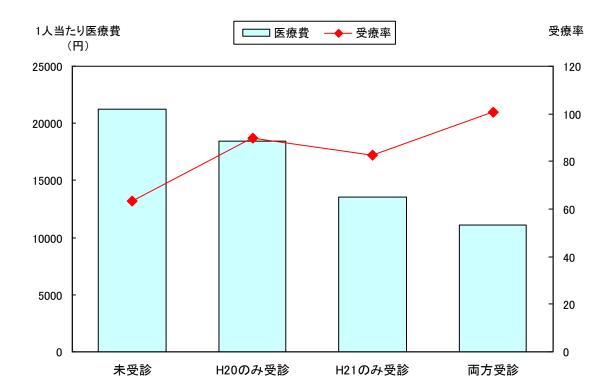
ポイント!健診受診状況

- ○平成 21 年度特定健診受診率は 34.5%(男性 29.1%、女性 39.6%)
- 〇男性は、女性より受診率が低く、特に男性の40~50歳代で低い傾向
- 〇受診先は上位2機関に集中。総合健診センターへの受診が最も多く、約5人に1人が受診

(2) 健診受診状況と受療状況の関係

国民健康保険の被保険者のうち 40 歳から 74 歳の対象者を、特定健診の受診状況から 4 群に分けて、1 人当たり医療費と受療率(100 人当たりのレセプト件数^{※注})の状況をみたところ、健診を受けていない群は、医療機関への受療率が最も低いが、1 人当たり医療費は高くなっている。逆に、平成 20 年度、平成 21 年度ともに健診を受けている群は、医療機関への受療率は高いが、1 人当たり医療費は低いことがわかる。

※注:既出の「受診率」と同義。ここでは健診の受診率との混同を避けるため受療率という表現を使用。



図表 50:健診受診状況別 1 人当たり医療費と受療率

ポイント/健診受診状況と受療状況の関係

〇健診未受診者は、医療機関への受療率は低いが、1 人当たり医療費は高い

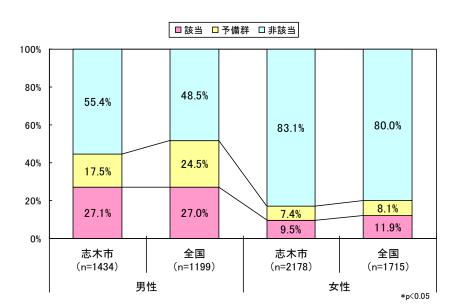
2 健診有所見者状況

(1) メタボリックシンドローム、肥満者の状況

①メタボリックシンドローム該当者の割合

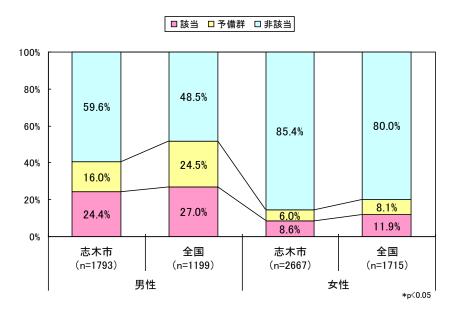
平成 20 年度の特定健診受診者(40 歳以上 74 歳以下)における、メタボリックシンドロームの該当状況は、男性のメタボリックシンドローム基準該当者が 27.1%、予備群が 17.5%であり、合わせて約 4 割が該当していた。また、全国(厚生労働省「平成 20 年国民健康・栄養調査」)に比べて、メタボリックシンドローム該当率は同程度であるのに対し、予備群は志木市の方が、全国値に比べて有意に低い割合であった。

女性の該当者は9.5%であり、全国に比べて有意に低い傾向を示した。なお、平成21年度についても、平成20年度と同様の傾向であった。



図表 51:メタボリックシンドローム基準該当者の割合:全国との比較【H20 年度】

図表 52:メタボリックシンドローム基準該当者の割合:全国との比較【H21 年度】

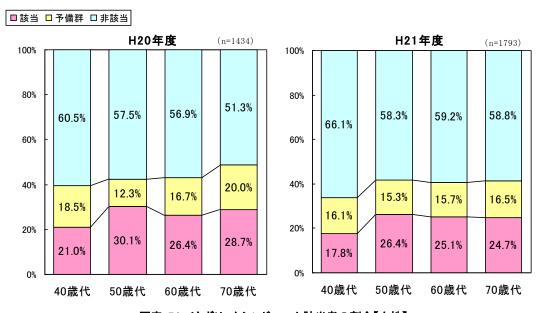


※全国値は、厚生労働省「平成 20 年国民健康・栄養調査」結果

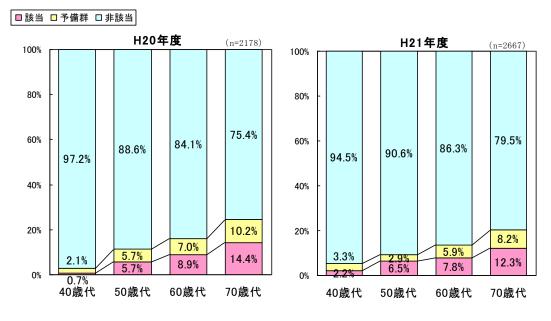
メタボリックシンドロームの該当率について、男女合わせた全体においては 40 歳代から 70 歳代まで年代の増加とともにメタボリックシンドロームの割合も増加する傾向がみられた。

また、男女別で見ると、男性においては、40歳代の該当率が他の年代に比べやや低いものの、その他の年代においては同様な該当率を示していた。一方、女性では、全体のメタボリックシンドロームの該当率は男性に比較して低いが、年代を増すごとに増加する傾向がみられた。

図表 53:メタボリックシンドローム該当者の割合【男性】



図表 54:メタボリックシンドローム該当者の割合【女性】



ポイント! メタボリックシンドローム該当者の割合

- ○メタボリックシンドロームの該当率は、全国に比べて低い
- 〇男性の約4割、女性の約2割がメタボリックシンドローム該当または予備群
- 〇女性は、年代に比例して増加する傾向

【参考】メタボリックシンドロームの診断基準

※日本内科系8学会が平成17年4月に示したメタボリックシンドロームの疾患と診断基準

腹囲に加え、脂質・血圧・糖代謝のそれぞれが基準値以上の場合を「リスク1つ」と数え、2つ以上重なっている場合にはメタボリックシンドロームと判定する。リスク1つの場合は予備群、リスク2つ以上の場合は該当者である。

内臓脂肪(腹腔内脂肪)の蓄積

ウエスト周囲径 (腹囲) 男性 ≥ 8 5 cm (内臓脂肪面積 男女とも ≥ 100平方 cm に相当) 女性 ≥ 9 0 cm

上記に加え以下のうちの2項目以上

1 中性脂肪 ≥ 1 5 0 mg/dl

かつ/または

HDLコレステロール <40mg/dl (男女とも)

2 収縮期血圧 ≥ 1 3 0 mmHg

かつ/または

拡張期血圧 $\geq 8.5 \, \text{mmHg}$ 3 空腹時高血糖 $\geq 1.1.0 \, \text{mmHg}$

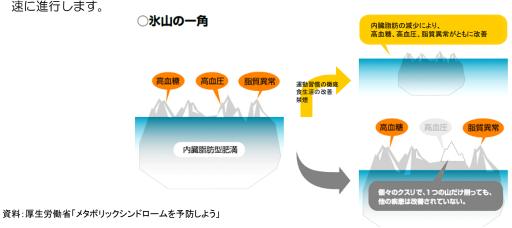
- ・ウエスト径は立位、軽呼気時、臍レベルで測定する。脂肪蓄積が著明で臍が下方に偏位している場合は肋骨下縁と前上腸 骨棘の中点の高さで測定する。
- ・脂質異常症、高血圧、糖尿病に対する薬剤治療をうけている場合は、それぞれの項目に含める。

メタボリックシンドロームとは?

糖尿病などの生活習慣病は、それぞれの病気が別々に進行するのではなく、おなかのまわりの内臓に脂肪が蓄積した内臓脂肪型肥満が大きくかかわるものであることがわかってきました。

内臓脂肪型肥満に加えて、高血糖、高血圧、脂質異常のうちいずれか2つ以上をあわせもった状態を、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)といいます。

内臓脂肪が過剰にたまっていると、糖尿病や高血圧症、高脂血症といった生活習慣病を 併発しやすくなってしまうのです。しかも、「血糖値がちょっと高め」「血圧がちょっと 高め」といった、まだ病気とは診断されない予備群でも、併発することで、動脈硬化が急 速に進行します。



②肥満者の割合

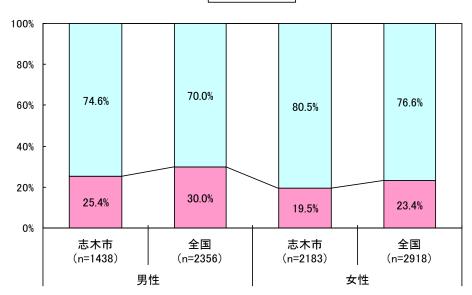
肥満者 (BMI25以上者) の割合についても、全国値に比べて男女とも低い割合であった。

年代別肥満者の割合については、男性は、40歳代、50歳代における該当者率が60歳代、70歳代よりも高く、60歳代の肥満該当率が最も低いのが特徴的であった。この傾向は平成20年度、平成21年度ともに同様であった。

女性においては、平成 20 年度、平成 21 年度ともに、40 歳代の肥満該当率が最も低く、70 歳代の肥満該当率が最も高い状況であった。平成 20 年度、平成 21 年度ともに、年代が上がるにつれ、該当率が増加する傾向であった。

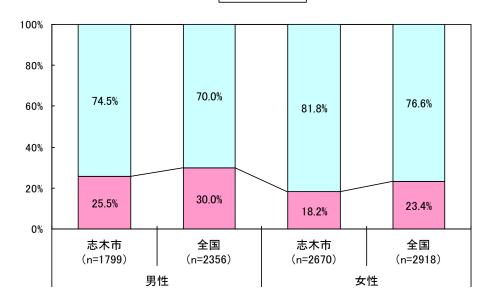
図表 55:肥満者の割合:全国との比較【H20 年度】

■肥満 □非該当



図表 56:肥満者の割合:全国との比較【H21 年度】

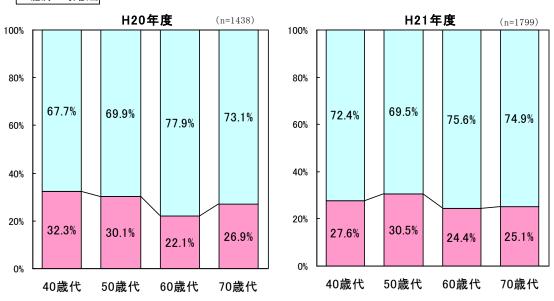
□肥満 □非該当



※全国値は、厚生労働省「平成 20 年国民健康・栄養調査」結果

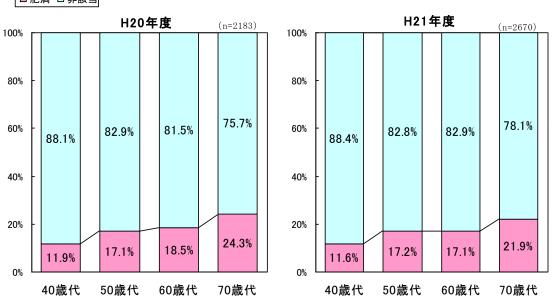
図表 57:肥満者の割合【男性】

■肥満 □非該当



図表 58:肥満者の割合【女性】





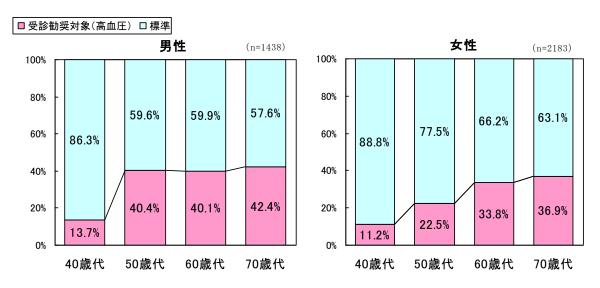
ポイント! 肥満者の割合

- 〇肥満者の該当率も全国に比べて低い
- 〇男性の 40 歳代、50 歳代の約3割が肥満に該当

(2)高血圧・高血糖の該当者の割合

平成 20 年度特定健診受診者における、血圧および血糖の受診勧奨値を基準に該当した割合において、以下に特徴的な項目の結果を示した。

高血圧の該当者の割合は、男性では、40歳代で15%以下であった該当率が、50歳代では3倍近くに増加し、同年代の女性と比べても約20%高くなっている。50歳代以降はほぼ横ばいの状態となっているが、女性では、年代が上がるにつれて、増加する傾向がみられた。

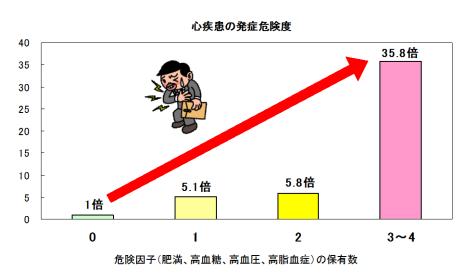


図表 59:血圧における受診勧奨値該当者の割合【H20 年度】

危険因子が重なるほど高きる心臓病等の発症の危険性

メタボリックシンドロームによって引き起こされる病気の発症の危険性は、危険因子の数と大きくかかわっており、危険因子の数が多くなるほど危険度は高まります。 例えば心臓病の場合、危険因子がない人の危険度を1とすると、危険因子を1つもっている場合は5.1倍、2つもっている場合は5.8倍、3~4個もっている場合では危険度は急激に上昇し、なんと35.8倍にもなります。

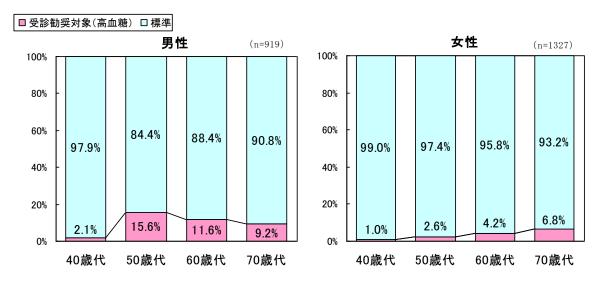
(厚生労働省「メタボリックシンドロームを予防しよう」より抜粋)



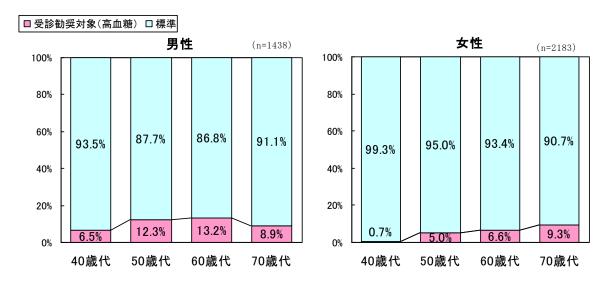
資料:労働省作業関連疾患総合対策研究班調査

高血糖の該当率については、男女ともに 20%未満の該当率であり、他のリスクに比べて低い傾向が みられた。年代別では男女で異なる傾向を示し、男性では、40歳代から 50歳代にかけて倍以上に増加し、以降はほぼ横ばいとなっているが、女性においては年代が上がるにつれて増加傾向を示した。

図表 60:空腹時血糖における受診勧奨値該当者の割合【H20 年度】



図表 61: ヘモグロビンA1cにおける受診勧奨値該当者の割合【H20 年度】



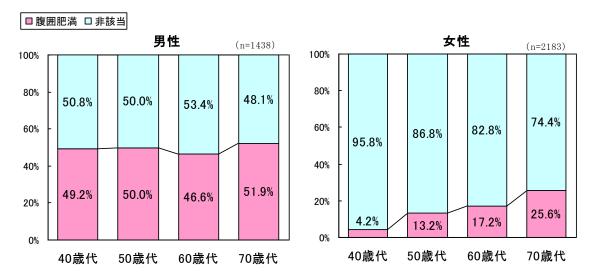
ポイント! 高血圧・高血糖の該当者の割合

- 〇男性は 40 歳代から 50 歳代にかけて高血圧・高血糖が倍増
- ○女性は年代が上がるにつれて高血圧・高血糖が増加する傾向

(3) 保健指導判定値基準該当者の割合

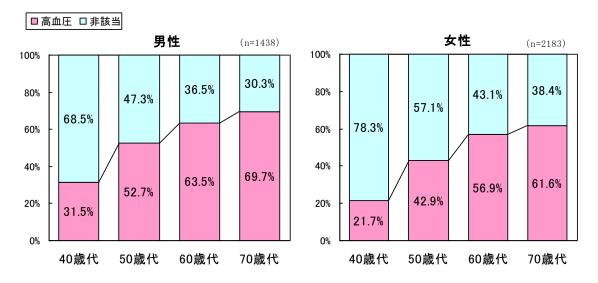
平成 20 年度特定健診受診者における、保健指導判定値を基準に該当した割合において、以下に特 徴的な項目の結果を示した。

腹囲肥満該当者(男性:腹囲 85cm 以上の者/女性:腹囲 90cm 以上の者)の割合については、男性においては、どの年代も肥満者(BMI25以上の者)の割合よりも15%から20%該当率が高い傾向にあった。一方、女性においては、70歳代を除き、肥満の割合よりも該当率が低い傾向がみられた。



図表 62:腹囲肥満該当者の割合

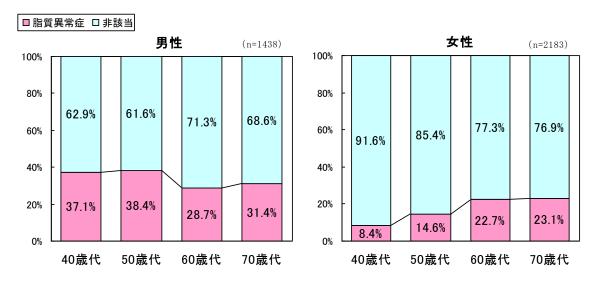
血圧基準値該当者の割合は、男女ともに年代が上がるにつれ増加する傾向がみられた。また、男性においては、40 歳代では約3割、50 歳代では約5割が基準値以上に該当しており、女性に比べて約10%高い傾向を示した。また、男女ともに60 歳代、70 歳代になると、約6割またはそれ以上が基準値以上に該当しており、他のリスクに比べ高い該当率を示した。



図表 63:血圧における保健指導判定値該当者の割合

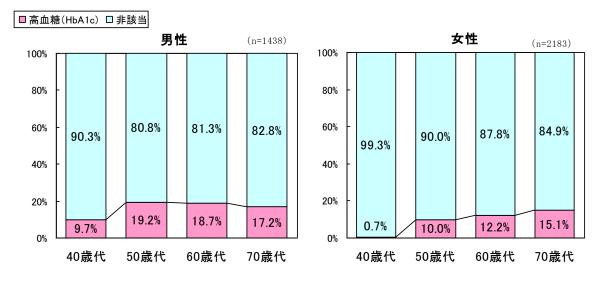
脂質の基準値以上該当者の割合においては、血圧に比べると全体的に該当率が低いが、男女合わせた合計数においては、どの年代も該当率が20%を超える状況であった。

男女別にみると、男性の該当率が女性に比べて高く、60 歳代、70 歳代よりも、40 歳代、50 歳代の該当率が $5\sim10\%$ 高いことが特徴的であった。また、女性においては、40 歳代から 60 歳代にかけて、直線的に該当率が高くなり、60 歳代から 70 歳代にかけては、ほぼ横ばいであった。



図表 64: 脂質における保健指導判定値該当者の割合

血糖の基準該当率については、全体として 20%未満の該当率であり、他のリスクに比べて低い傾向であったが、40 歳代から 50 歳代にかけて倍以上に増加し、その後の該当率が横ばいになる傾向が特徴的であった。



図表 65:血糖における保健指導判定値該当者の割合

ポイント/ 保健指導判定値基準該当者の割合

- 〇男性の 40 歳代で約3割、50歳代では約5割、男女ともに60~70歳代では約6割が高血圧基準値以上に該当
- ○男性の 40~50 歳代で脂質の基準値以上該当者が多い
- 〇高血糖基準以上者は、40歳代から50歳代にかけて倍増

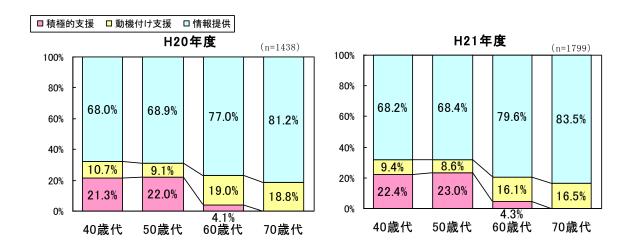
(4) 特定保健指導対象者の階層化の状況

特定保健指導対象者の階層化の状況を示した。積極的支援対象者の割合は、平成 20 年度 3.2%、平成 21 年度 3.3%、動機付け支援対象者は、平成 20 年度 12.2%、平成 21 年度 10.2%であった。全国 (厚生労働省「平成 20 年国民健康・栄養調査」)の状況においては、特定保健指導対象者の割合が 16.5% であり、志木市の値は全国値に比べるとやや低い割合であった。

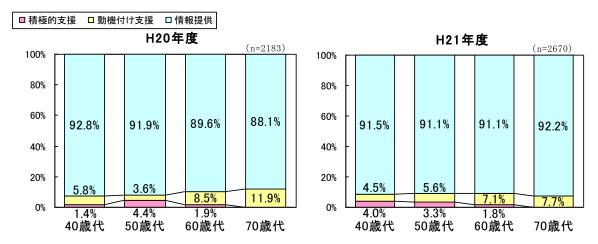
□ 積極的支援 □ 動機付け支援 □ 情報提供 100% 80% 60% 84.6% 86.4% 40% 20% 12.2% 10.2% 3.2% 3.3% 0% H20年度 平成21年度 (n=3621)(n=4469)

図表 66:特定保健指導対象者階層化の状況【全体】

図表 67:特定保健指導対象者階層化の状況【男性】



図表 68:特定保健指導対象者階層化の状況【女性】



ポイント/特定保健指導対象者の階層化の状況

○特定保健指導対象者の割合は、全国に比べてやや低い

【参考】健診検査項目の健診判定値

番号	項目名	保健指導 判定値	受診勧奨 判定値	単位
1	血圧(収縮期)	130	140	mmHg
2	血圧(拡張期)	85	90	mmHg
3	中性脂肪	150	300	mg/dl
4	HDLコレステロール	39	34	mg/dl
5	LDLコレステロール	120	140	mg/dl
6	空腹時血糖	100	126	mg/dl
7	HbA1c	5.2	6.1	%
8	AST(GOT)	31	51	U/I
9	ALT(GPT)	31	51	U/I
10	γ -GT(γ -GTP)	51	101	U/I
11	血色素量 [ヘモグロビン値]	13.0(男性) 12.0(男性)	12.0(女性) 11.0(女性)	g/dl

※1~2のデータ基準については日本高血圧学会「高血圧治療ガイドライン」の判定基準に基づく。

※6~7のデータ基準については日本糖尿病学会「糖尿病治療ガイド」等の判定基準に基づく。

※8~10のデータ基準については日本消化器病学会肝機能研究班意見書に基づく。

【参考】内臓脂肪蓄積リスクの健診判定値

腹囲とBMIで内臓脂肪蓄積リスクを判定する。

- ・腹囲 男性≥85cm、女性≥90cm
- ・腹囲 男性<85cm、女性<90cm かつ BMI≥25

出典:厚生労働省健康局「標準的な健診・保健指導プログラム(確定版)」2007

^{※3~5}のデータ基準については日本動脈硬化学会「動脈硬化性疾患診療ガイドライン」等の 判定基準に基づく。

^{※11}のデータ基準については、WHOの貧血の判定基準、人間ドック学会作成の「人間ドック 成績判定及び事後指導に関するガイドライン」のデータ等に基づく。

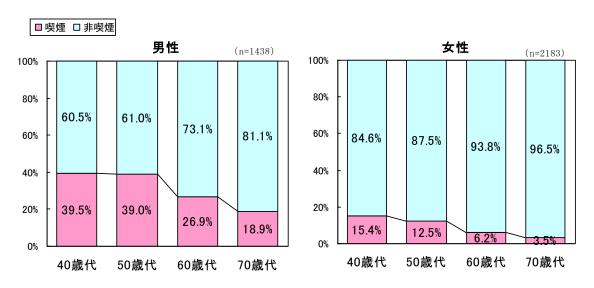
3 生活習慣の状況

(1) メタボリックシンドロームに関連する生活習慣

平成 20 年度特定健診受診者における、メタボリックシンドロームに関連する生活習慣において、 以下に特徴的な項目の結果を示した。

①喫煙

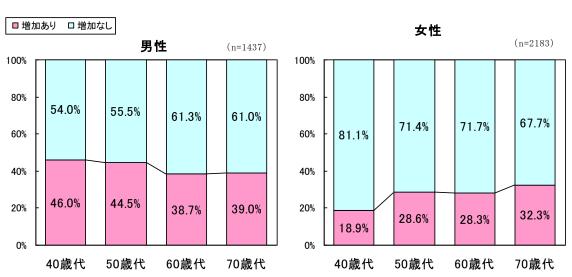
メタボリックシンドロームのリスクの1つである喫煙状況について、男女別、年代別にみたところ、 男性では、40歳代、50歳代の喫煙率が約4割と他の年代に比べて高い傾向にあり、男女ともに、年 代が上がるにつれ、喫煙率は低下する傾向がみられた。



図表 69:喫煙者の割合

②20歳代からの体重増加

20 歳代からの体重変化については、男性は、40 歳代、50 歳代における該当者率が高くなっている。 女性においては、40 歳代の該当率が最も低く、70 歳代の該当率が最も高い状況であり、男女ともに 肥満の該当状況と同じ傾向を示した。



図表 70:20 歳代からの体重増加

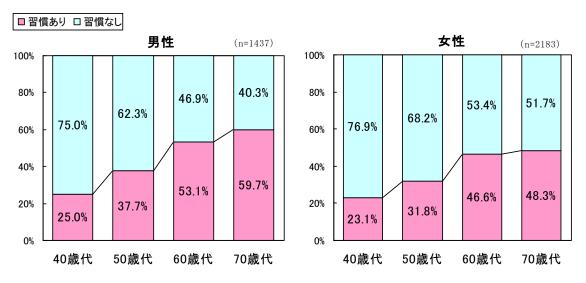
③運動習慣および身体活動習慣

運動習慣者および身体活動習慣者の割合は、年代が上がるにつれ増加する傾向が認められ、70歳代が他の年代に比べ高い傾向を示した。厚生労働省の「平成 20 年国民健康・栄養調査」における運動習慣者の割合の全国平均(約 30%)と比較すると、志木市の運動習慣者の割合は 46.7%であり全国平均に比べ高い傾向を示した。

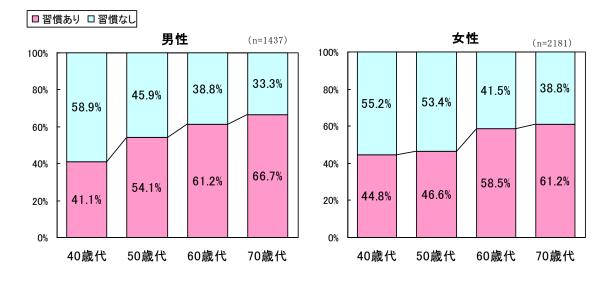
※運動習慣者:1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施している者

※身体活動習慣者:日常生活において、歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施している者

図表 71:運動習慣者の割合

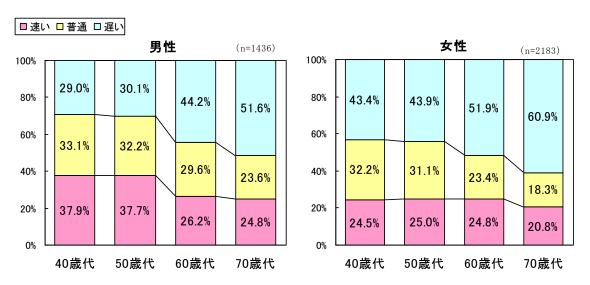


図表 72:身体活動習慣者の割合



4食習慣

メタボリックシンドロームと関連する食習慣として注目されている「早食い」傾向にある人の割合について年代別に比較を行った。「人と比較して食べるのが速い」と回答した人の割合について、女性および男性の 60 歳代以降は、ほぼ同程度の割合となっているが、男性の 40 歳代、50 歳代の約 4 割が「人と比較して食べるのが速い」と回答している。



図表 73:食習慣(食べる速さ)

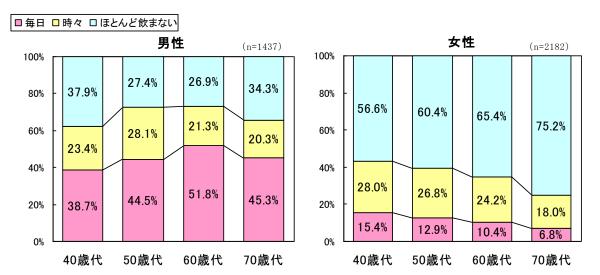
⑤飲酒

男性において毎日飲酒する人の割合は、どの年代もおよそ 40%から 50%の範囲にあった。女性においては、年代が上がるにつれ、飲酒者の割合は低下する傾向がみられた。

【参考データ】毎日飲酒の割合※)

- ・男性: 40 歳代 36.1%、50 歳代 44.4%、60 歳代 47.0%、70 歳代 33.1%
- ·女性: 40 歳代 8.8%、50 歳代 9.5%、60 歳代 4.9%、70 歳代 5.4%

※尾崎ら「 わが国の成人飲酒行動およびアルコール症に関する全国調査, アルコール研究と薬物依存 40: 455-470, 2005.



図表 74:飲酒頻度

ポイント / メタボリックシンドロームに関連する生活習慣

- 〇「喫煙率」は男性の40歳代、50歳代が高く、男女とも年代が上がるにつれ、低下する傾向
- ○「20歳代からの体重増加」は、男性の40歳代、50歳代の該当率が高い
- ○「運動習慣者・身体活動習慣者」は、年代に比例して増加する傾向
- 〇男性の40歳代、50歳代の約4割が「人と比較して食べるのが速い」と回答
- ○女性は、年代が上がるにつれ、飲酒者の割合が低下する傾向

【参考】標準的な質問票(生活習慣を問う質問項目を抜粋)

【 少行』保午時は貝向示 (工力日頃で向り貝向項目で放任)	
質問項目	回答
現在、たばこを習慣的に吸っている。(※「現在、習慣的に喫煙している者」 とは、「合計100 本以上、又は6ヶ月以上吸っている者」であり、最近1 ヶ月 間も吸っている者)	①はい ②いいえ
20 歳の時の体重から10kg 以上増加している。	①はい ②いいえ
1 回30 分以上の軽く汗をかく運動を週2 日以上、1年以上実施	①はい ②いいえ
日常生活において歩行又は同等の身体活動を1 日1時間以上実施	①はい ②いいえ
ほぼ同じ年齢の同性と比較して歩く速度が速い。	①はい ②いいえ
この1 年間で体重の増減が±3 kg以上あった。	①はい ②いいえ
人と比較して食べる速度が速い。	①速い ②ふつう ③遅い
就寝前の2 時間以内に夕食をとることが週に3 回以上ある。	①はい ②いいえ
夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。	①はい ②いいえ
朝食を抜くことが週に3回以上ある。	①はい ②いいえ
お酒(清酒、焼酎、ビール、洋酒など)を飲む頻度	①毎日 ②時々 ③ほとんど飲まない (飲めない)
飲酒日の1日当たりの飲酒量清酒1合(180ml)の目安:ビール中瓶1本(約500ml)、焼酎35度(80ml)、ウイスキーダブルー杯(60ml)、ワイン2杯(240ml)	①1合未満 ②1~2合未満 ③2~3合未満 ④3合以上
睡眠で休養が十分とれている。	①はい ②いいえ
運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いますか。	①改善するつもりはない ②改善するつもりである (概ね6か月以内) ③近いうちに(概ね1か月以内) 改善するつもりであり、少しずつ始めている ④既に改善に取り組んでいる (6か月未満) ⑤既に改善に取り組んでいる (6か月以上)
生活習慣の改善について保健指導を受ける機会があれば、利用しますか。	①はい ②いいえ

出典:厚生労働省健康局「標準的な健診・保健指導プログラム (確定版)」2007より抜粋

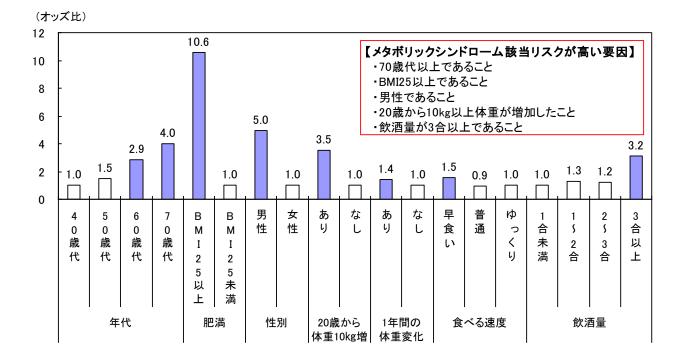
(2) メタボリックシンドロームの該当率に影響を及ぼす生活習慣要因

メタボリックシンドロームの有無に影響を及ぼしている生活習慣を抽出するために、多重比較(ロジスティック回帰分析)を行った。多重比較する際は、年齢、性別、BMI(25 基準)、20 歳代から体重増加、1 年間の体重変化、食べる速度、飲酒量、飲酒頻度、運動習慣、身体活動習慣、歩行速度、就寝前食事、夜食・間食習慣について、それぞれの影響度を調べた。

メタボリックシンドロームの該当有無において、年齢、性別、BMI(25 基準)、20 歳代から体重増加、1年間の体重変化、食べる速度、飲酒量が有意に関連する項目として示された。

70 歳代以上であること、BMI25 以上であること、男性であること、20 歳から 10kg 以上体重が増加したこと、飲酒量が3合以上であることは、それぞれの基準となる状態(項目)に比べて3倍以上メタボリックシンドロームに該当するリスクが高いことが示された。

※多重比較:比較した各項目の影響を考慮し(統計上調整し)、その上で関係がある項目を示す分析方法

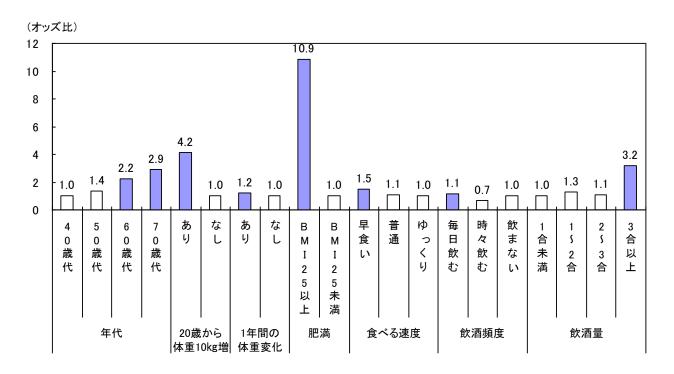


図表 75:メタボリックシンドローム該当の有無に関連する要因【全体】

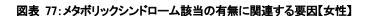
※数値は、全て基準となる項目1に対するリスクの高さ(または低さ)を示している(オッズ比)。

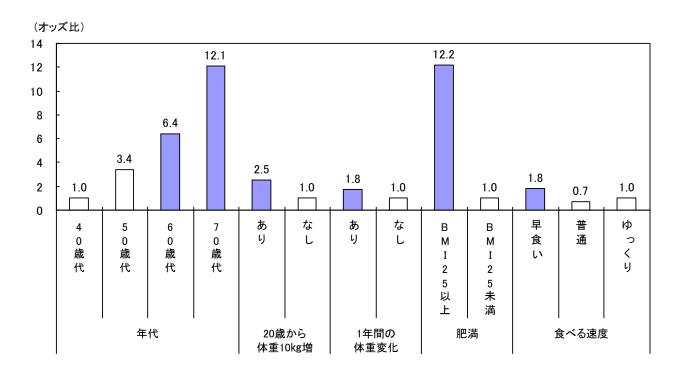
例) 男性は女性に比べメタボリックシンドロームに該当するリスクが 5.0 倍高いことを示す

男女別に、メタボリックシンドロームの有無に影響を及ぼしている生活習慣について同様の手法で調べた結果、男性においては、新たに飲酒頻度が影響する要因として示された。また、男性の方が、20歳からの体重増加(プラス 10kg)が影響する割合(オッズ比)が高いことが示された(女性 2.5倍に対し、男性は 4.2 倍)。



図表 76:メタボリックシンドローム該当の有無に関連する要因【男性】





メタボリックシンドローム該当者における、年齢、性別、BMI、体重増減、生活習慣等の各項目の該当率を示した。該当者の5割以上が該当している項目は、男性であること、60歳以上であること、BMI25以上、20歳代から10kg以上体重増加、運動習慣なしの5項目であった。前項の多重比較においては、該当有無に影響する項目として抽出されなかったが、運動習慣および身体活動習慣がないことは該当者の特徴的生活習慣のひとつと考えられる。

□はい □いいえ 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% 60歳以上 88.6 65.4 20歳から体重10kg以上増加 男性 63.5 55.5 BMI25以上 52.9 運動習慣なし 歩行速度速くない 49.7 42.6 保健指導希望しない 歩行又は身体活動習慣なし 41.7 飲酒(毎日) 36.9 25.1 生活習慣の改善意思なし 22.5 早食い 喫煙 18.7 【メタボリックシンドローム該当群の特徴:5割以上が該当している項目】 •60歳以上 ・20歳代から10kg以上の体重増加 •男性 ·BMI25以上 ・運動習慣なし

図表 78:メタボリックシンドローム該当群の生活習慣および健康意識に関する特徴

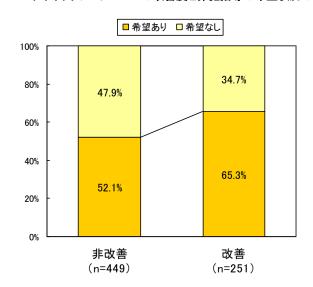
ポイント/ メタボリックシンドロームの該当率に影響を及ぼす生活習慣要因

〇メタボリックシンドロームの該当有無は「年齢」、「性別」、「肥満・体重増加」、「飲酒量」と関係 〇メタボリックシンドローム該当者の 5 割以上が「男性」、「60 歳以上」、「BMI25 以上」、「体重増加」、「運動習慣なし」に該当

(3) メタボリックシンドローム該当と保健指導希望および生活習慣改善意思の関係

平成 20・21 年度の 2 年間連続して特定健診を受診した人のうち平成 20 年度においてメタボリックシンドロームに該当した 700 人を対象に、次年度の該当状況と、保健指導の希望の有無(平成 20 年度)の関係について分析した。

保健指導に参加したが改善せず、次年度も対象になった人が6割以上おり、そのうち約半数が次年度は保健指導を希望しないと回答した。一方、非改善群に比べ、改善群の方が保健指導を希望する割合が多い傾向が認められ、その差は13%であった。



図表 79:メタボリックシンドロームの改善度と保健指導の希望状況の関係

生活習慣の見直しで、メタボリックシンドロームを予防・改善

メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)は、内臓脂肪型肥満を共通の要因として高血糖、脂質異常、高血圧が引き起こされる状態で、それぞれが重複した場合は命にかかわる病気を招くこともあります。

ただし、食べ過ぎや運動不足など、悪い生活習慣の積み重ねが原因となって起こる ため、生活習慣の改善によって、予防・改善できます。

(厚生労働省「メタボリックシンドロームを予防しよう」より抜粋)



メタボリックシンドロームの予防・改善には

1に運動、2に食事、しっかり禁煙、最後にクスリ

メタボリックシンドロームを予防・改善するには、生活習慣を改善して、内臓脂肪を減らすこと。運動習慣をもち、食生活を改善し、禁煙を始めましょう。すでに治療が必要な方は、医師の指導により薬が必要となることもあります。







資料:厚生労働省「メタボリックシンドロームを予防しよう」

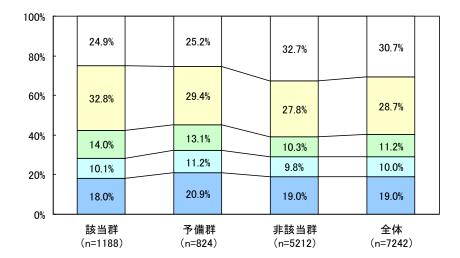
その一方で、保健指導の希望および生活習慣の改善意思があると回答した割合は、該当群および予備群で高く、6割近くが保健指導を希望し、4割以上が生活習慣改善の意思を示している。

図表 80:メタボリックシンドローム判定別保健指導の希望有無

□ 希望あり □ 希望なし 100% 80% 43.9% 42.9% 48.0% 49.8% 60% 40% 56.1% 57.1% 52.0% 50.2% 20% 0% 該当群 予備群 非該当群 全体 (n=1260) (n=859) (n=5953) (n=8072)

図表 81:メタボリックシンドローム判定別生活習慣改善意思

□ 取組済み(6か月)以上 □ 取組済み(6か月未満) □ 意思あり(近いうち)□ 意思あり(6か月以内) □ 意思なし



ポイントノメタボリックシンドローム該当と保健指導希望および生活習慣改善意思の関係

- 〇保健指導に参加したが改善せず、次年度も対象になった者が 6 割以上おり、うち約半数が次年度の保健指導を希望していない
- 〇保健指導を受けて改善した者の6割以上が、次年度の保健指導も希望
- 〇保健指導の希望および生活習慣改善意思は該当群・予備群での割合が高い

4 健診有所見者の医療費の状況

健診における所見の有無において、医療費(入院・入院外医療費・総医療費・生活習慣病関連医療費)の比較を行った。

総医療費は、入院および入院外医療費を合算した値とした。なお、平成 $20 \cdot 21$ 年 5 月 $\cdot 10$ 月に 医療費が発生しなかった場合は0 円として、この4 期間中の1 人当たりの医療費として比較を行った。

●生活習慣病関連医療費

社会保険表章用疾病分類 (119 分類) のうち、「糖尿病」、脂質異常症、肥満症を含む「その他内分泌・代謝疾患」、疾病分類の循環器系疾患に分類される「高血圧性疾患」、「虚血性心疾患」、「その他心疾患」、「くも膜下出血」、「脳内出血」、「脳梗塞」、「脳動脈硬化症」、「その他脳血管疾患」「動脈硬化症」、「痔核」、「低血圧症」、「その他循環器系疾患」および「腎不全」の 15 項目の総医療費

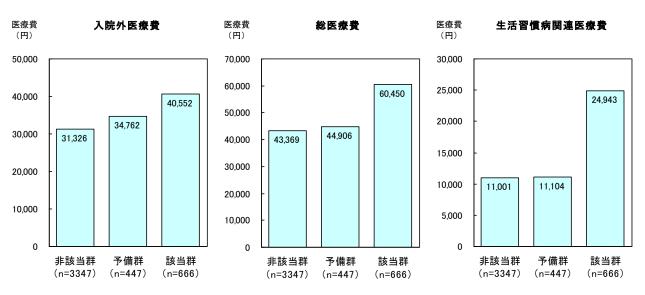
(1)メタボリックシンドローム、肥満者該当者の医療費

①メタボリックシンドロームと医療費との関係

メタボリックシンドローム該当有無による医療費の比較において、メタボリックシンドローム該当 群の入院外医療費が、非該当群に比べて有意に高い傾向を示し、この傾向は入院および入院外医療費 を合算した医療費全体においても同様であった。生活習慣病関連医療費については、メタボリックシ ンドローム群が非該当群、予備群に比べて有意に高い傾向を示した。

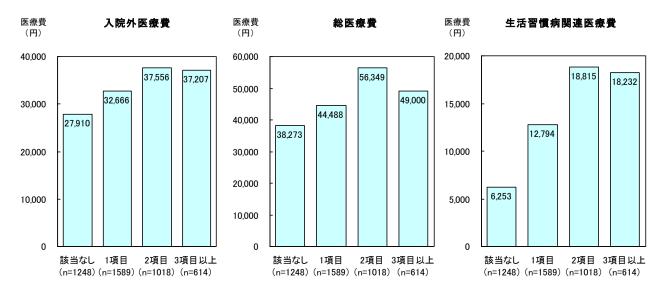
男性においては、メタボリックシンドローム群の入院外医療費が非該当群に比べて有意に高い傾向が認められた。

女性においては、入院医療費、入院外医療費、総医療費、生活習慣病関連医療費の全てにおいて、 メタボリックシンドローム群が非該当群に比べて有意に高い傾向を示した。また、入院外医療費については予備群が非該当群に比べて有意に高く、生活習慣病関連医療費については、メタボリックシンドローム該当群が予備群に比べて有意に高い傾向を示した。



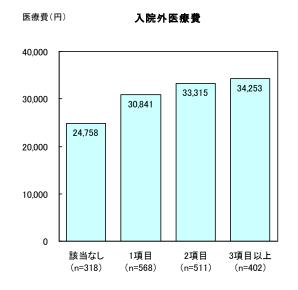
図表 82: メタボリックシンドローム判定別医療費

該当するリスクの項目数別にみた医療費については、入院外医療費において、該当なし群は2項目群、3項目以上群に比べて有意に低く、また1項目群は2項目群に比べ有意に低い傾向が認められた。2項目群と3項目以上群の間には有意な差は認められなかった。総医療費については、該当なし群が2項目群に比べて有意に低い傾向が認められた。生活習慣病関連医療費については、該当なし群が2項目群および3項目以上群に比べて有意に低い傾向が認められた。



図表 83:メタボリックシンドロームを決定するリスク因子該当数別医療費

男性においては、入院外医療費のみ該当なし群が3項目以上群に比べて有意に低い傾向が認められた。



図表 84:メタボリックシンドロームを決定するリスク因子該当数別医療費【男性】

女性においては、該当なし群の入院医療費が2項目群に比べて有意に低い傾向が認められた。入院外医療費は、該当なし群および1項目群が2項目群および3項目以上群に比べて有意に低い傾向が認められた。総医療費および生活習慣病関連医療費については、該当なし群および1項目群が2項目群に比べて有意に低い傾向が認められた。

医療費(円) 医療費(円) 入院医療費 入院外医療費 30,000 50,000 27,292 42,810 40,000 41.829 20,000 33,681 30.000 28,987 20 000 13,079 10,000 9 730 10,000 6,580 n n 該当なし 1項目 2項目 3項目以上 該当なし 1項目 2項目 3項目以上 (n=930)(n=1021)(n=507)(n=212)(n=1021)(n=507)(n=212)(n=930)医療費(円) 総医療費 医療費(円) 生活習慣病関連医療費 80,000 30,000 70,000 69,121 24,240 60,000 21,857 55,889 20.000 50,000 40,000 43,411 35.567 30.000 10.000 11,040 20,000 5,853 10,000 0 0 該当なし 1項目 2項目 3項目以上 該当なし 1項目 2項目 3項目以上 (n=930) (n=1021) (n=507) (n=212) (n=1021) (n=507) (n=212) (n=930)

図表 85:メタボリックシンドロームを決定するリスク因子該当数別医療費【女性】

●メタボリックシンドロームリスク因子

以下の5項目のうち、該当する項目数に応じて、該当なし(すべての項目において該当してない者)、1項目、2項目、3項目以上に分類した。

① 腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上

② 血圧:収縮期 130mmHg 以上、又は拡張期 85mmHg 以上

③ 中性脂肪: 150mg/dl 以上

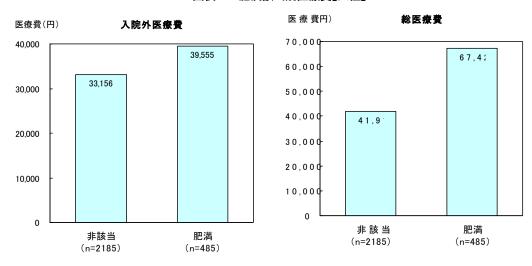
④ HDL-コレステロール: 40mg/dl 未満

⑤ HbA1c: 5.8%以上(血糖は空腹時と随時があるため、HbA1cを用いた)

※HbA1c以外のすべての項目は日本のメタボリックシンドローム基準に基づいて評価した。

②肥満と医療費との関係

BMI25 を基準とした肥満の該当有無と医療費の比較において、全体および男性においては、有意な 差は認められなかったものの、肥満該当群で高い傾向がみられた。女性においては、入院外医療費お よび総医療費において肥満該当群が非該当群に比べて有意に高い傾向を示した。

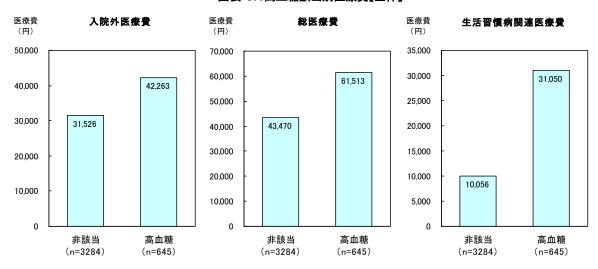


図表 86:肥満該当別医療費【女性】

(2) 高血圧対象者、高血糖対象者の医療費

メタボリックシンドローム診断基準に基づいた高血圧や高血糖の該当有無による医療費の比較において、高血圧の該当有無については、いずれの医療費も有意な差は認められなかった。

高血糖該当群の入院外医療費、総医療費、生活習慣病関連医療費は、非該当群に比べて有意に高い傾向を示した。男女別にみた場合においては、女性のみ高血糖該当群の入院外医療費および生活習慣病関連医療費が非該当群に比べて有意に高い傾向が示された。



図表 87:高血糖該当別医療費【全体】

ポイント! 健診有所見者の医療費

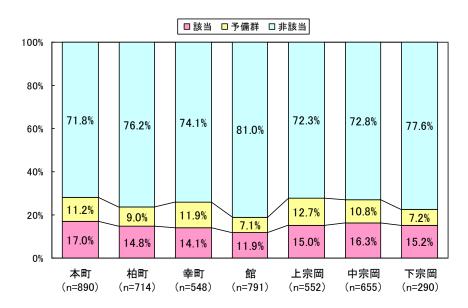
- 〇メタボリックシンドローム該当者、肥満該当者、高血糖該当者の医療費は、非該当者に比べて 高い傾向
- ○メタボリックシンドロームのリスク該当数が増えるにつれて医療費は高くなる傾向

5 地区別にみた健診の状況

平成 21 年度特定健診受診者における、地区別のメタボリックシンドローム該当者の割合およびメタボリックシンドロームに関連する生活習慣において、以下に特徴的な項目の結果を示した。

(1)メタボリックシンドローム該当者の割合

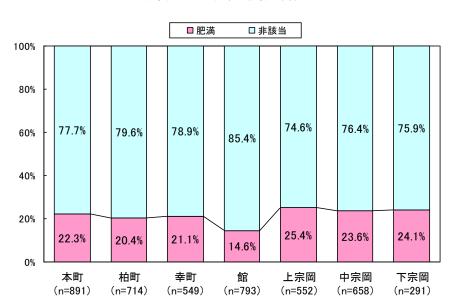
メタボリックシンドローム該当者の割合は、館地区が11.9%と最も低かった。予備群も合わせたメタボリックシンドロームの該当率が最も高かった地区は本町であり、メタボリックシンドローム該当率が17.0%、予備群該当率が11.2%を示した。



図表 88:地区別、メタボリックシンドローム該当者の割合

(2)肥満者の割合

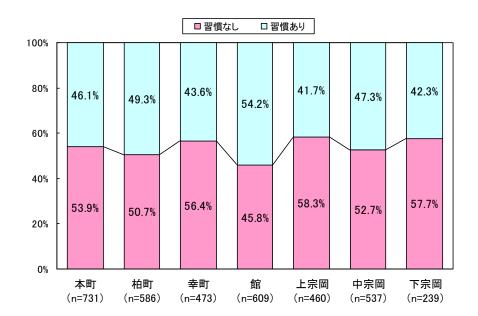
各地区において肥満者(BMI25 基準)の割合は約 $15\%\sim25\%$ であった。全地区の中で館地区は、14.6%と最も低く、その他の地区では20%以上の割合を示した。また、上宗岡地区が、肥満者割合が最も高く25.4%を示した。



図表 89:地区別、肥満者の割合

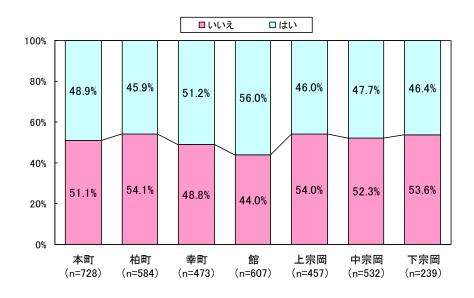
(3)生活習慣

(1)、(2)で示したメタボリックシンドロームおよび肥満の割合との関連性に注目して、生活習慣をみると、メタボリックシンドロームおよび肥満者の割合が最も低かった館地区において、「同年代の人と比較して歩行速度が速い」と答えた割合および「週に 30 分以上の運動を 2 回以上実施している」人の割合が最も高い傾向がみられた。



図表 90:地区別、運動習慣者の割合

図表 91:地区別、同年代に比べて歩くのが速い者の割合



ポイント! 地区別の状況

〇肥満・メタボリックシンドローム該当率が低い館地区では、「同年代の人より歩行速度が速」く、「運動習慣」のある者の割合が高い

第4章 まとめ

1 分析結果のまとめ

○志木市の医療費全体の傾向は全国と同じ

志木市の医療費は、全国や近隣自治体に比べ低い傾向にあった。ただし、がんを含む生活習慣病の総医療費に占める割合が約4割であることや、腎不全が医療費を押し上げている大きな要因であることなどは全国と同じ傾向であった。

〇「腎不全」、「高血圧性疾患」、「糖尿病」、「脳梗塞」の 4 疾病で、総医療費の約2割を占めている

生活習慣病別の医療費では、腎不全、高血圧性疾患、糖尿病、脳梗塞の順に高くなっており、この 上位 4 疾病で、総医療費の約 2 割を占めている。受診者数でも、高血圧性疾患は突出して多く、次 に糖尿病が多くなっている。

また、社会保険表章用疾病分類(119 分類)では確認できないが、入院外医療費 4 位の「その他の内分泌・栄養及び代謝疾患」には「肥満症」も含まれ、その多くは「脂質異常症」であると推測される(参考: 平成 19 年度に策定した特定健康診査等実施計画のレセプト分析では、入院外医療費「その他の内分泌、栄養及び代謝疾患」の 62.4%が脂質異常症であった)。

今回の分析でもメタボリックシンドロームのリスク該当数に比例して、医療費が高くなる傾向がみられたが、「高血圧性疾患」、「糖尿病」、「脂質異常症」そして「肥満」は、合併することにより動脈硬化が進み、脳血管疾患、心疾患等の循環器系疾患の発症リスクが倍増する。

疾病分類別1人当たり医療費および受診率を見ても、循環器系疾患が最も高く(全体・入院外1位、入院2位)、また、1か月200万円以上の「高額医療費」でも、全体の3分の1以上が循環器系疾患によるものであった。

このように、これらのメタボリックシンドロームのリスク因子は、医療費の多くを占めるだけでなく、腎不全、脳血管疾患、心疾患等の主要な原因となる疾病であり、予防に注力すべき疾病である。

〇生活習慣病別医療費・受診者 1 人当たり医療費の 1 位は「腎不全」

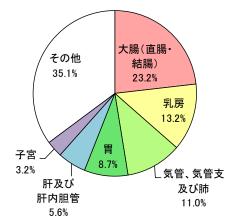
「腎不全」は、1 人当たり医療費は入院・入院外ともに高く、受診者数は少ないが1 か月当たりの医療費は最も高額になっている。人工透析が必要になると、年間医療費は500 万円以上になると推

計される。人工透析が主な原因とみられるが、腎不全で人工透析を受けている人のうちの約半数が糖尿病性腎症(糖尿病の悪化による腎症)によるものであった。腎不全による人工透析を防止するためにも、糖尿病対策に注力することが必須である。

○新生物部位別医療費の上位は、「大腸がん」、「乳がん」、 「肺がん」

入院の1人当たりの医療費・受診率では、新生物が最も高く、 部位別では、総医療費・受診者 1 人当たり医療費ともに「大 腸がん(直腸がん・結腸がん)」、「乳がん」、「肺がん」が 高くなっている。乳がんにおいては、受診率も高くなっている。

悪性新生物の医療費に占める割合(部位別)



〇男性の40歳代・50歳代で、肥満、高血圧、高血糖、脂質異常の該当率が高い

メタボリックシンドロームの該当状況は、全国に比べて低いものの、男性の約 4 割、女性の約 2 割が該当および予備群に該当している。メタボリックシンドロームのリスク因子である腹囲肥満、高血圧、高脂質、高血糖を見ると、男性の $40\sim50$ 歳代で、肥満者、脂質異常の該当率が高くなっており、高血圧、高血糖は、40 歳代から 50 歳代にかけて急激に増加する傾向がみられた。

特に受診率の高い高血圧では、男性の40歳代で約3割、50歳代では約5割、男女ともに60歳代、70歳代になると、約6割以上が保健指導基準値以上に該当しており、他のリスクに比べて高い該当率を示した。

今後、「肥満」、「高血圧」、「高血糖」、「脂質異常」の予防改善に重点をおいた取り組みが必要である。

図表 92:「リスクの重複→メタボリックシンドロームの発症・重症化→疾病の発症→重篤化→高額医療費」の流れ

メタボリックシンドローム・リスク因子 脂質異常 高血圧 高血糖 【高血圧】 【脂質異常症】 【糖尿病】 (その他の内分泌より) ·入院外医療費3位 総医療費、 ·入院外医療費4位 入院外医療費2位 ·入院外受診者数6位 ·入院外受診者数7位 ·入院外受診者数1位 男性の40・50歳代で増加。女性は年代が上がるにつれ増加。 特に高血圧は、男性の50歳代以降の約4割が該当(特定健診結果より)

相互に併発することで

動脈硬化促進

血管変化の進行

心疾患・脳血管疾患の発症リスク増大

糖尿病の重篤化

循環器系疾患

【心疾患】

〇虚血性心疾患

•入院医療費9位

〇その他の心疾患

・入院医療費5位

【脳血管疾患】

〇脳梗塞

- ·入院医療費3位
- ·入院受診者数4位

〇くも膜下出血

·受診者1人当たり 医療費3位

糖尿病性腎症

【腎不全】

- ·総医療費、 入院外医療費1位
- ・受診者1人当たり 医療費1位

○精神疾患別医療費・受診率の上位は、「統合失調症」、「気分障害」、「神経性障害」

精神及び行動の障害別の医療費では、「統合失調症」、「気分障害」、「神経性障害」の順に高くなっており、精神・行動障害の総医療費のうち、「統合失調症」が5割、上位3疾病で8割を占めている。また、「統合失調症」は、入院年数が長くなる傾向もみられた。

1人当たり医療費は男性の方が高く、受診率は女性の方が高くなっている(特に「気分障害」が高い)。

〇メタボリックシンドローム該当者の 5 割以上が「男性」、「60 歳以上」、「BMI25 以上」、「体重増加」、「運動 習慣なし」に該当

メタボリックシンドロームの該当有無は、「年齢」、「性別」、「肥満・体重増加」、「飲酒量」と関係することが示され、特に「年齢(70歳代以上)」、「性別(男性)」、「20歳から10kg以上体重増加」、「飲酒量(3合以上)」であることは、該当リスクが倍増することが示された。

メタボリックシンドローム該当者の5割以上が該当している項目は、「男性」、「60歳以上」、「BMI25以上」、「20歳代から10kg以上体重増加」、「運動習慣なし」の5項目で、運動習慣および身体活動習慣がないことは該当者の特徴的生活習慣のひとつと考えられる。

〇健診受診率が高い地区は、健康意識(運動習慣等)も高く、1 人当たり医療費も低い

地区別の医療機関への受診率をみると、特定健診の受診率との相関傾向がみられ、医療機関への受診率が高い地区では、健診受診率も高かった。

健診受診率が最も高い「館」地区では、医療機関受診率が最も高いにも関わらず、1人当たりの医療費は低く、肥満者該当率、メタボリックシンドローム該当率も低くなっている。

肥満者該当率、メタボリックシンドローム該当率が低いことと関連する生活習慣として、「同年代の人より歩行速度が速い」、「運動習慣あり」に該当する者の割合が、「館」地区では高くなっており、運動習慣・身体活動習慣が肥満やメタボリックシンドロームの予防・改善に関連していることがわかる。

〇医療機関への受診・受療は、上位機関に集中

医療費の発生した医療機関への集中度を見ると、上位 4 機関で全体の 3 割以上、入院だけで見ると 4 割以上を占めている。また、特定健診の受診先は上位 2 機関に集中しており、志木市立市民病院総合健診センターへの受診が最も多かった。市民病院は、受療機関としても入院・入院外ともに上位を占め、市民の健康を守る重要な役割を担っている。

2 現状の課題と今後の施策の方向性について

○増加する医療費を抑制するためにも生活習慣病対策が急務

医療費全体では、全国や近隣自治体に比べ低い傾向にあるものの、1 人当たり医療費の年次推移では増加傾向にあることは課題の一つである。生活習慣病は総医療費の2割以上を占めており、特に腎不全、高血圧性疾患、糖尿病などの受診率や医療費が高い生活習慣病についての医療費を抑制する対策が急務である。

健診結果における、40歳代、50歳代男性の肥満、高血圧該当率の高さも、今後の10年、20年後の生活習慣病罹患者増大およびそれに伴う医療費の増大を招く大きな要因となり、特に若い年代からの対策が必要と考えられる。

生活習慣病による死亡率の減少や健康寿命の延伸、生涯にわたる生活の質の維持・向上のためには、 虚血性心疾患、脳血管疾患の危険因子である、肥満、高血圧、高血糖、脂質異常の予防、特にメタボ リックシンドロームの発症や重症化の予防に重点をおいた取り組みが必要である。

○がん対策においても生活習慣の改善が必須

がんは、我が国において昭和 56 年より日本人の死因の第1位で、生涯のうちにがんにかかる可能性は、男性の2人に1人、女性の3人に1人と推測されている。今回の検討においても、入院の1人当たりの医療費・受診率では、新生物が最も高く、部位別では、総医療費・受診者1人当たり医療費ともに「大腸がん(直腸がん・結腸がん)」、「乳がん」、「肺がん」が高くなっている。

平成19年度から平成23年度までの5年間を対象として、がん対策の総合的かつ計画的な推進を図るための方向性を定めた国の「がん対策推進基本計画」でも示されているが、医療費の抑制という観点からも予防と早期発見が重要である。

がんの原因は、喫煙、食生活および運動等の生活習慣やウィルス等の感染症など様々なものがあり、 生活習慣病だけでなく、がんの予防という観点からも生活習慣の改善は必須である。

特に、大腸がんは、生活習慣の改善により予防することが可能ながんの1つである。適度な身体活動や運動により運動不足と肥満を解消すること、禁煙等が大腸がんの予防に効果的とされている。乳がんについても、大腸がんと同様に肥満やアルコールの大量摂取などが発生率と関連しており、生活習慣の改善が予防に有効であると考えられる。

肺がんについては、喫煙が大きく関係しており、たばこ対策を進めることが重要である。発がんリスクの低減を目指して、喫煙が健康に及ぼす影響についての普及啓発を進め、禁煙支援プログラムの更なる普及を図り、喫煙をやめたい人に対する禁煙支援を行うための体制を整備していく。

また、子宮頸がんは、ウィルスが原因のがんで、検診とワクチンで唯一予防できるがんであるともいわれており、子宮頸がん検診および予防ワクチン接種事業の充実を図り、予防に努める。

○うつ病対策に重点を置いた精神疾患対策の実施

精神疾患は、誰でもかかる可能性のある疾患であると同時に、適切な処置により、その症状を相当程度安定化させ、軽減または治癒することも可能な疾患である。近年では、うつ、ストレス疾患、認知症等精神医療の対象となる患者は増えており、精神疾患は、より一般的な病気となっている。

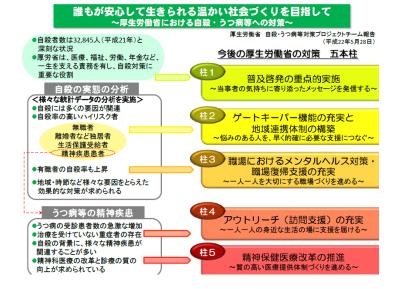
厚生労働省の「患者調査」によると、平成8年には43.3万人だったうつ病等の気分障害の総患者数は、平成20年には104.1万人と12年間で2.4倍に増加している。志木市においても例外ではなく、今回の検討でもうつ病を含む気分障害の受診者数や医療費は多くなっていた。また、警察庁の自殺既遂者に対する調査からも、うつ病等の気分障害が自殺の要因として特に重要であることが明らかにな

っており、自殺対策の観点からもうつ病対策は中核となっている。

うつ病にかかっていても、医療機関に受診していない人が多い状況にあり、本人が不調に気づき、 専門医へ適切に受診できることが重要である。そのため、うつ病に関する一般への普及啓発と、地域

の保健医療体制等によるうつ病の早期発見 の推進が必要である。

今後の対策として、国が「誰もが安心して生きられる、温かい社会づくりを目指して ~厚生労働省における自殺・うつ病等への対策~」で示している対策の5つの柱をもとに、当事者の気持ちに寄り添ったメッセージの発信による「普及啓発の重点的実施」、悩みのある人を早く的確に必要な支援につなぐ「ゲートキーパー機能の充実と地域連携体制の構築」、一人一人の身近な生活の場に支援を届ける「アウトリーチ(訪問支援)の充実」、質の高い相談体制づくりを



進める「精神保健相談事業の推進」に重点を置いた対策を実施する。

また、代表的な精神疾患の一つである統合失調症も、放置すれば多くの場合に症状が悪化、再発するが、一方、継続的に治療を行うことにより長期的に症状の安定を図ることが可能であることは、糖尿病等の慢性疾患と同様である。したがって、精神疾患を発症した者についても、早期に適切な対応を行うことにより、地域において社会生活を継続することが可能である。

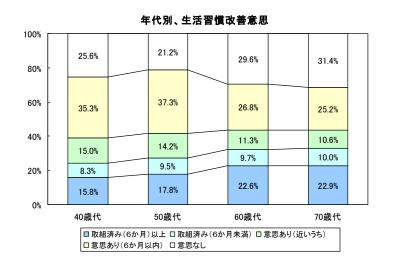
社会保障審議会障害者部会精神障害分会報告書において示された「入院医療中心から地域生活中心へ」という方向を押し進めていくためにも、精神障害者が可能な限り地域において生活することができるよう、関係機関の連携体制の構築や相談事業の充実など地域でのサポートを強化する必要がある。

〇健診受診率の向上が課題

生活習慣病やがんの予防のためには、まず、特定健診やがん検診等の健診受診率の向上が必須であるが、現状では特定健診の受診率は34.5%と全国(30.8%「平成20年度特定健康診査・特定保健指

導の実施状況」) に比べるとやや高いものの、受診率目標(平成20年度40%、平成21年度50%) からは乖離があり、7割近くが未受診となっている。

特に 40 歳代、50 歳代の特定健診の受診率の向上と特定保健指導を効果的に実施することが、メタボリックシンドローム該当者・予備群に対するアプローチとして重要である。同時に、予防の重要性の普及啓発、生活習慣改善に対する支援を特定保健指導対象者以外の人も含めたポピュレーションアプローチとして実施することが重要である。



〇若い年代(40-50歳代)からの対策が必要

今回の分析において、メタボリックシンドロームのリスク因子である腹囲肥満、高血圧、脂質異常、高血糖は、男性の $40\sim50$ 歳代で該当率が高くなっており、40 歳代から 50 歳代にかけて急激に増加する傾向がみられた。特定健診の受診率でも 40 歳代、50 歳代の男性が低くなっており、潜在的な罹患者の多さがうかがえることから、特に男性のこの年代層に注力して取り組むことが重要である。

また、生活習慣については、40歳代、50歳代は、男女ともに運動習慣がある人の割合が低かった。 一方で、運動や食生活を改善してみようと思う人は 5割以上と他の年代に比べて高くなっている。 こうした結果からも、これらの生活習慣病対策を、若い年齢層に実施していくことが、50歳代以降 の生活習慣病の発症予防に効果的であると考えられる。

実際に、運動習慣実施者、身体活動実施者の割合が高い館地区では、高齢化率が他の地区に比べて高いにもかかわらず、肥満該当率、メタボリックシンドローム該当率、特定保健指導対象者の割合が低い傾向がみられる。生活習慣病の前駆状態であるメタボリックシンドロームおよびメタボリックシンドロームの発生と強い関係がみられた肥満の予防・改善を主眼とした取り組みが必須である。

○メタボリックシンドローム・肥満が改善できる効果的な指導・プログラムが必要

保健指導に参加したが改善せず、次年度も対象になった人が6割以上おり、保健指導の効果を実感できず、次年度は保健指導を希望しないと回答した人がそのうちの約半数いた。一方、改善した人は満足度が高く、6割以上が引き続き保健指導を希望すると回答した。この結果から見ても、効果を得ることができるプログラムや指導が求められている。

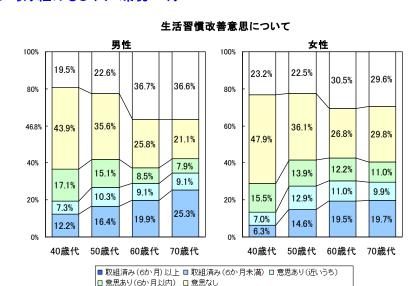
メタボリックシンドロームおよび肥満の予防・改善のためには、食事指導面からのアプローチだけでなく、ウォーキングなどの有酸素運動に加え、筋量の維持増進を伴う運動(身体活動)を生活の中に取り入れるための指導や取り組みが必須である。

○市民が積極的・継続的に健康づくりに取り組めるしくみ・環境づくり

生活習慣病は、生活習慣を改善することで予防することが可能であるにも関わらず、「生活習慣の改善に取り組んでいる」と回答したものは3割未満であった。

また、保健指導対象者であって も保健指導を希望しない対象が半 数以上を占めていた。

一方、最近の調査では、健康づくり未実施層であっても、自分自身の生活における関心度の一番は「健康」であることも示されている。



この層は、本人が既に持っている意欲を後押しすることで生活習慣の改善が比較的実現しやすいと 考えられるため、優先的に施策を講じていくことが、健診の受診率、保健指導の実施率および健康づ くり実施率の向上、ひいては、市民の健康度の向上につながるものと考えられる。

このように「健康に関心があっても健康づくりが実践できない」のは、ヘルス・リテラシー*が、

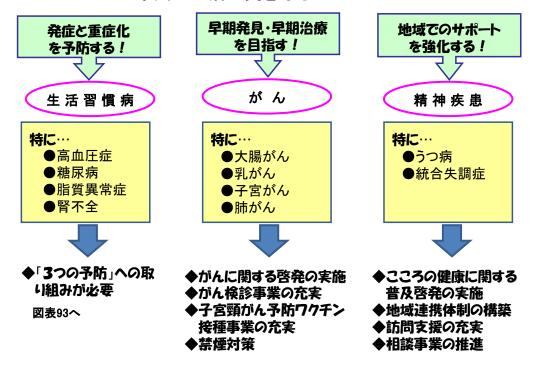
行動変容できるレベルに達していないことを意味しており、個人およびコミュニティのヘルス・リテラシーの向上を図り、健康づくりの実践促進を支援することが求められている。また、このような層が健康づくりに取り組むことができるようになるためには、地域における生活の中に、いつでもどこでも健康づくりを意識し、実践できる「場」やプログラムが必要となる。このように、これからの地域の健康づくりには、市民が積極的かつ継続的に健康づくりに取り組めるしくみや環境づくりが求められている。

*:健康を増進したり維持したりする上で、個人が情報にアクセス・理解・利用する動機および能力を決める認知的・社会的スキル

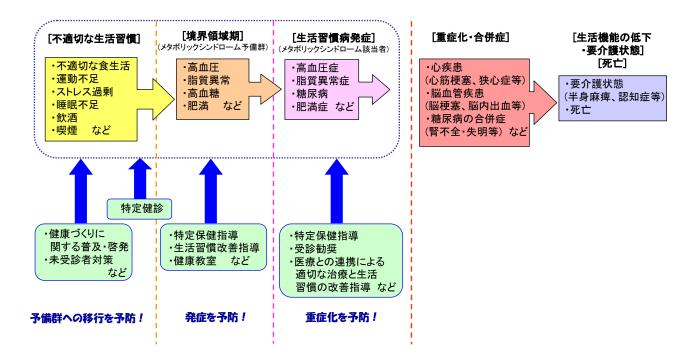
医療費の増大 入院 入院外 〈疾病別医療費順位〉 〈疾病別医療費順位〉 循環器疾患 腎不全 50歳代以降 1 その他の悪性新生物 1 腎不全 20歳後半か で上位 ら上位 2 統合失調症 2 高血圧性疾患 <u>がん</u> 3 脳梗塞 3 糖尿病 <u>乳がん</u> 30歳代後半 40歳後半か 4 骨折 4 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患 から上位 ら上位 5 その他の心疾患 5 屈折及び調節の障害(眼疾患) 子宮がん 精神疾患 6 その他の消化器系疾患 6 その他の悪性新生物 30歳代後半・ 20歳代から 50歳代前半 7 直腸がん 7 その他の眼疾患及び付属器の疾患 50歳代で上位 で上位 8 糖尿病 8 統合失調症 統合失調症 9 虚血性心疾患 9 炎症性多発性関節障害 長期入院の 約3割 10 胃炎及び十二指腸炎 10 脊椎障害(脊椎症)

図表 93:今後の施策の方向性

医療費を抑え、 市民の生活の質を守るために……



図表 94:生活習慣病の発症予防・重症化予防のためのアプローチ~3つの予防への取り組み~



統計表

年齢階級別、男女別、入院・入院外別、1 人当たり医療費(円)

年	齢区分	00~04歳	05~09歳	10~14歳	15~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	全年齢
	入院	6,212	802	1,353	2,352	1,996	1,503	1,792	3,594	2,465	5,468	2,514	7,351	12,674	13,046	19,691	7,852
男	入院外	6,429	3,479	2,708	2,717	2,252	2,224	1,880	5,105	2,563	2,803	5,092	6,682	10,659	9,407	12,521	6,422
	計	12,641	4,282	4,062	5,069	4,249	3,727	3,672	8,700	5,028	8,271	7,606	14,033	23,333	22,452	32,211	14,274
	入院	3,423	737	714	459	608	4,281	2,018	4,503	6,810	4,650	6,795	4,855	7,401	8,079	12,050	6,095
女	入院外	5,664	3,080	1,766	1,717	2,286	3,114	3,812	4,644	3,557	4,254	7,018	6,474	8,653	9,721	13,014	6,960
	計	9,087	3,818	2,480	2,177	2,894	7,395	5,830	9,147	10,366	8,904	13,814	11,330	16,054	17,801	25,064	13,055
全	入院	4,915	770	1,038	1,403	1,363	2,787	1,891	4,014	4,340	5,080	4,625	5,978	9,580	10,503	15,756	6,972
体	入院外	6,073	3,281	2,244	2,216	2,267	2,635	2,729	4,893	2,992	3,491	6,042	6,568	9,482	9,568	12,775	6,691
1741	計	10,989	4,051	3,282	3,619	3,631	5,423	4,620	8,906	7,331	8,571	10,666	12,546	19,062	20,070	28,531	13,664

年齢階級別、男女別、入院・入院外別、100人当たり件数(件):受診率

	年	齢区分	00~04歳	05~09歳	10~14歳	15~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	全年齢
		入院	1.68	0.43	0.29	0.51	0.53	0.48	0.43	0.84	0.64	1.26	0.61	1.69	2.43	2.61	3.32	1.57
	男	入院外	77.63	49.69	28.50	20.94	19.24	19.63	18.87	25.22	26.00	30.01	30.79	41.60	60.92	77.20	107.99	50.57
		計	79.31	50.13	28.79	21.45	19.77	20.11	19.30	26.05	26.64	31.27	31.39	43.29	63.35	79.81	111.32	52.14
74		入院	1.46	0.29	0.30	0.23	0.36	1.12	0.87	1.10	0.99	1.07	1.32	1.02	1.59	1.70	2.33	1.32
	女	入院外	70.68	44.34	27.31	26.22	30.90	35.93	40.74	38.01	39.47	42.13	52.56	57.87	71.93	91.73	123.81	66.12
		計	72.14	44.63	27.61	26.45	31.25	37.06	41.61	39.11	40.46	43.21	53.88	58.90	73.53	93.43	126.13	67.45
	$\overline{}$	入院	1.58	0.36	0.29	0.37	0.45	0.78	0.62	0.96	0.79	1.17	0.96	1.32	1.94	2.14	2.81	1.45
	全 体	入院外	74.40	47.04	27.91	23.59	24.56	27.17	28.48	31.12	31.81	35.76	41.52	50.56	67.38	84.64	116.14	58.36
	I'T'	計	75.98	47.40	28.21	23.96	25.01	27.94	29.10	32.08	32.61	36.93	42.48	51.88	69.32	86.79	118.94	59.81

疾病分類別、男女別、入院・入院外別、総医療費

				糸	8医療費(円)			
		男			女			計	
疾病分類別	計	入院	入院外	計	入院	入院外	計	入院	入院外
I 感染症及び寄生虫症	2,502,113	918,780	1,583,333	3,253,128	1,255,918	1,997,210	5,755,240	2,174,698	3,580,543
Ⅱ 新生物	20,907,430	14,758,885	6,148,545	20,596,548	13,810,098	6,786,450	41,503,978	28,568,983	12,934,995
Ⅲ 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	1,005,110	185,660	819,450	394,240	176,193	218,048	1,399,350	361,853	1,037,498
Ⅳ 内分泌、栄養及び代謝疾患	8,777,928	2,345,495	6,432,433	9,610,763	2,659,650	6,951,113	18,388,690	5,005,145	13,383,545
Ⅴ 精神及び行動の障害	9,324,520	6,195,090	3,129,430	9,103,755	5,882,798	3,220,958	18,428,275	12,077,888	6,350,388
VI 神経系の疾患	5,953,210	4,498,395	1,454,815	5,239,648	3,729,640	1,510,008	11,192,858	8,228,035	2,964,823
Ⅷ 眼及び付属器の疾患	5,078,660	790,900	4,287,760	7,234,735	771,585	6,463,150	12,313,395	1,562,485	10,750,910
Ⅲ 耳及び乳様突起の疾患	1,399,915	485,963	913,953	1,200,970	30,123	1,170,848	2,600,885	516,085	2,084,800
区 循環器系の疾患	24,603,858	15,364,325	9,239,533	20,861,205	10,468,703	10,392,503	45,465,063	25,833,028	19,632,035
X 呼吸器系の疾患	7,446,385	2,204,633	5,241,753	6,719,418	1,076,180	5,643,238	14,165,803	3,280,813	10,884,990
XI 消化器系の疾患	10,770,000	6,626,635	4,143,365	9,348,403	4,588,900	4,759,503	20,118,403	11,215,535	8,902,868
X Ⅱ 皮膚及び皮下組織の疾患	2,169,003	597,425	1,571,578	2,192,903	181,105	2,011,798	4,361,905	778,530	3,583,375
XⅢ 筋骨格系及び結合組織の疾患	6,236,653	2,733,535	3,503,118	14,787,253	6,529,545	8,257,708	21,023,905	9,263,080	11,760,825
X Ⅳ 腎尿路生殖器系の疾患	14,759,603	3,327,660	11,431,943	9,085,293	1,922,678	7,162,615	23,844,895	5,250,338	18,594,558
XV 妊娠、分娩及び産じょく	0	0	0	1,345,805	1,061,980	283,825	1,345,805	1,061,980	283,825
XVI 周産期に発生した病態	5,485	1,480	4,005	191,640	181,408	10,233	197,125	182,888	14,238
Χ Ⅷ 先天奇形、変形及び染色体異常	1,390,540	1,282,730	107,810	427,825	351,573	76,253	1,818,365	1,634,303	184,063
ΧⅧ 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,183,278	1,073,700	1,109,578	1,924,510	464,035	1,460,475	4,107,788	1,537,735	2,570,053
XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	5,580,115	3,921,218	1,658,898	6,257,958	4,389,885	1,868,073	11,838,073	8,311,103	3,526,970
<u> </u>	130,093,803	67,312,508	62,781,295	129,775,995	59,531,993	70,244,003	259,869,798	126,844,500	133,025,298

つ ※総医療費は、平成20·21年5月·10月診療分の4時点での医科(入院、入院外)の費用額を合算し、4で除して得た数。

~1	
മ	

				1人当	たり医療費	(円)		計 入院 入		
		男			女			計		
疾病分類別	計	入院	入院外	計	入院	入院外	計	入院	入院外	
I 感染症及び寄生虫症	257	94	163	324	125	199	291	110	181	
Ⅱ 新生物	2,148	1,516	632	2,054	1,377	677	2,101	1,446	655	
Ⅲ 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	103	19	84	39	18	22	71	18	53	
Ⅳ 内分泌、栄養及び代謝疾患	902	241	661	959	265	693	931	253	677	
Ⅴ 精神及び行動の障害	958	637	322	908	587	321	933	611	321	
VI 神経系の疾患	612	462	149	523	372	151	566	416	150	
Ⅷ 眼及び付属器の疾患	522	81	441	722	77	645	623	79	544	
Ⅲ 耳及び乳様突起の疾患	144	50	94	120	3	117	132	26	106	
区 循環器系の疾患	2,528	1,579	949	2,081	1,044	1,037	2,301	1,307	994	
X 呼吸器系の疾患	765	227	539	670	107	563	717	166	551	
XI 消化器系の疾患	1,107	681	426	932	458	475	1,018	568	451	
X Ⅱ 皮膚及び皮下組織の疾患	223	61	161	219	18	201	221	39	181	
XⅢ 筋骨格系及び結合組織の疾患	641	281	360	1,475	651	824	1,064	469	595	
XIV 腎尿路生殖器系の疾患	1,517	342	1,175	906	192	714	1,207	266	941	
XV 妊娠、分娩及び産じょく	0	0	0	134	106	28	68	54	14	
XVI 周産期に発生した病態	1	0	0	19	18	1	10	9	1	
ΧⅧ 先天奇形、変形及び染色体異常	143	132	11	43	35	8	92	83	9	
ΧⅧ 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	224	110	114	192	46	146	208	78	130	
XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	573	403	170	624	438	186	599	421	178	

					受診率(件)				
		男			女			計	
疾病分類別	計	入院	入院外	計	入院	入院外	計	入院	入院外
I 感染症及び寄生虫症	1.73	0.03	1.70	2.10	0.03	2.07	1.91	0.03	1.88
Ⅱ 新生物	2.17	0.28	1.89	2.87	0.26	2.61	2.52	0.27	2.26
Ⅲ 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	0.15	0.01	0.14	0.31	0.01	0.30	0.23	0.01	0.23
Ⅳ 内分泌、栄養及び代謝疾患	5.06	0.05	5.00	6.68	0.06	6.62	5.88	0.06	5.83
▼ 精神及び行動の障害	2.58	0.18	2.41	3.65	0.18	3.47	3.13	0.18	2.95
VI 神経系の疾患	1.25	0.10	1.15	1.58	0.08	1.49	1.41	0.09	1.32
Ⅷ 眼及び付属器の疾患	4.64	0.02	4.62	7.91	0.02	7.89	6.30	0.02	6.28
Ⅲ 耳及び乳様突起の疾患	1.06	0.01	1.05	1.47	0.00	1.47	1.27	0.01	1.26
区 循環器系の疾患	11.86	0.27	11.58	12.47	0.16	12.31	12.17	0.22	11.95
X 呼吸器系の疾患	7.23	0.09	7.14	8.12	0.04	8.08	7.68	0.06	7.62
XI 消化器系の疾患	3.51	0.18	3.33	4.29	0.12	4.17	3.91	0.15	3.76
X Ⅱ 皮膚及び皮下組織の疾患	3.17	0.01	3.16	3.98	0.01	3.97	3.58	0.01	3.57
ΧⅢ 筋骨格系及び結合組織の疾患	3.83	0.03	3.80	6.59	0.10	6.49	5.23	0.07	5.16
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	2.07	0.07	2.00	2.35	0.04	2.30	2.21	0.06	2.15
XV 妊娠、分娩及び産じょく	0.00	0.00	0.00	0.31	0.05	0.26	0.16	0.02	0.13
XVI 周産期に発生した病態	0.01	0.00	0.00	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
ΧⅧ 先天奇形、変形及び染色体異常	0.16	0.01	0.15	0.12	0.01	0.11	0.14	0.01	0.13
XⅧ 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1.04	0.04	1.00	1.53	0.02	1.50	1.29	0.03	1.26
XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	1.48	0.07	1.41	1.81	0.09	1.72	1.64	0.08	1.57

生活習慣病別、男女別、入院・入院外別、1 人当たり医療費・受診率

				1人当	もたり医療費	(円)			
		男			女			計	
生活習慣病別	計	入院	入院外	計	入院	入院外	計	入院	入院外
402糖尿病	579	178	401	521	197	324	550	188	362
403その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	264	19	245	350	58	292	308	39	269
901高血圧性疾患	787	127	660	861	97	764	824	111	713
902虚血性心疾患	271	192	80	211	148	63	241	170	71
903その他の心疾患	419	356	63	291	221	70	354	288	66
904<も膜下出血	71	70	2	100	98	3	86	84	2
905脳内出血	225	208	17	65	60	5	144	133	11
906脳梗塞	512	444	67	315	250	65	412	346	66
907脳動脈硬化(症)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
908その他の脳血管疾患	54	41	13	91	78	13	73	60	13
909動脈硬化(症)	10	0	10	11	0	11	11	0	11
910痔核	19	7	13	16	4	11	17	5	12
911低血圧(症)	0	0	0	34	32	2	17	16	1
912その他の循環器系の疾患	160	135	25	86	56	30	123	95	27
1402腎不全	1,228	203	1,025	640	100	539	929	151	778

					受診率(件)				
		男			女			計	
生活習慣病別	計	入院	入院外	計	入院	入院外	計	入院	入院外
402糖尿病	3.58	0.05	3.53	2.69	0.04	2.65	3.13	0.04	3.08
403その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	1.34	0.00	1.34	3.34	0.01	3.32	2.35	0.01	2.34
901高血圧性疾患	8.33	0.03	8.30	9.80	0.02	9.77	9.08	0.03	9.05
902虚血性心疾患	1.00	0.03	0.97	0.67	0.02	0.65	0.83	0.03	0.80
903その他の心疾患	0.74	0.05	0.69	0.65	0.02	0.63	0.70	0.04	0.66
904くも膜下出血	0.06	0.01	0.04	0.04	0.01	0.04	0.05	0.01	0.04
905脳内出血	0.26	0.04	0.22	0.07	0.01	0.06	0.16	0.02	0.14
906脳梗塞	0.86	0.08	0.78	0.64	0.05	0.59	0.75	0.07	0.68
907脳動脈硬化(症)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
908その他の脳血管疾患	0.16	0.01	0.15	0.15	0.01	0.14	0.16	0.01	0.14
909動脈硬化(症)	0.08	0.00	0.08	0.09	0.00	0.09	0.08	0.00	0.08
910痔核	0.16	0.00	0.16	0.13	0.00	0.12	0.15	0.00	0.14
911低血圧(症)	0.00	0.00	0.00	0.02	0.00	0.02	0.01	0.00	0.01
912その他の循環器系の疾患	0.20	0.02	0.18	0.21	0.01	0.20	0.20	0.01	0.19
1402腎不全	0.37	0.04	0.33	0.23	0.02	0.21	0.30	0.03	0.27

生活習慣病別、入院・入院外別、医療費【推計】

	1か月	当たり医療費	費(円)	年	間医療費(P	3)	総医療費から見た割合				
主病名	合計	入院	入院外	合計	入院	入院外	合計	入院	入院外		
402糖尿病	10,867,488	3,714,370	7,153,118	130,409,856	44,572,440	85,837,416	4.2%	1.4%	2.8%		
901高血圧性疾患	16,287,343	2,201,223	14,086,120	195,448,116	26,414,676	169,033,440	6.3%	0.8%	5.4%		
902虚血性心疾患	4,753,473	3,350,643	1,402,830	57,041,676	40,207,716	16,833,960	1.8%	1.3%	0.5%		
904くも膜下出血	1,698,873	1,657,260	41,613	20,386,476	19,887,120	499,356	0.7%	0.6%	0.0%		
905脳内出血	2,838,938	2,622,643	216,295	34,067,256	31,471,716	2,595,540	1.1%	1.0%	0.1%		
906脳梗塞	8,140,718	6,834,385	1,306,333	97,688,616	82,012,620	15,675,996	3.1%	2.6%	0.5%		
1402腎不全	18,360,873	2,979,990	15,380,883	220,330,476	35,759,880	184,570,596	7.1%	1.1%	5.9%		

生活習慣病別、入院・入院外別、受診者数【推計】

	1か月	当たり受診者	数(人)	年間受診者数(人)						
主病名	合計	入院	入院外	合計	入院	入院外				
402糖尿病	585	10	575	7,020	120	6,900				
901高血圧性疾患	1,776	6	1,770	21,312	72	21,240				
902虚血性心疾患	166	7	159	1,992	84	1,908				
904くも膜下出血	9	1	8	108	12	96				
905脳内出血	32	5	27	384	60	324				
906脳梗塞	148	14	134	1,776	168	1,608				
1402腎不全	56	5	51	672	60	612				

生活習慣病別、入院・入院外別、受診者 1 人当たり医療費【推計】

	1か月	当たり医療費	貴(円)	年間医療費(円)					
主病名	合計	入院	入院外	合計	入院	入院外			
402糖尿病	18,577	371,437	12,440	222,924	4,457,244	149,280			
901高血圧性疾患	9,171	366,871	7,958	110,052	4,402,452	95,496			
902虚血性心疾患	28,635	478,663	8,823	343,620	5,743,956	105,876			
904くも膜下出血	188,764	1,657,260	5,202	2,265,168	19,887,120	62,424			
905脳内出血	88,717	524,529	8,011	1,064,604	6,294,348	96,132			
906脳梗塞	55,005	488,170	9,749	660,060	5,858,040	116,988			
1402腎不全	327,873	595,998	301,586	3,934,476	7,151,976	3,619,032			

~1

新生物部位別、男女別、入院・入院外別、1 人当たり医療費・受診率

				1人当	たり医療費	(円)			
		男			女			計	
新生物部位別	計	入院	入院外	計	入院	入院外	計	入院	入院外
201胃の悪性新生物	249	193	57	62	37	25	154	114	41
202結腸の悪性新生物	181	104	77	213	144	70	197	124	73
203直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	283	244	39	151	143	9	216	193	24
204肝及び肝内胆管の悪性新生物	160	144	16	42	34	8	100	88	12
205気管、気管支及び肺の悪性新生物	197	134	63	197	163	34	197	149	49
206乳房の悪性新生物	_	_	_	463	194	269	_	_	_
207子宮の悪性新生物	_	_	_	114	100	15	_	_	-
208悪性リンパ腫	35	16	19	65	47	19	51	32	19
209白血病	1	0	1	20	16	4	10	8	2
210その他の悪性新生物	839	522	316	420	338	82	626	429	198
211良性新生物及びその他の新生物	202	160	43	305	163	142	254	161	93

				i	受診率(件)				
		男			女			計	
新生物部位別	計	入院	入院外	計	入院	入院外	計	入院	入院外
201胃の悪性新生物	0.35	0.04	0.31	0.13	0.00	0.13	0.24	0.02	0.22
202結腸の悪性新生物	0.17	0.02	0.15	0.26	0.03	0.23	0.22	0.02	0.19
203直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	0.11	0.03	0.08	0.09	0.02	0.07	0.10	0.02	0.07
204肝及び肝内胆管の悪性新生物	0.07	0.02	0.05	0.04	0.01	0.03	0.05	0.02	0.04
205気管、気管支及び肺の悪性新生物	0.20	0.04	0.16	0.12	0.02	0.09	0.16	0.03	0.13
206乳房の悪性新生物	_	_	_	0.62	0.03	0.59	_	_	_
207子宮の悪性新生物	_	_	_	0.12	0.02	0.11	_	_	_
208悪性リンパ腫	0.04	0.00	0.03	0.05	0.01	0.04	0.04	0.01	0.04
209白血病	0.01	0.00	0.01	0.02	0.00	0.02	0.02	0.00	0.02
210その他の悪性新生物	0.94	0.10	0.85	0.39	0.06	0.33	0.66	0.08	0.58
211良性新生物及びその他の新生物	0.29	0.04	0.25	1.01	0.04	0.97	0.65	0.04	0.62

新生物部位別、入院・入院外別、医療費【推計】

	1か月当たり医療費(円)			年	間医療費(P	9)	総医療費から見た割合		
新生物部位	合計	入院	入院外	合計	入院	入院外	合計	入院	入院外
201胃の悪性新生物	3,051,678	2,246,690	804,988	36,620,136	26,960,280	9,659,856	1.2%	0.9%	0.3%
202結腸の悪性新生物	3,901,725	2,449,845	1,451,880	46,820,700	29,398,140	17,422,560	1.5%	0.9%	0.6%
203直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	4,275,638	3,803,785	471,853	51,307,656	45,645,420	5,662,236	1.6%	1.5%	0.2%
205気管、気管支及び肺の悪性新生物	3,896,888	2,935,778	961,110	46,762,656	35,229,336	11,533,320	1.5%	1.1%	0.4%
206乳房の悪性新生物	4,643,441	1,947,723	2,695,718	55,721,292	23,372,676	32,348,616	1.8%	0.7%	1.0%
207子宮の悪性新生物	1,146,023	998,363	147,660	13,752,276	11,980,356	1,771,920	0.4%	0.4%	0.1%

新生物部位別、入院・入院外別、受診者数【推計】

	1か月	当たり受診者	数(人)	年間受診者数(人)			
新生物部位	合計	入院	入院外	合計	入院	入院外	
201胃の悪性新生物	49	5	44	588	60	528	
202結腸の悪性新生物	43	7	36	516	84	432	
203直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	19	4	15	228	48	180	
205気管、気管支及び肺の悪性新生物	34	8	26	408	96	312	
206乳房の悪性新生物	60	4	56	720	48	672	
207子宮の悪性新生物	13	2	11	156	24	132	

新生物部位別、入院・入院外別、受診者 1 人当たり医療費【推計】

	1か月	当たり医療費	貴(円)	年間医療費(円)			
新生物部位	合計	入院	入院外	合計	入院	入院外	
201胃の悪性新生物	62,279	449,338	18,295	747,348	5,392,056	219,540	
202結腸の悪性新生物	90,738	349,978	40,330	1,088,856	4,199,736	483,960	
203直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	225,034	950,946	31,457	2,700,408	11,411,352	377,484	
205気管、気管支及び肺の悪性新生物	114,614	366,972	36,966	1,375,368	4,403,664	443,592	
206乳房の悪性新生物	77,391	486,931	48,138	928,692	5,843,172	577,656	
207子宮の悪性新生物	88,156	499,182	13,424	1,057,872	5,990,184	161,088	

精神及び行動の障害の疾病別、男女別、1 人当たり医療費・受診率

	1人当たり医療費(円)								
		男			女				
精神疾患別	計	入院	入院外	計	入院	入院外	計	入院	入院外
501血管性及び詳細不明の認知症	91	85	6	41	37	4	66	61	5
502精神作用物質使用による精神及び行動の障害	62	56	6	4	2	2	33	29	4
503統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	545	367	177	454	331	123	498	348	150
504気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	118	52	66	260	149	111	190	101	89
505神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	112	58	54	82	11	71	97	34	63
506知的障害<精神遅滞>	22	18	4	2	0	2	12	9	3
507その他の精神及び行動の障害	7	0	7	65	57	8	37	29	8

	受診率(件)									
		男			女			計		
精神疾患別	計	入院	入院外	計	入院	入院外	計	入院	入院外	
501血管性及び詳細不明の認知症	0.05	0.02	0.03	0.05	0.01	0.04	0.05	0.02	0.03	
502精神作用物質使用による精神及び行動の障害	0.09	0.02	0.08	0.03	0.00	0.03	0.06	0.01	0.05	
503統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	0.99	0.11	0.87	1.08	0.11	0.97	1.03	0.11	0.92	
504気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	0.71	0.01	0.70	1.28	0.04	1.23	1.00	0.03	0.97	
505神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	0.59	0.01	0.58	1.09	0.00	1.08	0.84	0.01	0.83	
506知的障害<精神遅滞>	0.07	0.01	0.06	0.01	0.00	0.01	0.04	0.00	0.04	
507その他の精神及び行動の障害	0.09	0.00	0.09	0.10	0.01	0.09	0.10	0.01	0.09	

精神及び行動の障害の疾病別、入院・入院外別、医療費【推計】

	1か月	当たり医療費	[円]	年	間医療費(P	3)	総医療費から見た割合			
主病名	合計	入院	入院外	合計	入院	入院外	合計	入院	入院外	
501血管性及び詳細不明の認知症	1,303,678	1,201,408	102,270	15,644,136	14,416,896	1,227,240	0.5%	0.5%	0.0%	
502精神作用物質使用による精神及び行動の障害	648,741	567,343	81,398	7,784,892	6,808,116	976,776	0.2%	0.2%	0.0%	
503統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	9,849,011	6,886,008	2,963,003	118,188,132	82,632,096	35,556,036	3.8%	2.6%	1.1%	
504気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	3,755,923	1,997,810	1,758,113	45,071,076	23,973,720	21,097,356	1.4%	0.8%	0.7%	
505神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	1,917,713	681,285	1,236,428	23,012,556	8,175,420	14,837,136	0.7%	0.3%	0.5%	
506知的障害<精神遅滞>	231,630	172,485	59,145	2,779,560	2,069,820	709,740	0.1%	0.1%	0.0%	
507その他の精神及び行動の障害	721,583	571,550	150,033	8,658,996	6,858,600	1,800,396	0.3%	0.2%	0.1%	

精神及び行動の障害の疾病別、入院・入院外別、受診者数【推計】

	1か月音	当たり受診者	数(人)	年間受診者数(人)			
主病名	合計	入院	入院外	合計	入院	入院外	
501血管性及び詳細不明の認知症	11	4	7	132	48	84	
502精神作用物質使用による精神及び行動の障害	14	2	12	168	24	144	
503統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	201	23	178	2,412	276	2,136	
504気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	197	7	190	2,364	84	2,280	
505神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	165	2	163	1,980	24	1,956	
506知的障害<精神遅滞>	9	1	8	108	12	96	
507その他の精神及び行動の障害	21	2	19	252	24	228	

精神及び行動の障害の疾病別、受診者1人当たり医療費【推計】

	1か月	当たり医療費	責(円)	年間医療費(円)			
主病名	合計	入院	入院外	合計	入院	入院外	
501血管性及び詳細不明の認知症	118,516	300,352	14,610	1,422,192	3,604,224	175,320	
502精神作用物質使用による精神及び行動の障害	46,339	283,672	6,783	556,068	3,404,064	81,396	
503統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	49,000	299,392	16,646	588,000	3,592,704	199,752	
504気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	19,066	285,401	9,253	228,792	3,424,812	111,036	
505神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	11,623	340,643	7,585	139,476	4,087,716	91,020	
506知的障害<精神遅滞>	25,737	172,485	7,393	308,844	2,069,820	88,716	
507その他の精神及び行動の障害	34,361	285,775	7,896	412,332	3,429,300	94,752	

地区別、男女別、1 人当たり医療費・受診率

				1人当	台たり医療費	(円)				
		男			女		計			
地区	計入院入院外			計	入院	入院外	計	入院	入院外	
本町	12,947	6,491	6,456	11,546	5,164	6,382	12,217	5,800	6,417	
柏町	14,378	7,717	6,661	13,523	5,615	7,908	13,942	6,645	7,297	
幸町	14,502	7,649	6,854	15,070	7,539	7,531	14,790	7,593	7,197	
館	15,870	7,266	8,604	12,781	4,644	8,137	14,137	5,795	8,342	
上宗岡	12,665	5,614	7,051	13,551	6,821	6,730	13,092	6,196	6,896	
中宗岡	12,310	7,372	4,938	12,714	6,094	6,621	12,507	6,747	5,760	
下宗岡	11,301	5,711	5,589	12,098	6,260	5,838	11,688	5,978	5,710	

					受診率(件)					
		男			女		計			
地区	計入院入院外			計	入院	入院外	計	入院	入院外	
本町	51.69	1.45	50.25	67.62	1.08	66.54	59.99	1.26	58.73	
柏町	52.60	1.46	51.14	73.47	1.24	72.23	63.25	1.35	61.90	
幸町	55.99	1.50	54.49	73.27	1.76	71.52	64.76	1.63	63.13	
館	77.92	1.77	76.15	82.23	1.06	81.17	80.34	1.37	78.97	
上宗岡	47.17	1.21	45.97	61.38	1.45	59.94	54.03	1.32	52.71	
中宗岡	46.33	1.52	44.80	59.41	1.31	58.10	52.72	1.42	51.30	
下宗岡	50.56	1.25	49.30	62.39	1.35	61.04	56.32	1.30	55.02	

地区別、疾病別、受診者数【平成 20-21 年 5-10 月分】

			4	E活習慣я	声					新生	主物		
地区	糖尿病	高血圧	虚血性 心疾患	くも膜下 出血	脳内出 血	脳梗塞	腎不全	胃	結腸	直腸	気管·肺	乳房	子宮
本町	431	1381	129	4	26	112	34	42	39	18	20	53	0
本町	(18.5%)	(19.5%)	(19.9%)	(11.8%)	(20.6%)	(19.2%)	(15.3%)	(22.7%)	(23.8%)	(24.3%)	(16.5%)	(22.4%)	(0.0%)
柏町	365	1207	108	6	29	78	47	30	34	13	14	34	9
イロ四リ	(15.6%)	(17.0%)	(16.7%)	(17.6%)	(23.0%)	(13.4%)	(21.2%)	(16.2%)	(20.7%)	(17.6%)	(11.6%)	(14.3%)	(19.6%)
幸町	276	906	104	5	10	90	23	23	20	10	6	39	13
≠ ₩J	(11.8%)	(12.8%)	(16.0%)	(14.7%)	(7.9%)	(15.5%)	(10.4%)	(12.4%)	(12.2%)	(13.5%)	(5.0%)	(16.5%)	(28.3%)
館	237	946	104	2	23	64	20	34	17	9	28	34	11
以 日	(10.2%)	(13.3%)	(16.0%)	(5.9%)	(18.3%)	(11.0%)	(9.0%)	(18.4%)	(10.4%)	(12.2%)	(23.1%)	(14.3%)	(23.9%)
上宗岡	340	905	69	9	12	92	48	15	18	10	11	34	5
工小叫	(14.6%)	(12.8%)	(10.6%)	(26.5%)	(9.5%)	(15.8%)	(21.6%)	(8.1%)	(11.0%)	(13.5%)	(9.1%)	(14.3%)	(10.9%)
中宗岡	451	1196	90	1	16	100	32	27	23	14	33	25	2
十水画	(19.3%)	(16.8%)	(13.9%)	(2.9%)	(12.7%)	(17.2%)	(14.4%)	(14.6%)	(14.0%)	(18.9%)	(27.3%)	(10.5%)	(4.3%)
下宗岡	234	557	44	7	10	46	18	14	13	0	9	18	6
	(10.0%)	(7.8%)	(6.8%)	(20.6%)	(7.9%)	(7.9%)	(8.1%)	(7.6%)	(7.9%)	(0.0%)	(7.4%)	(7.6%)	(13.0%)
計	2,334	7,098	648	34	126	582	222	185	164	74	121	237	46

被保険者延べ人数

年齢階級別

	百枚別 「矢歩 ラハ					/// = I
性別	年齢区分	H20年5月	H20年10月	H20年5月	H20年10月	総計
	小計	9,508	9,635	9,857	9,930	38,930
	00~04歳	265	263	280	280	1,088
	05~09歳	301	316	315	301	1,233
	10~14歳	299	303	305	310	1,217
	15~19歳	347	346	334	349	1,376
	20~24歳	483	462	476	474	1,895
	25~29歳	595	618	627	629	2,469
男	30~34歳	710	681	698	696	2,785
3	35~39歳	764	796	807	795	3,162
	40~44歳	612	643	695	721	2,671
	45~49歳	429	445	469	498	1,841
	50~54歳	460	442	426	424	1,752
	55~59歳	671	649	632	600	2,552
	60~64歳	1,035	1,009	986	979	4,009
	65~69歳	1,572	1,622	1,642	1,651	6,487
	70~74歳	965	1,040	1,165	1,223	4,393
	小計	9,859	9,921	10,122	10,204	40,106
	00~04歳	242	233	242	268	985
	05~09歳	294	306	309	299	1,208
	10~14歳	304	306	317	329	1,256
	15~19歳	344	343	336	344	1,367
	20~24歳	385	383	407	395	1,570
	25~29歳	505	511	520	515	2,051
女	30~34歳	555	529	533	542	2,159
~	35~39歳	629	650	660	672	2,611
	40~44歳	458	480	545	557	2,040
	45~49歳	388	383	400	423	1,594
	50~54歳	445	443	429	429	1,746
	55~59歳	820	794	753	706	3,073
	60~64歳	1,467	1,456	1,429	1,436	5,788
	65~69歳	1,646	1,690	1,770	1,802	6,908
	70~74歳	1,377	1,414	1,472	1,487	5,750
	総計	19,367	19,556	19,979	20,134	79,036

疾病分類別

性別	H20年5月	H20年10月	H20年5月	H20年10月	総計
男	9,508	9,635	9,857	9,930	38,930
女	9,859	9,921	10,122	10,204	40,106
総計	19,367	19,556	19,979	20,134	79,036

地区別

76 FT //	13					
性別	地区	H20年5月	H20年10月	H20年5月	H20年10月	総計
	小計	9,508	9,635	9,857	9,930	38,930
	本町	1,872	1,906	1,976	1,982	7,736
	柏町	1,500	1,514	1,549	1,551	6,114
	幸町	1,114	1,138	1,163	1,173	4,588
男	館	866	887	922	948	3,623
	上宗岡	1,424	1,433	1,455	1,475	5,787
	中宗岡	1,840	1,857	1,890	1,897	7,484
	下宗岡	891	899	900	902	3,592
	その他	1	1	2	2	6
	小計	9,859	9,921	10,122	10,204	40,106
	本町	2,076	2,109	2,117	2,113	8,415
	柏町	1,582	1,583	1,607	1,598	6,370
	幸町	1,148	1,156	1,194	1,231	4,729
女	館	1,131	1,130	1,173	1,198	4,632
	上宗岡	1,331	1,318	1,360	1,385	5,394
	中宗岡	1,756	1,776	1,806	1,822	7,160
	下宗岡	835	849	865	857	3,406
	その他	0	0	0	0	0
	総計	19,367	19,556	19,979	20,134	79,036

医療費・レセプト数 上位 30 機関

			医療費上位30)機関		
	計		入院	Ē	入院	
順位	医療機関コード	医療費(千円)	医療機関コード	医療費(千円)	医療機関コード	医療費(千円)
1	115100151	117,302	115100151	66,504	115100151	50,798
2	112100550	89,820	112100550	59,462	志木市立市民病院	38,127
3	志木市立市民病院	87,154	志木市立市民病院	49,027	112100550	30,358
4	119900028	44,306	119900028	35,115	112900744	27,553
5	112900744	33,698	112100675	17,558	112200046	13,963
6	112100675	21,804	110402594	12,245	119900028	9,191
7	110402594	20,776	110304048	9,237	110402594	8,531
8	130870923	14,512	112402493	8,481	112200665	8,364
9	112200046	13,963	130415042	8,281	112200632	8,114
10	112200665	12,398	115100565	8,274	112101525	8,090
11	130415042	10,525	130415018	8,162	112200772	8,087
12	110304048	10,105	130870923	7,543	112200475	7,308
13	130415018	9,804	112300705	6,701	130870923	6,968
14	130514836	9,781	119900069	6,550	112200798	6,719
15	112300705	8,803	112900744	6,145	112200616	6,240
16	119900069	8,579	112501773	5,908	112101517	6,114
17	112402493	8,481	132011724	5,717	112200491	5,700
18	115100565	8,357	130514836	5,488	112200707	5,326
19	131919588	8,236	113001039	5,159	112200178	5,129
20	112200632	8,114	131911502	4,714	112200830	4,743
21	112101525	8,090	131970078	4,480	131919588	4,657
22	112200772	8,087	134715538	4,091	130514836	4,294
23	112200475	7,308	138715567	4,049	112100675	4,246
24	112200798	6,719	112200665	4,034	115101407	4,234
25	132011724	6,487	110400218	4,026	115101324	4,231
26	112200616	6,240	133870086	4,011	112200699	4,230
27	112101517	6,114	112701704	4,008	115101357	4,012
28	110106278	6,085	131919588	3,579	115101233	3,472
29	112501773	5,908	110106278	3,395	112101038	3,241
30	112200491	5,700	138810236	3,201	112200376	3,222

			レセプト数上位は	30機関		
	計		入院		入院:	外
順位	医療機関コード	レセプト数(件)	医療機関コード	レセプト数(件)	医療機関コード	レセプト数(件)
1	115100151	5,267	115100151	141	115100151	5,126
2	志木市立市民病院	3,732	112100550	124	志木市立市民病院	3,617
3	112100550	2,985	志木市立市民病院	115	112100550	2,861
4	112200046	1,470	119900028	63	112200046	1,470
5	112200772	1,197	112100675	29	112200772	1,197
6	112200632	1,082	110402594	29	112200632	1,082
7	112200798	1,033	112300705	22	112200798	1,033
8	112200665	884	132011724	17	112200665	872
9	112200616	854	112900744	16	112200616	854
10	112101525	851	112402493	16	112101525	851
11	112200178	835	130870923	14	112200178	835
12	112200475	789	119900069	14	112200475	789
13	112200707	727	110400218	13	112200707	727
14	112200491	699	112200665	12	112200491	699
15	112200574	623	112901213	12	112200574	623
16	119900028	616	130415042	11	112200699	604
17	112200699	604	115100565	11	119900028	553
18	112200681	510	110304048	10	112200681	510
19	112200624	467	131911502	10	112200624	467
20	112900744	463	138715567	10	112900744	447
21	115100797	427	112100923	10	115100797	427
22	112200376	426	112501773	10	112200376	426
23	115101175	395	112403533	8	115101175	395
24	112100675	392	134715538	8	115101407	387
25	115101407	387	130514836	8	112200657	385
26	112200657	385	110400556	7	115101357	384
27	115101357	384	130314732	7	112100675	363
28	115101233	351	131970078	7	115101233	351
29	110402594	337	113001039	7	112200822	330
30	112200822	330	131919588	6	112101327	321

特定健診「標準的な質問票」における生活習慣を問う項目 8~22 の年代別、男女別 集計【H20 年度】①

			全	体(H20年	<u>:</u>)			耳	性(H20年	<u>:</u>)			#	性(H20年	Ξ)	
		40歳代	<u>_</u> 50歳代	60歳代		合計	40歳代		60歳代		合計	40歳代	50歳代	60歳代		合計
	141 5	71	92	259	110	532	49	57	187	89	382	22	35	72	21	150
現在、たばこを習慣	はい	26.6%	21.6%	14.0%	10.3%	14.7%	39.5%	39.0%	26.9%	18.9%	26.6%	15.4%	12.5%	6.2%	3.5%	6.9%
的に吸っている。	いいえ	196	334	1,596	963	3,089	75	89	509	383	1,056	121	245	1,087	580	2,033
	いいん	73.4%	78.4%	86.0%	89.7%	85.3%	60.5%	61.0%	73.1%	81.1%	73.4%	84.6%	87.5%	93.8%	96.5%	93.1%
合計		267	426	1,855	1,073	3,621	124	146	696	472	1,438	143	280	1,159	601	2,183
нп		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
20歳からの体重変化	はい	84	145	597	378	1,204	57	65	269	184	575	27	80	328	194	629
(10kg以上増加して	10.0	31.5%	34.0%	32.2%	35.2%	33.3%	46.0%	44.5%	38.7%	39.0%	40.0%	18.9%	28.6%	28.3%	32.3%	28.8%
	いいえ	183	281	1,257	695	2,416		81	426	288	862	116	200	831	407	1,554
		68.5%	66.0%	67.8%	64.8%	66.7%	54.0%	55.5%	61.3%	61.0%	60.0%	81.1%	71.4%	71.7%	67.7%	71.2%
合計		267 100.0%	426	1,854	1,073	3,620	124 100.0%	146	695	472	1,437	143 100.0%	280	1,159	601	2,183
1回30分以上の軽く		64	100.0% 144	100.0% 909	100.0% 572	100.0% 1.689	31	100.0% 55	100.0% 369	100.0% 282	100.0% 737	33	100.0% 89	100.0% 540	100.0% 290	100.0% 952
汗をかく運動を週2	はい	24.0%	33.8%	49.0%	53.3%	46.7%	25.0%	37.7%	53.1%	59.7%	51.3%	23.1%	31.8%	46.6%	48.3%	43.6%
DDLF 1年DLF宝		24.0%	282	945	501	1,931	93	37.7% 91	326	190	700	110	191	619	311	1,231
施	いいえ	76.0%	66.2%	51.0%	46.7%	53.3%	75.0%	62.3%	46.9%	40.3%	48.7%	76.9%	68.2%	53.4%	51.7%	56.4%
		267	426	1,854	1,073	3,620	124	146	695	472	1.437	143	280	1,159	601	2,183
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
日常生活において歩	1415	115	209	1,102	683	2,109	51	79	425	315	870	64	130	677	368	1,239
行又は同等の身体	はい	43.1%	49.2%	59.5%	63.7%	58.3%	41.1%	54.1%	61.2%	66.7%	60.5%	44.8%	46.6%	58.5%	61.2%	56.8%
活動を1 日1時間以	いいえ	152	216	751	390	1,509	73	67	270	157	567	79	149	481	233	942
上実施	U'U'Z	56.9%	50.8%	40.5%	36.3%	41.7%	58.9%	45.9%	38.8%	33.3%	39.5%	55.2%	53.4%	41.5%	38.8%	43.2%
合計		267	425	1,853	1,073	3,618	124	146	695	472	1,437	143	279	1,158	601	2,181
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
ほぼ同じ年齢の同性	はい	125	226	965	554	1,870	71	75	378	239	763	54	151	587	315	1,107
と比較して歩く速度	16.0	47.0%	53.1%	52.2%	51.7%	51.8%	57.3%	51.4%	54.5%	50.6%	53.2%	38.0%	53.9%	50.8%	52.5%	50.8%
	いいえ	141	200	884	518	1,743	53	71	315	233	672	88	129	569	285	1,071
w 22.		53.0%	46.9%	47.8%	48.3%	48.2%	42.7%	48.6%	45.5%	49.4%	46.8%	62.0%	46.1%	49.2%	47.5%	49.2%
合計		266	426	1,849	1,072	3,613	124	146	693	472	1,435	142	280	1,156	600	2,178
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
この1 年間で体重の	はい	63 23.6%	109 25.6%	292 15.8%	196 18.3%	660 18.3%	37 29.8%	42 29.0%	111 16.0%	83 17.6%	273 19.0%	26 18.2%	67 23.9%	181 15.7%	113 18.8%	387 17.8%
増減が±3 kg以上		23.0%	316	1,558	877	2,955		103	583	389	1,162	10.2%	23.9%	975	488	1,793
あった	いいえ	76.4%	74.4%	84.2%	81.7%	81.7%	70.2%	71.0%	84.0%	82.4%	81.0%	81.8%	76.1%	84.3%	81.2%	82.2%
A - 1		267	425	1,850	1,073	3,615	124	145	694	472	1,435	143	280	1,156	601	2,180
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	`±ı`	82	125	469	242	918		55	182	117	401	35	70	287	125	517
	速い	30.7%	29.3%	25.3%	22.6%	25.4%	37.9%	37.7%	26.2%	24.8%	27.9%	24.5%	25.0%	24.8%	20.8%	23.7%
人と比較して食べる	普通	87	134	477	221	919	41	47	206	111	405	46	87	271	110	514
速度が速い	日地	32.6%	31.5%	25.7%	20.6%	25.4%	33.1%	32.2%	29.6%	23.6%	28.2%	32.2%	31.1%	23.4%	18.3%	23.5%
	遅い	98	167	908	609	1,782	36	44	307	243	630	62	123	601	366	1,152
	V	36.7%	39.2%	49.0%	56.8%	49.2%	29.0%	30.1%	44.2%	51.6%	43.9%	43.4%	43.9%	51.9%	60.9%	52.8%
合計		267	426	1,854	1,072	3,619		146	695	471	1,436	143	280	1,159	601	2,183
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
就寝前の2 時間以内	はい	61	96	310	194	661	38	51	155	104	348	23	45	155	90 15.0%	313
に夕食をとることが週		22.8%	22.5%	16.7%	18.1%	18.3%	30.6%	34.9%	22.4%	22.0%	24.3%	16.1%	16.1%	13.4%	15.0%	14.3%
に3 回以上ある	いいえ	206	330	1,541	879 91.0%	2,956		95 65.1%	537	368 79.0%	1,086		235	1,004	511 95.0%	1,870
		77.2% 267	77.5% 426	83.3% 1,851	81.9% 1,073	81.7% 3,617		65.1% 146	77.6% 692	78.0% 472	75.7% 1,434	83.9% 143	83.9% 280	86.6% 1,159	85.0% 601	85.7% 2,183
合計		100.0%		100.0%	1,073	100.0%		100.0%	100.0%	100.0%	1,434	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
夕食後に間食(3食		56		173	68	352		160.0%	52	25	117	32	39	121	43	235
以外の夜食)をとるこ	はい	21.0%		9.3%	6.3%	9.7%		11.0%	7.5%	5.3%	8.1%	22.4%	13.9%	10.4%	7.2%	10.8%
レが、田につ同い上も	1.1.5	211	371	1,680	1,005	3,267		130	643	447	1,320		241	1,037	558	1,947
る	いいえ	79.0%	87.1%	90.7%	93.7%	90.3%		89.0%	92.5%	94.7%	91.9%	77.6%	86.1%	89.6%	92.8%	89.2%
		267	426	1,853	1,073	3,619		146	695	472	1,437	143	280	1,158	601	2,182
合計		100.0%		100.0%	100.0%	100.0%					100.0%				100.0%	100.0%

特定健診「標準的な質問票」における生活習慣を問う項目 8~22 の年代別、男女別 集計【H20 年度】②

			全	体(H20年					性(H20年				女	性(H20年		
		40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	合計	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	合計	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	合計
カヘナサノー しぶ田に	はい	55	62	123	62	302	32	22	52	24	130	23	40	71	38	172
朝食を抜くことが週に		20.6%	14.6%	6.6%	5.8%	8.3%	25.8%	15.1%	7.5%	5.1%	9.1%	16.1%	14.3%	6.1%	6.3%	7.9%
3回以上ある	いいえ	212 79.4%	364 85.4%	1,730 93.4%	1,010 94.2%	3,316 91.7%	92 74.2%	124 84.9%	642 92.5%	448 94.9%	1,306 90.9%	120 83.9%	240 85.7%	1,088 93.9%	562 93.7%	2,010 92.1%
A = 1	1	267	426	1.853	1.072	3.618	124	146	694	472	1.436	143	280	1.159	600	2,182
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	毎日	70	101	481	255	907	48	65	360	214	687	22	36	121	41	220
お酒(清酒、焼酎、	毋口	26.2%	23.7%	26.0%	23.8%	25.1%	38.7%	44.5%	51.8%	45.3%	47.8%	15.4%	12.9%	10.4%	6.8%	10.1%
ビール、洋酒など)を	時々	69	116	428	204	817	29	41	148	96	314	40	75	280	108	503
飲む頻度	ほとんど飲	25.8% 128	27.2% 209	23.1% 944	19.0% 614	22.6% 1,895	23.4% 47	28.1% 40	21.3% 187	20.3% 162	21.9%	28.0% 81	26.8% 169	24.2% 757	18.0% 452	23.19 1,459
	まない	47.9%	49.1%	50.9%	57.2%	52.4%	37.9%	27.4%	26.9%	34.3%	436 30.3%	56.6%	60.4%	65.4%	452 75.2%	66.9%
A =1	6.60	267	426	1,853	1.073	3,619	124	146	695	472	1,437	143	280	1.158	601	2,182
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	ほとんど飲	80	149	778	564	1,571	25	30	146	141	342	55	119	632	423	1,229
	まない	30.0%	35.0%	41.9%	52.6%	43.4%	20.2%	20.5%	21.0%	29.9%	23.8%	38.5%	42.5%	54.5%	70.4%	56.3%
	1合未満	100	163	683	313	1,259	41	40	252	161	494	59	123	431	152	765
会流口の1口半+川		37.5%	38.3%	36.8%	29.2%	34.8%	33.1%	27.4%	36.2%	34.1%	34.4%	41.3%	43.9%	37.2%	25.3%	35.0%
飲酒日の1日当たり の飲酒量	1~2合	52 19.5%	76 17.8%	287 15.5%	148 13.8%	563 15.5%	31 25.0%	43 29.5%	206 29.6%	124 26.3%	404 28.1%	21 14.7%	33 11.8%	81 7.0%	24 4.0%	159 7.3%
の以伯里		19.5%	17.8%	15.5%	13.8%	187	25.0% 17	29.5%	29.6% 77	20.3% 41	28.1% 161	14.7%	11.6%	7.0%	4.0 _%	7.3% 26
	2~3合	9.0%	6.8%	4.9%	4.0%	5.2%	13.7%	17.8%	11.1%	8.7%	11.2%	4.9%	1.1%	1.2%	0.3%	1.2%
	o A INL E	11	9	16	5	41	10.7%	7	15	5	37	1	2	1	0.070	4
	3合以上	4.1%	2.1%	0.9%	0.5%	1.1%	8.1%	4.8%	2.2%	1.1%	2.6%	0.7%	0.7%	0.1%	0.0%	0.2%
合計		267	426	1,855	1,073	3,621	124	146	696	472	1,438	143	280	1,159	601	2,183
нні		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
 睡眠で休養が十分と	はい	164	290	1,445	853	2,752	80	104	574	400	1,158	84	186	871	453	1,594
性低で体質が下方とれている		61.9% 101	68.9% 131	78.4% 399	79.8% 216	76.5% 847	65.0% 43	71.7% 41	83.2% 116	85.3% 69	81.1% 269	59.2% 58	67.4% 90	75.5% 283	75.5% 147	73.4% 578
10.00.0	いいえ	38.1%	31.1%	21.6%	20.2%	23.5%	35.0%	28.3%	16.8%	14.7%	18.9%	40.8%	32.6%	24.5%	24.5%	26.6%
∧= 1		265	421	1.844	1.069	3.599	123	145	690	469	1.427	142	276	1.154	600	2,172
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	意思なし	57	96	608	349	1,110	24	33	255	172	484	33	63	353	177	626
		21.5%	22.5%	32.9%	32.7%	30.8%	19.5%	22.6%	36.7%	36.6%	33.8%	23.2%	22.5%	30.5%	29.6%	28.8%
	意思あり(6	122	153	489	277	1,041	54	52	179	99	384	68	101	310	178	657
運動や食生活等の	か月以内) 意思あり(近	46.0% 43	35.9% 61	26.4% 200	25.9% 103	28.8% 407	43.9% 21	35.6% 22	25.8% 59	21.1% 37	26.8% 139	47.9% 22	36.1% 39	26.8% 141	29.8% 66	30.2% 268
生活習慣を改善して	いうち)	16.2%	14.3%	10.8%	9.6%	11.3%	17.1%	15.1%	8.5%	7.9%	9.7%	15.5%	13.9%	12.2%	11.0%	12.3%
みようと思いますか	取組済み(6	19	51	190	102	362	9	15.1%	63	43	130	10.0%	36	127	59	232
	か月未満)	7.2%	12.0%	10.3%	9.6%	10.0%	7.3%	10.3%	9.1%	9.1%	9.1%	7.0%	12.9%	11.0%	9.9%	10.7%
	取組済み(6	24	65	363	237	689	15	24	138	119	296	9	41	225	118	393
	か月)以上	9.1%	15.3%	19.6%	22.2%	19.1%	12.2%	16.4%	19.9%	25.3%	20.7%	6.3%	14.6%	19.5%	19.7%	18.1%
合計		265	426	1,850	1,068	3,609	123	146	694	470	1,433	142	280	1,156	598	2,176
生活習慣の改善につ	,	100.0%	100.0% 243	100.0% 986	100.0% 545	100.0%	100.0% 73	100.0% 84	100.0% 389	100.0% 247	100.0% 793	100.0% 74	100.0% 159	100.0% 597	100.0% 298	100.0% 1,128
生活省頃の改善につ いて保健指導を受け	はい	147 55.5%	57.0%	986 53.3%	545 50.9%	1,921 53.2%	59.3%	57.5%	389 56.0%	52.6%	793 55.3%	74 52.1%	56.8%	597 51.7%	49.7%	51.8%
る機会があれば、利		118	183	863	525	1,689	50.5%	62	30.0%	223	641	68	121	51.7%	302	1,048
用しますか	いいえ	44.5%	43.0%	46.7%	49.1%	46.8%	40.7%	42.5%	44.0%	47.4%	44.7%	47.9%	43.2%	48.3%	50.3%	48.2%
合計	*	265	426	1,849	1,070	3,610	123	146	695	470	1,434	142	280	1,154	600	2,176
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.09

様性・大きに参照 はい				全	体(H21年)			男	性(H21年	:)			女	性(H21年	:)	
限在、广は正を書帽 は			40歳代				合計	40歳代				合計	40歳代				合計
28日、アレーション 1985 129 120		1+1 >							64								179
会計 70.7% 77.5% 87.1% 89.8% 85.8% 16.5% 61.9% 75.1% 80.0% 74.3% 79.6% 86.4% 94.6% 96.9% 93.8% 15.0% 10.0% 10.00%		100															6.7%
合計	的に吸っている。	いいえ															
日かけ 日か																	
28歳からの体重要比 はい	合計																
1887 1987																	
いかっ いいっと		はい															
1.00 1.00																	
合計	いる。)	いいえ															73.2%
図30分別上の軽く	스타		266	362	1821	1202	3651	128	125	690	512	1455	138	237	1131	690	2196
接近います。			100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%	100.0%	100.0%
「日本の		はい															983
### 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		10.0															44.8%
からか 15 15 15 15 15 15 15 1		いいえ															
日本日	他		_														
日常生活に古いて歩 行双以前等の合理 会社 と実施 合計 とした。 161 178 769 447 1555 83 59 279 184 605 78 119 490 263 967 66計 178 774 555 83 59 279 184 605 78 119 490 263 967 66計 178 769 447 1555 83 59 279 184 605 78 119 490 263 967 66計 178 769 447 1555 83 59 279 184 605 78 119 490 263 967 66計 178 769 447 42 268 648 478 478 478 478 478 478 478 478 478 4	合計																
行又は同等の身体	日常生活において歩		_														
活動を1目1時間以上来随 60.5% 49.4% 42.5% 37.3% 42.6% 46.8% 47.6% 40.5% 35.9% 41.6% 56.5% 50.4% 42.2% 33.3% 43.3% 43.3% 43.5% 66.5% 100.0		はい															
上実施																	950
合計 266 360 1822 1198 3646 128 124 689 512 1453 138 236 1133 686 2193 1100 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1	上実施	いいえ															43.3%
ほぼ同じ年齢の同性 はい	△=1		266	360	1822	1198	3646		124	689	512	1453	138	236	1133	686	2193
はいえ 142 193 905 608 1848 62 70 319 255 706 80 123 586 353 1145 1145 1188 3639 1148 1188 1	口前		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
上比較して多く速度 が速い	ほぼ同じ年齢の同性	はい															1045
が速い しいえ 142 193 905 008 1848 62 70 319 255 706 30 123 886 333 1142		10.0															47.8%
合計 264 362 1815 1198 3639 128 125 687 512 1452 136 237 1128 686 2187 100.0% 1	が速い	いいえ															
日本語																	
はい	合計																
27.4% 19.7% 16.3% 15.0% 17.0% 28.9% 21.0% 17.7% 15.0% 18.0% 26.1% 19.1% 15.4% 14.9% 16.3% 15.0% 17.1% 79.0% 82.3% 85.0% 82.0% 73.9% 80.9% 84.6% 85.1% 83.7% 17.1% 79.0% 82.3% 85.0% 82.0% 73.9% 80.9% 84.6% 85.1% 83.7% 17.1% 17.0% 18.0% 18.0% 17.1% 17.0% 18.0% 18.0% 17.1% 17.0% 18																	
193		はい															16.3%
72.6% 80.3% 83.7% 83.0% 71.1% 79.0% 82.3% 85.0% 85		1313=															1834
100.0% 100.0	めつに	いいえ	72.6%	80.3%	83.7%	85.0%	83.0%	71.1%	79.0%	82.3%	85.0%	82.0%	73.9%	80.9%	84.6%	85.1%	83.7%
接い 100.0% 100.	스타		266	360	1818	1204	3648	128	124	690	514	1456	138	236	1128	690	2192
大と比較して食べる 連度が速い 音通 101 124 552 326 1103 45 32 223 157 457 56 92 329 169 648 24.5% 38.1% 34.3% 30.3% 27.1% 30.2% 35.2% 25.6% 32.4% 30.7% 31.4% 40.9% 38.8% 29.1% 24.5% 29.5% 32.6% 32.4% 30.7% 31.4% 40.9% 38.8% 29.1% 24.5% 29.5% 32.6% 32.4% 30.7% 31.4% 40.9% 38.8% 29.1% 24.5% 29.5% 32.6% 32.4% 30.7% 31.4% 40.9% 38.8% 29.1% 24.5% 29.5% 32.6% 32.4% 30.7% 31.4% 40.9% 38.8% 29.1% 24.5% 29.5% 32.5% 30.2% 35.9% 45.0% 51.0% 45.0% 25.8% 35.2% 40.1% 43.8% 39.7% 34.3% 36.3% 48.0% 56.3% 48.5% 29.1% 24.5%	ни		_														100.0%
人と比較して食べる 速度が速い 超		速い															
速度が速い																	
遅い 30.2% 35.9% 45.0% 51.0% 45.0% 25.8% 35.2% 40.1% 43.8% 39.7% 34.3% 36.3% 48.0% 56.3% 48.5% 合計 265 362 1819 1201 3647 128 125 689 512 1454 137 237 1130 689 2193 100.0%		普通															
本語の	还没为·还U·																
合計 265 362 1819 1201 3647 128 125 689 512 1454 137 237 1130 689 2193 100.0% 1		遅い															
100.0% 100.0	A = 1																2193
183 23.5% 16.0% 16.2% 17.9% 43.8% 38.7% 21.4% 21.5% 24.9% 19.6% 15.6% 12.7% 12.2% 13.3% 13.3 12.3 18.3 276 1528 1004 2991 72 76 541 401 1090 111 200 987 603 1901 12.3 12.	合計																100.0%
13.2% 23.5% 16.0% 16.2% 17.9% 43.8% 38.7% 21.4% 21.5% 24.9% 19.6% 15.6% 12.7% 12.2% 13.3% 12.3 回以上ある	お寝前の2 時間以内	1+15	83	85	290	194	652	56	48	147	110	361	27	37	143	84	291
に3 回以上ある			31.2%		16.0%				38.7%	21.4%			19.6%				13.3%
68.8% 76.5% 84.0% 83.8% 82.1% 56.3% 61.3% 78.5% 75.1% 80.4% 84.4% 87.3% 87.8% 86.7% 合計 266 361 1818 1198 3643 128 124 688 511 1451 138 237 1130 687 2192 1100.0% 100.0%																	1901
日前		/ -															86.7%
100.0% 100.0%	合計																
以外の夜食)をとるこ はい 19.2% 16.0% 8.7% 6.4% 9.4% 20.5% 17.2% 7.4% 7.4% 9.4% 18.1% 15.3% 9.6% 5.7% 9.5% とが週に3回以上ある 214 300 1659 1125 3298 101 101 638 476 1316 113 199 1021 649 1982 80.8% 84.0% 91.3% 93.6% 90.6% 79.5% 82.8% 92.6% 92.6% 90.6% 81.9% 84.7% 90.4% 94.3% 90.5% 合計 265 357 1818 1202 3642 127 122 689 514 1452 138 235 1129 688 2190		1															
とが週に3回以上あ る 80.8% 84.0% 91.3% 93.6% 90.6% 79.5% 82.8% 92.6% 92.6% 90.6% 81.9% 84.7% 90.4% 94.3% 90.5% 合計 265 357 1818 1202 3642 127 122 689 514 1452 138 235 1129 688 2190		はい															
る はいた 80.8% 84.0% 91.3% 93.6% 90.6% 79.5% 82.8% 92.6% 92.6% 90.6% 81.9% 84.7% 90.4% 94.3% 90.5% 会計 265 357 1818 1202 3642 127 122 689 514 1452 138 235 1129 688 2190																	
合計 265 357 1818 1202 3642 127 122 689 514 1452 138 235 1129 688 2190	_	いいえ															
		1															
	谷計																100.0%

特定健診「標準的な質問票」における生活習慣を問う項目 8~22 の年代別、男女別 集計【H21 年度】②

				全·	体(H21年	Ξ)			男	性(H21年	.)			女	性(H21年)	
			40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	合計	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	合計	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	合計
		はい	59	50	104	45	258	32	14	50	19	115	27	36	54	26	143
	抜くことが週に	10.0	22.3%	13.9%	5.7%	3.7%	7.1%	25.2%	11.5%	7.3%	3.7%	7.9%	19.7%	15.2%	4.8%	3.8%	6.5%
3回以】	上ある	いいえ	205	309	1714	1157	3385	95	108	639	495	1337	110	201	1075	662	2048
		0 0 72	77.7%	86.1%	94.3%	96.3%	92.9%	74.8%	88.5%	92.7%	96.3%	92.1%	80.3%	84.8%	95.2%	96.2%	93.5%
合計			264	359	1818	1202	3643	127	122	689	514	1452	137	237	1129	688	2191
н н і			100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.09
		毎日	78	86	444	272	880	56	56	345	230	687	22	30	99	42	193
お酒(清	青酒、焼酎、		29.3%	23.8%	24.3%	22.5%	24.1%	43.8%	44.8%	49.9%	44.7%	47.1%	15.9%	12.7%	8.7%	6.1%	8.89
ビール、	、洋酒など)を	時々	76	100	397	228	801	36	40	160	111	347	40	60	237	117	454
飲む頻		エレノビ会の	28.6%	27.6%	21.8%	18.9%	21.9%	28.1%	32.0%	23.2%	21.6%	23.8%	29.0%	25.3%	20.9%	16.9%	20.69
		ほとんど飲 まない	112 42.1%	176 48.6%	983 53.9%	707 58.6%	1978	36 28.1%	29 23.2%	186	174	425 29.1%	76	147 62.0%	797	533 77.0%	1553 70.69
		まない	266	362	1824	1207	54.1% 3659	128	23.2% 125	26.9% 691	33.8% 515	1459	55.1% 138	237	70.3% 1133	692	2200
合計			100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.09
		ほとんど飲	100.0%	15	83	64	170	100.0%	100.0%	100.0%	20	43	100.0%	100.0%	64	44	100.07
		まない	3.0%	4.1%	4.5%	5.3%	4.6%	1.6%	1.6%	2.7%	3.9%	2.9%	4.3%	5.5%	5.6%	6.4%	5.8%
			161	256	1346	915	2678	57	53	362	299	771	104	203	984	616	1907
		1合未満	60.5%	70.7%	73.8%	75.8%	73.2%	44.5%	42.4%	52.4%	58.1%	52.8%	75.4%	85.7%	86.8%	89.0%	86.69
飲酒日(の1日当たり		53	58	287	171	569	33	38	219	144	434	20	20	68	27	135
の飲酒		1~2合	19.9%	16.0%	15.7%	14.2%	15.5%	25.8%	30.4%	31.7%	28.0%	29.7%	14.5%	8.4%	6.0%	3.9%	6.1%
	_		31	24	91	54	200	25	24	76	49	174	6	0	15	5	26
		2~3合	11.7%	6.6%	5.0%	4.5%	5.5%	19.5%	19.2%	11.0%	9.5%	11.9%	4.3%	0.0%	1.3%	0.7%	1.29
		a A INL L	13	9	18	3	43	11	8	15	3	37	2	1	3	0	6
		3合以上	4.9%	2.5%	1.0%	0.2%	1.2%	8.6%	6.4%	2.2%	0.6%	2.5%	1.4%	0.4%	0.3%	0.0%	0.3%
合計			266	362	1825	1207	3660	128	125	691	515	1459	138	237	1134	692	2201
			100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
		はい	182	260	1429	966	2837	83	97	576	431	1187	99	163	853	535	1650
	休養が十分と	10.0	68.4%	72.6%	78.9%	80.3%	78.0%	64.8%	78.9%	83.8%	84.0%	81.8%	71.7%	69.4%	75.9%	77.5%	75.4%
れている	る	いいえ	84	98	382	237	801	45	26	111	82	264	39	72	271	155	537
		0 0 72	31.6%	27.4%	21.1%	19.7%	22.0%	35.2%	21.1%	16.2%	16.0%	18.2%	28.3%	30.6%	24.1%	22.5%	24.69
合計			266	358	1811	1203	3638	128	123	687	513	1451	138	235	1124	690	2187
			100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.09
		意思なし	68	76	535	376	1055	35	33	212	184	464	33	43	323	192	591
			25.6%	21.2%	29.6%	31.4%	29.0%	27.3%	26.4%	30.8%	35.7%	31.9%	23.9%	18.4%	28.8%	28.1%	27.29
		意思あり(6	94	134	485	302	1015	43	50 40.0%	179	116	388	51	84	306	186	627
	食生活等の	か月以内) 意思あり(近	35.3%	37.3%	26.8%	25.2%	27.9% 422	33.6%		26.0%	22.5%	26.6%	37.0%	35.9%	27.3%	27.2%	28.89
	慣を改善して	思志めり(近	40 15.0%	51 14.2%	204 11.3%	127 10.6%	11.6%	18 14.1%	19 15.2%	83 12.1%	50 9.7%	170 11.7%	22 15.9%	32 13.7%	121 10.8%	77 11.3%	252
みようと	≥思いますか	取組済み(6	15.0%	14.2%	176	10.6%	352	14.1%	13.2%	12.1%	9.7%	11.7%	15.9%	13.7%	10.8%	11.3% 78	11.69 22
		か月未満)	8.3%	9.5%	9.7%	10.0%	9.7%	7.8%	8.8%	9.0%	8.2%	8.6%	8.7%	9.8%	10.2%	11.4%	10.49
		取組済み(6	42	9.5 _{/0}	408	274	788	7.6%	12	152	123	309	20	5.6 n 52	256	151	479
		か月)以上	15.8%	17.8%	22.6%	22.9%	21.7%	17.2%	9.6%	22.1%	23.9%	21.2%	14.5%	22.2%	22.9%	22.1%	22.09
A = 1		~ /1/->-	266	359	1808	1199	3632	128	125	688	515	1456	138	234	1120	684	2176
合計			100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.09
生活習	慣の改善につ	141.	137	197	943	567	1844	69	71	377	261	778	68	126	566	306	1066
	健指導を受け	はい	51.7%	55.0%	52.0%	47.3%	50.8%	54.3%	57.7%	55.0%	51.0%	53.8%	49.3%	53.6%	50.2%	44.6%	48.89
	があれば、利	1.11.2	128	161	869	631	1789	58	52	308	251	669	70	109	561	380	1120
用します		いいえ	48.3%	45.0%	48.0%	52.7%	49.2%	45.7%	42.3%	45.0%	49.0%	46.2%	50.7%	46.4%	49.8%	55.4%	51.29
合計			265	358	1812	1198	3633	127	123	685	512	1447	138	235	1127	686	2186
			100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.09

年代別、男女別、メタボリックシンドロームリスク因子 集計【H20年度】①

		全体(H20年) 40歳代 50歳代 60歳代 70歳代 合計 4						男性	生(H20年	.)			女	性(H20年	E)	
		40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	合計	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	合計	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	合計
BMIによる肥満判定	BMI25未満	210	334	1,487	800	2,831	84	102	542	345	1,073	126	232	945	455	1,758
		78.7%	78.4%	80.2%	74.6%	78.2%	67.7%	69.9%	77.9%	73.1%	74.6%	88.1%	82.9%	81.5%	75.7%	
	BMI25以上	57	92	368	273	790	40	44	154	127	365	17	48	214	146	425
		21.3%	21.6%	19.8%	25.4%	21.8%	32.3%	30.1%	22.1%	26.9%	25.4%	11.9%	17.1%	18.5%	24.3%	19.5%
合計		267	426	1,855	1,073	3,621	124	146	696	472	1,438	143	280	1,159	601	2,183
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%	
	標準	200	316	1,332	674	2,522	63	73	372	227	735	137	243	960	447	1,787
女性90cm以上	_,	74.9%	74.2%	71.8%	62.8%	69.6%	50.8%	50.0%	53.4%	48.1%	51.1%	95.8%	86.8%	82.8%	74.4%	
	腹部肥満	67	110	523	399	1,099	61	73	324	245	703		37	199	154	396
		25.1%	25.8%	28.2%	37.2%	30.4%	49.2%	50.0%	46.6%	51.9%	48.9%	4.2%	13.2%	17.2%	25.6%	18.1%
合計		267	426	1,855	1,073	3,621	124	146	696	472	1,438		280	1,159	601	2,183
	I T 146	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
高血圧:日本メタボ基準に	標準	197	229	754	374	1,554	85	69	254	143	551	112	160	500	231	1,003
よる診断(130/85)	+ + -	73.8%	53.8%	40.6%	34.9%	42.9%	68.5%	47.3%	36.5%	30.3%	38.3%	78.3%	57.1%	43.1%	38.4%	
	高血圧	70	197	1,101	699	2,067	39	77	442	329	887	31	120	659	370	
A=1		26.2%	46.2%	59.4%	65.1%	57.1%	31.5%	52.7%	63.5%	69.7%	61.7%	21.7%	42.9%	56.9%	61.6%	
合計		267	426	1,855	1,073	3,621	124	146	696	472	1,438	143	280	1,159	601	2,183
京 泰区(140/00)	+而:#	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
高血圧:(140/90)	標準	234	304	1,184	651	2,373	107	87	417	272	883	127	217	767	379	1,490
	- カー	87.6%	71.4%	63.8%	60.7%	65.5%	86.3%	59.6%	59.9%	57.6%	61.4%	88.8%	77.5%	66.2%	63.1%	
	高血圧	33 12.4%	122 28.6%	671	422 39.3%	1,248	17 13.7%	59	279	200 42.4%	555	16 11.2%	63 22.5%	392	222 36.9%	
스킨				36.2%		34.5%		40.4%	40.1% 696		38.6%		22.5% 280	33.8%		31.7% 2,183
合計		267 100.0%	426 100.0%	1,855 100.0%	1,073 100.0%	3,621 100.0%	124 100.0%	146 100.0%	100.0%	472 100.0%	1,438 100.0%	143 100.0%	100.0%	1,159 100.0%	601 100.0%	
中性脂肪(150以上)	標準	209	329	1,392	786	2,716	78	90	496	324	988	131	239	896	462	
中迁加州(190以工)	保华	78.3%	77.2%	75.0%	73.3%	75.0%	62.9%	61.6%	71.3%	68.6%	68.7%	91.6%	85.4%	77.3%	76.9%	
	高脂血症	76.5% 58	97	463	73.3 ⁷⁰ 287	73.0 % 905	46	56	200	148	450	12	41	263	139	455
	同阳皿证	21.7%	22.8%	25.0%	26.7%	25.0%	37.1%	38.4%	28.7%	31.4%	31.3%	8.4%	14.6%	22.7%	23.1%	
合計		267	426	1,855	1,073	3,621	124	146	696	472	1,438		280	1.159	601	2,183
шні		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
HDL-C(40未満)	標準	252	413	1.770	1,013	3,448	110	136	632	428	1,306	142	277	1,138	585	2,142
	1×-	94.4%	96.9%	95.4%	94.4%	95.2%	88.7%	93.2%	90.8%	90.7%	90.8%	99.3%	98.9%	98.2%	97.3%	
	低HDL-C	15	13	85	60	173	14	10	64	44	132	1	3	21	16	41
	120	5.6%	3.1%	4.6%	5.6%	4.8%	11.3%	6.8%	9.2%	9.3%	9.2%	0.7%	1.1%	1.8%	2.7%	
合計		267	426	1,855	1,073	3,621	124	146	696	472	1,438		280	1,159	601	2,183
н.		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
空腹時血糖値別分類	100未満	169	194	755	350	1,468	79	46	235	141	501	90	148	520	209	967
		88.0%	66.9%	64.0%	59.9%	65.4%	82.3%	47.9%	50.3%	54.2%	54.5%	93.8%	76.3%	72.9%	64.5%	
	100以上126未	20	76	341	188	625	15	35	178	95	323	5	41	163	93	
	満	10.4%	26.2%	28.9%	32.2%	27.8%	15.6%	36.5%	38.1%	36.5%	35.1%	5.2%	21.1%	22.9%	28.7%	
	126以上	3	20	84	46	153	2	15	54	24	95		5	30	22	
	· <u>-</u> ·—-	1.6%	6.9%	7.1%	7.9%	6.8%	2.1%	15.6%	11.6%	9.2%	10.3%	1.0%	2.6%	4.2%	6.8%	4.4%
合計		192	290	1,180	584	2,246	96	96	467	260	919		194	713	324	1,327
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%	100.0%	100.0%	

91

年代別、男女別、メタボリックシンドロームリスク因子 集計【H20年度】②

			全	体(H20年	.)			男性	生(H20年)			女	性(H20年	Ξ)	
		40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	合計	40歳代		60歳代		合計	40歳代		60歳代		合計
HbA1c:メタボ基準による	標準	254	370	1,584	901	3,109	112	118	566	391	1,187	142	252	1,018	510	1,922
分類(5.8%以上)		95.1%	86.9%	85.4%	84.0%	85.9%	90.3%	80.8%	81.3%	82.8%	82.5%	99.3%	90.0%	87.8%	84.9%	88.0%
	高血糖	13	56	271	172	512	12	28	130	81	251	1	28	141	91	261
	(HbA1c)	4.9%	13.1%	14.6%	16.0%	14.1%	9.7%	19.2%	18.7%	17.2%	17.5%	0.7%	10.0%	12.2%	15.1%	12.0%
合計		267	426	1,855	1,073	3,621	124	146	696	472	1,438	143	280	1,159	601	2,183
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
HbA1c分類	5.2%未満	195	220	747	428	1,590	79	65	274	199	617	116	155	473	229	973
		73.0%	51.6%	40.3%	39.9%	43.9%	63.7%	44.5%	39.4%	42.2%	42.9%	81.1%	55.4%	40.8%	38.1%	44.6%
	5.2%~6.1%未満	63	174	939	547	1,723	37	63	330	231	661	26	111	609	316	1,062
		23.6%	40.8%	50.6%	51.0%	47.6%	29.8%	43.2%	47.4%	48.9%	46.0%	18.2%	39.6%	52.5%	52.6%	48.6%
	6.1%以上	9	32	169	98	308	8	18	92	42	160	1	14	77	56	148
		3.4%	7.5%	9.1%	9.1%	8.5%	6.5%	12.3%	13.2%	8.9%	11.1%	0.7%	5.0%	6.6%	9.3%	6.8%
合計		267	426	1,855	1,073	3,621	124	146	696	472	1,438		280	1,159	601	2,183
	1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
メタボリックシンドローム判	メタボ	27	60	286	221	594	26	44	183	135	388		16	103	86	206
定		10.1%	14.1%	15.4%	20.7%	16.4%	21.0%	30.1%	26.4%	28.7%	27.1%	0.7%	5.7%	8.9%	14.4%	9.5%
	メタボ予備群	26	34	197	155	412	23	18	116	94	251	3	16	81	61	161
	=+ .1. /	9.7%	8.0%	10.6%	14.5%	11.4%	18.5%	12.3%	16.7%	20.0%	17.5%	2.1%	5.7%	7.0%	10.2%	7.4%
	該当なし	214	332	1,369	691	2,606	75	84	395	241	795		248	974	450	1,811
		80.1%	77.9%	73.9%	64.8%	72.1%	60.5%	57.5%	56.9%	51.3%	55.4%	97.2%	88.6%	84.1%	75.4%	83.1%
	判定不可	_	-	_		-	_	-	-	_	_	_	-	-	-	_
A =1		-		-		-						-	_			
合計		267	426	1,852	1,067	3,612	124	146	694	470	1,434		280	1,158	597	2,178
/D/烛45.************************************	1+1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
保健指導レベル	積極的支援	28	40	48	0	116	26	29	27	0	82	2	11	21	0	34
	計機ベルナ坪	10.8%	10.5%	2.7%	0.0%	3.2%	21.3%	22.0%	4.1%	0.0%	5.7%	1.4%	4.4%	1.9%	0.0%	1.6%
	動機づけ支援	21	21	222	178	442	13	12	126	98	249	8	9	96	80	193
	 	8.1%	5.5%	12.4%	14.9%	12.2%	10.7%	9.1%	19.0%	18.8%	17.3%	5.8%	3.6%	8.5%	11.9%	8.8%
	情報提供	211	319	1,517	1,016	3,063	83	91	511	422	1,107	128	228	1,006	594	1,956
	叩茶のとはは	81.2%	83.9%	84.9%	85.1%	84.6%	68.0%	68.9%	77.0%	81.2%	77.0%	92.8%	91.9%	89.6%	88.1%	89.6%
	服薬のため情	_	_	_		-	_	_	_	_	_	-	_	_	_	_
A=1	報提供	-	- 000	- 4 707		- 0.001	- 400	- 100	- 001		- 1 100	- 100	- 040	- 1100	- 07.1	- 0.100
合計		260	380	1,787	1,194	3,621	122	132	664	520	1,438		248	1,123	674	2,183
1		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

年代別、男女別、メタボリックシンドロームリスク因子 集計【H21 年度】①

			全	体(H21年)				性(H21年			1	女	性(H21年	F)	
		40歳代	50歳代		70歳代	合計		50歳代	60歳代	70歳代	合計	40歳代	50歳代		70歳代	合計
BMIによる肥満判定	BMI25未満	286	369	1811	1059	3525	126	114	653	447	1340	160		1158	612	
		80.6%	78.2%	80.1%	76.7%	78.9%	72.4%	69.5%	75.6%	74.9%	74.5%	88.4%		82.9%	78.1%	81.89
	BMI25以上	69	103	450	322	944	48	50	211	150	459	21	53	239	172	485
		19.4%	21.8%	19.9%	23.3%	21.1%	27.6%	30.5%	24.4%	25.1%	25.5%	11.6%		17.1%	21.9%	18.29
合計		355	472	2261	1381	4469	174	164	864	597	1799	181	308	1397	784	2670
	I=:#	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%	100.0%	100.09
腹部肥満:男性85cm以上,	標準	262	352	1615	916	3145	100	82	445	315	942	162		1170	601	2203
女性90cm以上	n ⊆ + n nm +++	73.8%	74.6%	71.4%	66.3%	70.4%	57.5%	50.0%	51.5%	52.8%	52.4%	89.5%		83.8%	76.7%	82.59
	腹部肥満	93	120	646	465	1324	74	82	419	282	857	19		227	183	467
∧ =1		26.2%	25.4%	28.6%	33.7%	29.6%	42.5%	50.0%	48.5%	47.2%	47.6%	10.5%		16.2%	23.3%	17.59
合計		355	472	2261	1381	4469	174	164	864	597	1799	181	308	1397	784	2670
 高血圧:日本メタボ基準に	捶 淮	100.0% 251	100.0% 271	100.0% 1007	100.0% 545	100.0% 2074	100.0% 108	100.0% 81	100.0% 352	100.0% 213	100.0% 754	100.0% 143		100.0% 655	100.0% 332	100.09 1320
高皿圧: ロ本ノダ小基準に よる診断(130/85)	1示干	70.7%	57.4%	44.5%	39.5%	46.4%	62.1%	49.4%	40.7%	35.7%	41.9%	79.0%		46.9%	42.3%	49.49
2.9時間(190/09)	高血圧	104	201	1254	836	2395	66	83	512	384	1045	38		742	42.5% 452	1350
	F 1111 / L	29.3%	42.6%	55.5%	60.5%	53.6%	37.9%	50.6%	59.3%	64.3%	58.1%	21.0%		53.1%	57.7%	50.69
合計		355	472	2261	1381	4469	174	164	864	597	1799	181	308	1397	784	2670
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%	100.0%	100.09
高血圧:(140/90)	標準	307	353	1513	896	3069	139	109	537	358	1143	168		976	538	1926
	1	86.5%	74.8%	66.9%	64.9%	68.7%	79.9%	66.5%	62.2%	60.0%	63.5%	92.8%		69.9%	68.6%	72.19
	高血圧	48	119	748	485	1400	35	55	327	239	656	13		421	246	744
		13.5%	25.2%	33.1%	35.1%	31.3%	20.1%	33.5%	37.8%	40.0%	36.5%	7.2%		30.1%	31.4%	
合計		355	472	2261	1381	4469	174	164	864	597	1799	181	308	1397	784	2670
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.09
中性脂肪(150以上)	標準	287	348	1715	1044	3394	121	99	595	434	1249	166		1120	610	2145
		80.8%	73.7%	75.9%	75.6%	75.9%	69.5%	60.4%	68.9%	72.7%	69.4%			80.2%	77.8%	80.39
	高脂血症	68	124	546	337	1075	53	65	269	163	550	15		277	174	525
A = 1		19.2%	26.3%	24.1%	24.4%	24.1%	30.5%	39.6%	31.1%	27.3%	30.6%	8.3%		19.8%	22.2%	19.79
合計		355	472	2261	1381	4469	174	164	864	597	1799	181	308	1397	784	2670
L HDL-C(40未満)	標準	100.0%	100.0% 459	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0% 784	100.0% 542	100.0%	100.0%	100.0% 305	100.0% 1378	100.0%	100.09
HDL=G(40未両) 	信华	341 96.1%	459 97.2%	2162 95.6%	1310 94.9%	4272	164 94.3%	154 93.9%	784 90.7%	90.8%	1644	177 97.8%		98.6%	768 98.0%	2628 98.49
	低HDL-C	90.1%	97.2%	95.6%	94.9% 71	95.6% 197	94.3%	93.9%	90.7 _%	90.8% 55	91.4% 155	97.8%		98.0%	98.0%	90.47 42
	IF UDF_C	3.9%	2.8%	4.4%	5.1%	4.4%	5.7%	6.1%	9.3%	9.2%	8.6%	2.2%	•		2.0%	1.6%
 合計		355	472	2261	1381	4469	174	164	9.5 _{/0}	597	1799	181	308	1397	784	2670
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%	100.0%	100.09
	100未満	222	248	942	530	1942	106	60	317	189	672	116		625	341	1270
工度的 血棉 他	1 Ο Ο Σ ζ / ω]	79.6%	71.7%	60.6%	60.5%	63.6%	73.1%	54.1%	51.0%	49.9%	53.5%	86.6%		67.1%	68.6%	70.69
	100以上126未	51	83	491	265	890	34	39	226	141	440	17		265	124	450
	満	18.3%	24.0%	31.6%	30.3%	29.1%	23.4%	35.1%	36.3%	37.2%	35.0%	12.7%		28.4%	24.9%	25.09
	126以上	6	15	121	81	223	5	12	79	49	145		3	42	32	78
		2.2%	4.3%	7.8%	9.2%	7.3%	3.4%	10.8%	12.7%	12.9%	11.5%	0.7%	_	4.5%	6.4%	4.39
合計		279	346	1554	876	3055	145	111	622	379	1257	134		932	497	1798
·		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%			100.0%	100.0%	100.09

年代別、男女別、メタボリックシンドロームリスク因子 集計【H21 年度】②

			全	:体(H21年	Ξ)			男	性(H21年	Ξ)		女性(H21年)						
		40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	合計	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	合計	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	合計		
HbA1c:メタボ基準による	標準	343	423	1917	1141	3824	167	142	701	475	1485	176	281	1216	666	2339		
分類(5.8%以上)		96.6%	89.6%	84.8%	82.6%	85.6%	96.0%	86.6%	81.1%	79.6%	82.5%	97.2%	91.2%	87.0%	84.9%	87.6%		
	高血糖	12	49	344	240	645	7	22	163	122	314	5	27	181	118	331		
	(HbA1c)	3.4%	10.4%	15.2%	17.4%	14.4%	4.0%	13.4%	18.9%	20.4%	17.5%	2.8%	8.8%	13.0%	15.1%	12.4%		
合計		355	472	2261	1381	4469	174	164	864	597	1799	181	308	1397	784	2670		
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
HbA1c分類	5.2%未満	236	213	766	478	1693	105	73	293	196	667	131	140	473	282	1026		
		66.5%	45.1%	33.9%	34.6%	37.9%	60.3%	44.5%	33.9%	32.8%	37.1%	72.4%	45.5%	33.9%	36.0%	38.4%		
	5.2%~6.1%未満	112	230	1288	752	2382	65	76	462	314	917	47	154	826	438	1465		
		31.5%	48.7%	57.0%	54.5%	53.3%	37.4%	46.3%	53.5%	52.6%	51.0%	26.0%	50.0%	59.1%	55.9%	54.9%		
	6.1%以上	7	29	207	151	394	4	15	109	87	215	3	14	98	64	179		
		2.0%	6.1%	9.2%	10.9%	8.8%	2.3%	9.1%	12.6%	14.6%	12.0%	1.7%	4.5%	7.0%	8.2%	6.7%		
合計	355	472	2261	1381	4469	174	164	864	597	1799	181	308	1397	784	2670			
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
メタボリックシンドローム判	メタボ	35	63	325	243	666	31	43	216	147	437	4	20	109	96	229		
定		9.9%	13.3%	14.4%	17.6%	14.9%	17.8%	26.2%	25.0%	24.6%	24.3%	2.2%	6.5%	7.8%	12.2%	8.6%		
	メタボ予備群	34	34	217	162	447	28	25	135	98	286	6	9	82	64	161		
	=1 .1. / .	9.6%	7.2%	9.6%	11.7%	10.0%	16.1%	15.2%	15.6%	16.4%	15.9%	3.3%	2.9%	5.9%	8.2%	6.0%		
	該当なし	286	373	1716	972	3347	115	95	510	350	1070	171	278	1206	622	2277		
		80.6%	79.0%	75.9%	70.4%	74.9%	66.1%	57.9%	59.0%	58.6%	59.5%	94.5%	90.3%	86.3%	79.3%	85.3%		
	判定不可	0	2	3	4	9	0	1	3	2	6	0	1	0	2	3		
A -1		0.0%	0.4%	0.1%	0.3%	0.2%	0.0%	0.6%	0.3%	0.3%	0.3%	0.0%	0.3%	0.0%	0.3%	0.1%		
合計		355	472	2261	1381	4469	174	164	864	597	1799	181	308	1397	784	2670		
In late the NAC .		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
保健指導レベル	積極的支援	42	49	80	13	184	37	35	53	11	136	5	14	27	2	48		
	71144 8.1 - 1 - 1 - 1	11.8%	10.4%	3.5%	0.9%	4.1%	21.3%	21.3%	6.1%	1.8%	7.6%	2.8%	4.5%	1.9%	0.3%	1.8%		
	動機づけ支援	24	33	221	149	427	15	15	133	89	252	9	18	88	60	175		
	1 + += 1=	6.8%	7.0%	9.8%	10.8%	9.6%	8.6%	9.1%	15.4%	14.9%	14.0%	5.0%	5.8%	6.3%	7.7%	6.6%		
	情報提供	289	390	1959	1215	3853	122	114	677	495	1408	167	276	1282	720	2445		
	00 tt - 1 11 tt	81.4%	82.6%	86.6%	88.0%	86.2%	70.1%	69.5%	78.4%	82.9%	78.3%	92.3%	89.6%	91.8%	91.8%	91.6%		
	服薬のため情	0	0	. 1	4	5	0	0	1	2	3	0	0	0	2	2		
A = 1	報提供	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%	0.3%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.1%		
合計		355	472	2261	1381	4469	174	164	864	597	1799	181	308	1397	784	2670		
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		

地区別、男女別、健診項目·生活習慣質問項目 集計【H21 年度】

					地区	名				T					地区	名			
	Ι	本町	柏町	幸町	館	上宗岡	中宗岡	下宗岡	合計	-l		本町	柏町	幸町	館	上宗岡	中宗岡	下宗岡	合計
現在、たばこを習慣	はい	127 14.3%	88 12.3%	89 16.2%	75 9.5%	110 19.9%	103 15.7%	43 14.8%	63 14.3	ol ぬ朝食を抜くことが週に	はい	44 6.1%	36 6.2%	31 6.6%	31 5.1%	47 10.2%	48 9.0%	20 8.3%	257 7.1%
的に吸っている。	いいえ	764	626	460	718	442	555	248	3,81		いいえ	682	548	442	575	412	488	220	3,367
A =1		85.7% 891	87.7% 714	83.8% 549	90.5% 793	80.1% 552	84.3% 658	85.2% 291	85.7 4,44	% 8		93.9% 726	93.8% 584	93.4% 473	94.9%	89.8% 459	91.0% 536	91.7% 240	92.9% 3,624
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0	% □ aT		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
20歳からの体重変化	はい	245 33.6%	176 30.1%	160 33.8%	157 25.7%	156 34.1%	188 35.0%	76 31.8%	1,15 31.9	04	毎日	168 23.0%	138 23.5%	107 22.6%	137 22.4%	128 27.8%	132 24.6%	65 27.1%	875 24.0%
(10kg以上増加して いる。)	いいえ	485	408	313	455	301	349	163	2,47	(型お酒(清酒、焼酎、 (単ロル、洋酒など)を	時々	162	125	100	151	100	116	40	794
U.9°)	0.0.7	66.4%	69.9%	66.2%	74.3%	65.9%	65.0%	68.2%	68.1	かまい 毎 使	-	22.2%	21.3%	21.1%	24.7%	21.7%	21.6%	16.7%	21.8%
合計		730 100.0%	584 100.0%	473 100.0%	612 100.0%	457 100.0%	537 100.0%	239 100.0%	3,63 100.0		ほとんど飲 まない	401 54.9%	324 55.2%	267 56.3%	323 52.9%	232 50.4%	289 53.8%	135 56.3%	1,971 54.1%
1回30分以上の軽く	はい	337	289	206	330	192	254	101	1,70		•	731	587	474	611	460	537	240	3,640
汗をかく運動を週2		46.1%	49.3%	43.6%	54.2%	41.7%	47.3%	42.3%	47.0	%		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
日以上、1年以上実 施	いいえ	394	297	267	279	268	283	138	1,92		ほとんど飲 まない	22	15	11	11	44	50	16	169
		53.9% 731	50.7% 586	56.4% 473	45.8% 609	58.3% 460	52.7% 537	57.7% 239	53.0 3,63	%		3.0% 556	2.6% 459	2.3% 341	1.8% 473	9.6% 309	9.3% 364	6.7% 166	4.6% 2,668
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0		1合未満	76.1%	78.2%	71.9%	77.4%	67.2%	67.7%	69.2%	73.3%
日常生活において歩	はい	426	355	265	361	245	308	116	2,07	6の飲洒量	1~2合	105	87	79	97	68	88	39	563
行又は同等の身体 活動を1 日1時間以		58.6% 301	60.7% 230	56.1% 207	59.3% 248	53.5% 213	57.2% 230	48.7% 122	57.2 1,55	% 		14.4% 36	14.8% 20	16.7% 35	15.9% 28	14.8% 32	16.4% 30	16.3% 17	15.5% 198
上実施	いいえ	41.4%	39.3%	43.9%	40.7%	46.5%	42.8%	51.3%	42.8	%	2~3合	4.9%	3.4%	7.4%	4.6%	7.0%	5.6%	7.1%	5.4%
合計		727 100.0%	585 100.0%	472 100.0%	609 100.0%	458 100.0%	538 100.0%	238 100.0%	3,62 100.0		3合以上	12 1.6%	6 1.0%	8 1.7%	2 0.3%	7 1.5%	6 1.1%	2 0.8%	43 1.2%
ほぼ同じ年齢の同性	1+1.	356	268	242	340	210	254	111	1,78		-1	731	587	474	611	460	538	240	3,641
と比較して歩く速度	140.	48.9% 372	45.9% 316	51.2% 231	56.0% 267	46.0% 247	47.7% 278	46.4% 128	49.2 1.83	70	<u> </u>	100.0% 564	100.0% 479	100.0% 363	100.0% 480	100.0% 344	100.0% 411	100.0% 181	100.0% 2,822
が速い	いいえ	51.1%	54.1%	48.8%	44.0%	54.0%	52.3%	53.6%	50.8		はい	77.6%	81.7%	77.1%	79.2%	75.6%	77.0%	75.4%	78.0%
合計		728	584	473	607	457	532	239	3,62		いいえ	163	107	108	126	111	123	59	797
		100.0%	100.0% 89	100.0% 69	100.0% 108	100.0% 78	100.0% 114	100.0% 47	100.0 61	7	1	22.4% 727	18.3% 586	22.9% 471	20.8% 606	24.4% 455	23.0% 534	24.6% 240	22.0% 3,619
この1 年間で体重の 増減が±3 kg以上	はい	15.4%	15.2%	14.6%	17.7%	17.0%	21.3%	19.7%	17.0	% a a a a a a a a a a a a a a a a a a a		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
あった	いいえ	616 84.6%	497 84.8%	404 85.4%	501 82.3%	380 83.0%	422 78.7%	192 80.3%	3,01 83.0		意思なし	197 27.1%	173 29.7%	150 31.7%	183 30.2%	142 31.1%	136 25.5%	69 29.0%	1,050 29.1%
合計		728	586	473	609	458	536	239	3,62		意思あり(6	190	156	117	150	147	168	79	1,007
	ı	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0	1.曲町わせはまた()	か月以内)	26.2%	26.8%	24.7%	24.8%	32.2%	31.5%	33.2%	27.9%
	速い	164 22.5%	153 26.3%	136 28.8%	154 25.2%	105 22.9%	120 22.3%	65 27.2%	89 24.7	』 生活省慣を改善して	意思あり(近 いうち)	75 10.3%	58 10.0%	60 12.7%	85 14.0%	52 11.4%	66 12.4%	26 10.9%	422 11.7%
人と比較して食べる	普通	172	130	100	142	225	247	80	1,09		取組済み(6	76	57	51	63	38	44	20	349
速度が速い		23.6% 393	22.4% 298	21.2% 236	23.3% 314	49.0% 129	45.9% 171	33.5% 94	30.2 1.63		か月未満) 取組済み(6	10.5% 188	9.8% 138	10.8% 95	10.4% 124	8.3% 77	8.3% 119	8.4% 44	9.7% 785
	遅い	53.9%	51.3%	50.0%	51.5%	28.1%	31.8%	39.3%	45.1	%	か月)以上	25.9%	23.7%	20.1%	20.5%	16.9%	22.3%	18.5%	21.7%
合計		729 100.0%	581 100.0%	472 100.0%	610 100.0%	459 100.0%	538 100.0%	239 100.0%	3,62 100.0			726 100.0%	582 100.0%	473 100.0%	605 100.0%	456 100.0%	533 100.0%	238 100.0%	3,613 100.0%
就寝前の2 時間以内	1+1 >	113	93	90	79	118	110	45		<u>**</u> 8 生活習慣の改善につ	けはい	341	261	229	303	267	306	125	1,832
に夕食をとることが週	146,	15.5%	16.0%	19.1%	13.0%	25.8%	20.5%	18.8%		いて保健指導を受け	140,	47.2%	44.7%	48.8%	50.2%	58.2%	57.0%	52.3%	50.7%
に3回以上ある	いいえ	614 84.5%	490 84.0%	382 80.9%	529 87.0%	340 74.2%	427 79.5%	194 81.2%	2,97 82.1	6 る機会があれば、利 % 用しますか	いいえ	382 52.8%	323 55.3%	240 51.2%	300 49.8%	192 41.8%	231 43.0%	114 47.7%	1,782 49.3%
合計	1	727	583	472	608	458	537	239	3,62			723	584	469	603	459	537	239	3,614
夕食後に間食(3食		100.0%	100.0% 52	100.0% 45	100.0% 52	100.0% 49	100.0% 57	100.0% 21	100.0 34	%		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
以外の夜食)をとるこ	はい	9.1%	8.9%	9.6%	8.6%	10.7%	10.6%	8.8%	9.4										
とが週に3回以上あ	いいえ	662	533	426	555	408	479	218	3,28										
<u>る</u>		90.9% 728	91.1% 585	90.4% 471	91.4% 607	89.3% 457	89.4% 536	91.2% 239	90.6 3,62	3									
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0	%									

地区別、男女別、健診項目·生活習慣質問項目 集計【H21 年度】

		地区名										地区名								
		本町	柏町	幸町	館	上宗岡	中宗岡	下宗岡	合計			本町	柏町	幸町	館	上宗岡	中宗岡	下宗岡	合計	
BMIによる肥満判定	BMI25未満	692	568	433	677	412	503	221	3506	空腹時血糖值別分類	100未満	404	300	251	330	238	297	117	1937	
		77.7%	79.6%	78.9%	85.4%	74.6%	76.4%	75.9%	78.8%			66.9%	62.6%	64.4%	65.2%	60.1%	61.5%	63.2%	63.7%	
	BMI25以上	199	146	116	116	140	155	70	942		100以上126未	160	145	108	139	133	152	48	885	
		22.3%	20.4%	21.1%	14.6%	25.4%	23.6%	24.1%	21.2%		満	26.5%	30.3%	27.7%	27.5%	33.6%	31.5%	25.9%	29.1%	
合計		891	714	549	793	552	658	291	4448		126以上	40	34	31	37	25	34	20	221	
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%			6.6%	7.1%	7.9%	7.3%	6.3%	7.0%	10.8%	7.3%	
22 A 12 A 1 A	標準	604	520	383	597	375	446	204		合計		604	479	390	506	396	483	185	3043	
女性90cm以上		67.8%	72.8%	69.8%	75.3%	67.9%	67.8%	70.1%	70.3%			100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	腹部肥満	287	194	166	196	177	212	87		HbA1c:メタボ基準による	標準	755	598	482	711	468	547	246	3807	
<u> </u>		32.2%	27.2%	30.2%	24.7%	32.1%	32.2%	29.9%		分類(5.8%以上)		84.7%	83.8%	87.8%	89.7%	84.8%	83.1%	84.5%	85.6%	
合計		891	714	549	793	552	658	291	4448		高血糖	136	116	67	82	84	111	45	641	
	I=1#	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	A -1	(HbA1c)	15.3%	16.2%	12.2%	10.3%	15.2%	16.9%	15.5%	14.4%	
高血圧:日本メタボ基準に	標準	419	339	253	396	250	278	129	2064	合計		891	714	549	793	552	658	291	4448	
よる診断(130/85)	-	47.0%	47.5%	46.1%	49.9%	45.3%	42.2%	44.3%	46.4%	1	1.5.18	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	高血圧	472	375	296	397	302	380	162	2384	メタボリックシンドローム判 定	メタホ	151	106	77	94	83	107	44	662	
		53.0%	52.5%	53.9%	50.1%	54.7%	57.8%	55.7%	53.6%			17.0%	14.8%	14.1%	11.9%	15.0%	16.3%	15.2%	14.9%	
合計		891	714	549	793	552	658	291	4448		メタボ予備群	100	64	65	56	70	71	21	447	
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%			11.2%	9.0%	11.9%	7.1%	12.7%	10.8%	7.2%	10.1%	
中性脂肪(150以上)	標準	664	541	427	614	420	499	214	3379		該当なし	639	544	406	641	399	477	225	3331	
		74.5%	75.8%	77.8%	77.4%	76.1%	75.8%	73.5%	76.0%			71.8%	76.2%	74.1%	81.0%	72.3%	72.8%	77.6%	75.0%	
	高脂血症	227	173	122	179	132	159	77		合計		890	714	548	791	552	655	290	4440	
		25.5%	24.2%	22.2%	22.6%	23.9%	24.2%	26.5%	24.0%			100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
合計		891	714	549	793	552	658	291		保健指導レベル	積極的支援	35	20	29	22	31	32	12	181	
	T	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%			3.9%	2.8%	5.3%	2.8%	5.6%	4.9%	4.1%	4.1%	
HDL-C(40未満)	標準	845	688	527	766	523	633	271	4253		動機づけ支援	92	58	55	58	62	76	25	426	
		94.8%	96.4%	96.0%	96.6%	94.7%	96.2%	93.1%	95.6%			10.3%	8.1%	10.0%	7.3%	11.2%	11.6%	8.6%	9.6%	
	低HDL-C	46	26	22	27	29	25	20	195		情報提供	763	636	465	712	459	549	253	3837	
		5.2%	3.6%	4.0%	3.4%	5.3%	3.8%	6.9%	4.4%			85.7%	89.1%	84.7%	89.9%	83.2%	83.6%	87.2%	86.3%	
合計		891	714	549	793	552	658	291	4448	合計		890	714	549	792	552	657	290	4444	
<u> </u>		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%			100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	